

令和6年度

県民ニーズ調査
報告書

令和6年8月

福岡県

◇◇ 目 次 ◇◇

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査の企画と実施機関	2
II. 対象者属性	3
III. 調査結果	7
1. 県の施策について	7
(1) 県の広報	7
(2) 次代を担う「人財」の育成	9
(3) 「世界から選ばれる福岡県」の実現	11
(4) ワンヘルスの推進	13
(5) 商工業	15
(6) 農林水産業	17
(7) 観光	19
(8) 雇用、働き方	21
(9) デジタル化	23
(10) 保健・医療	25
(11) スポーツ	26
(12) 文化	28
(13) 高齢者	30
(14) 障がいのある人	32
(15) 人権	34
(16) 国際交流	36
(17) 防犯・交通安全	38
(18) 地域振興	40
(19) 移住・定住、企業誘致	42
① 移住・定住	42
② 企業誘致	44
(20) グリーン社会	46
(21) 教育	48
(22) こども・子育て支援	50
(23) 防災	51
(24) 重点分野	53
2. 自由意見	55
IV. 資料編	63
<調査票>	63

1. 調査概要

1. 調査目的

県が進める施策に対する県民ニーズを把握し、今後の県政運営へ反映させることを目的とする。

2. 調査設計

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査地域 | 福岡県全域 |
| (2) 調査対象者 | 県内に居住する 18 歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 4,000 サンプル |
| (4) 標本抽出方法 | 層化二段無作為抽出
県内各市区町村の人口数を基に調査地点数を決定し、400 地点を無作為抽出。ただし、単純に比例配分すると集計・分析に耐えうる十分な資料が得られない地点が出るため、北九州、福岡、筑豊、筑後の 4 地域に分け、各地域 100 地点になるよう、均等に割り当てを行った。その後、調査地点ごとに「選挙人名簿」から 1 地点 10 名、合計 4,000 名を抽出した。 |
| (5) 標本抽出台帳 | 令和 6 年 6 月現在の選挙人名簿 |
| (6) 調査方法 | 郵送法・インターネット回答 |
| (7) 調査期間 | 令和 6 年 7 月 1 日～令和 6 年 7 月 23 日 |
| (8) 回収数（率） | 1,704 サンプル（42.6%） |
| (9) 集計方法 | 地点数を 4 地域で均等配分したため、以下の方法でウェイト値を算出し、加重集計を行う。
①各地域の調査対象年齢の人口を算出。
②各地域の人口を最も人口の少ない地域の人口で除し、人口比の係数を求める。
③各地域の有効回収数を人口の最も少ない地域の有効回収数で除し、サンプル数の係数を求める。
④人口比の係数をサンプル数の係数で除し、ウェイト値を求める。 |

(10) 地域区分 調査地域は下記のとおり、4地域に区分している。

地域	北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
政令指定都市	北九州市	福岡市		
市	行橋市 豊前市 中間市	筑紫野市 春日市 大野城市 宗像市 太宰府市 古賀市 福岡市 朝倉市 糸島市 那珂川市	直方市 飯塚市 田川市 宮若市 嘉麻市	大牟田市 久留米市 柳川市 八女市 筑後市 大川市 小郡市 うきは市 みやま市
町村	芦屋町 水巻町 岡垣町 遠賀町 苅田町 みやこ町 吉富町 上毛町 築上町	宇美町 篠栗町 志免町 須恵町 新宮町 久山町 粕屋町 筑前峰村	小竹町 鞍手町 桂川町 香春町 添田町 糸田町 川崎町 大任町 赤福智町	大刀洗町 大木町 大広川町

3. 調査の企画と実施機関

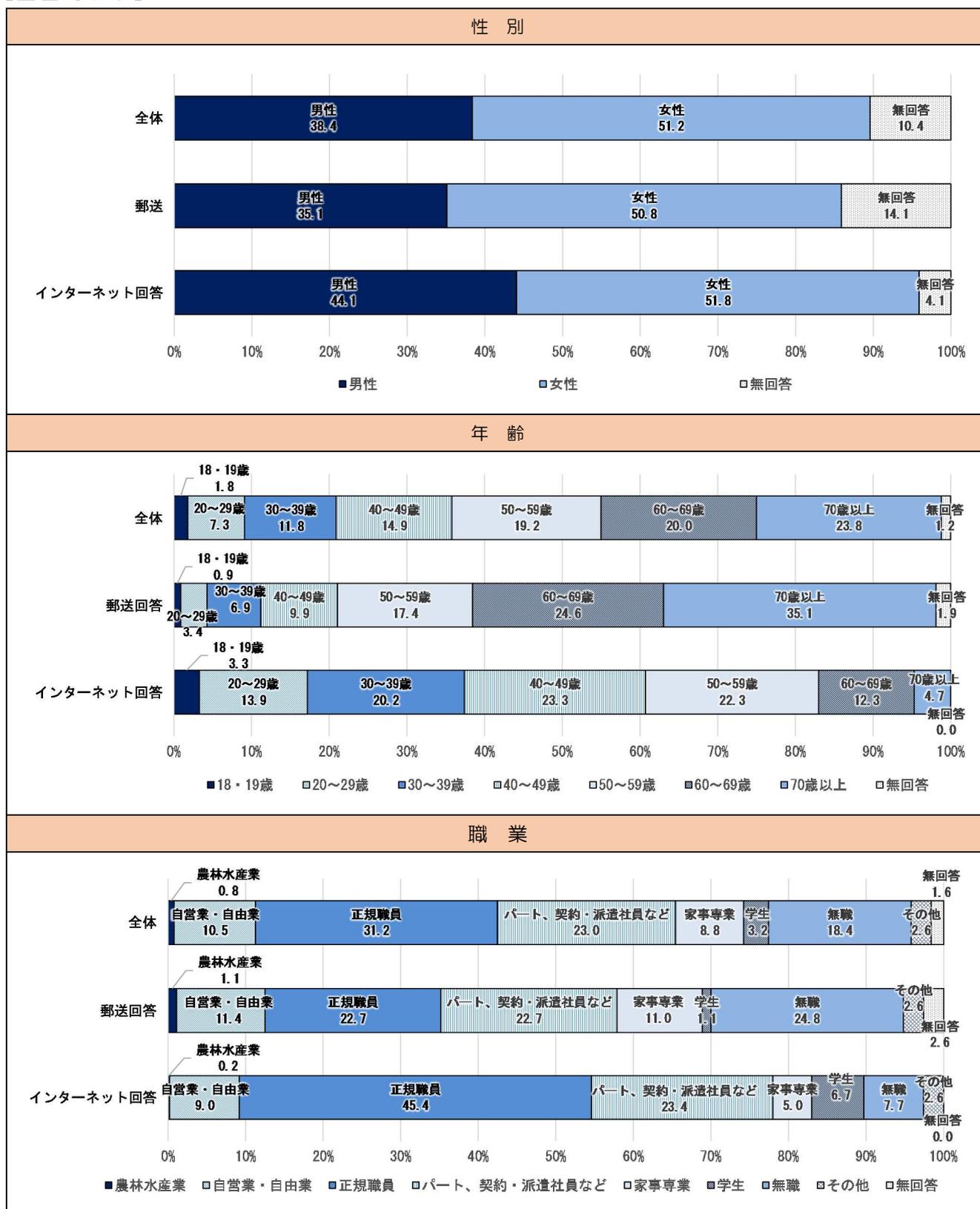
企 画 福岡県 企画・地域振興部 総合政策課
調査実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所

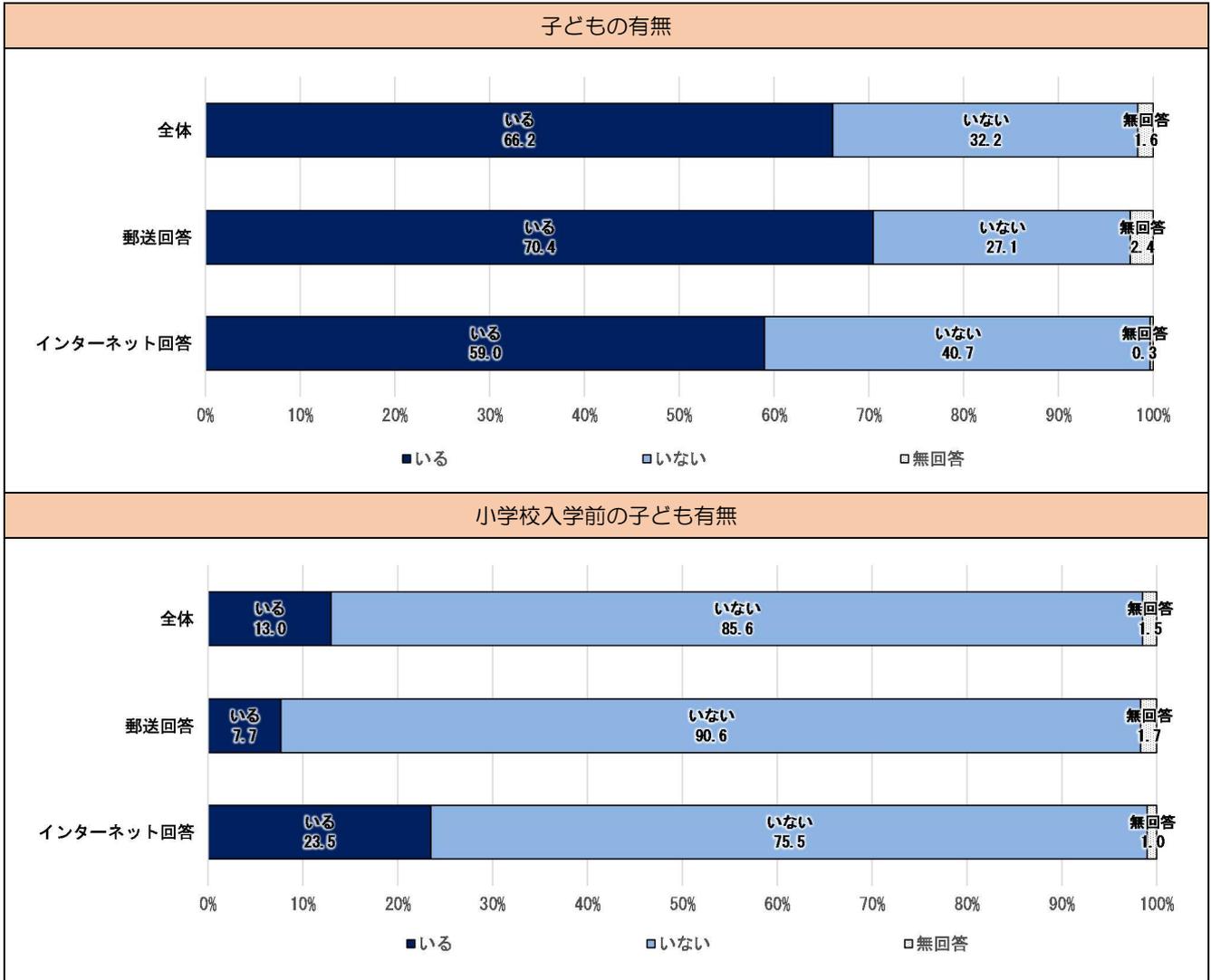
【 調査結果利用上の注意 】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表に示す選択肢は、スペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。

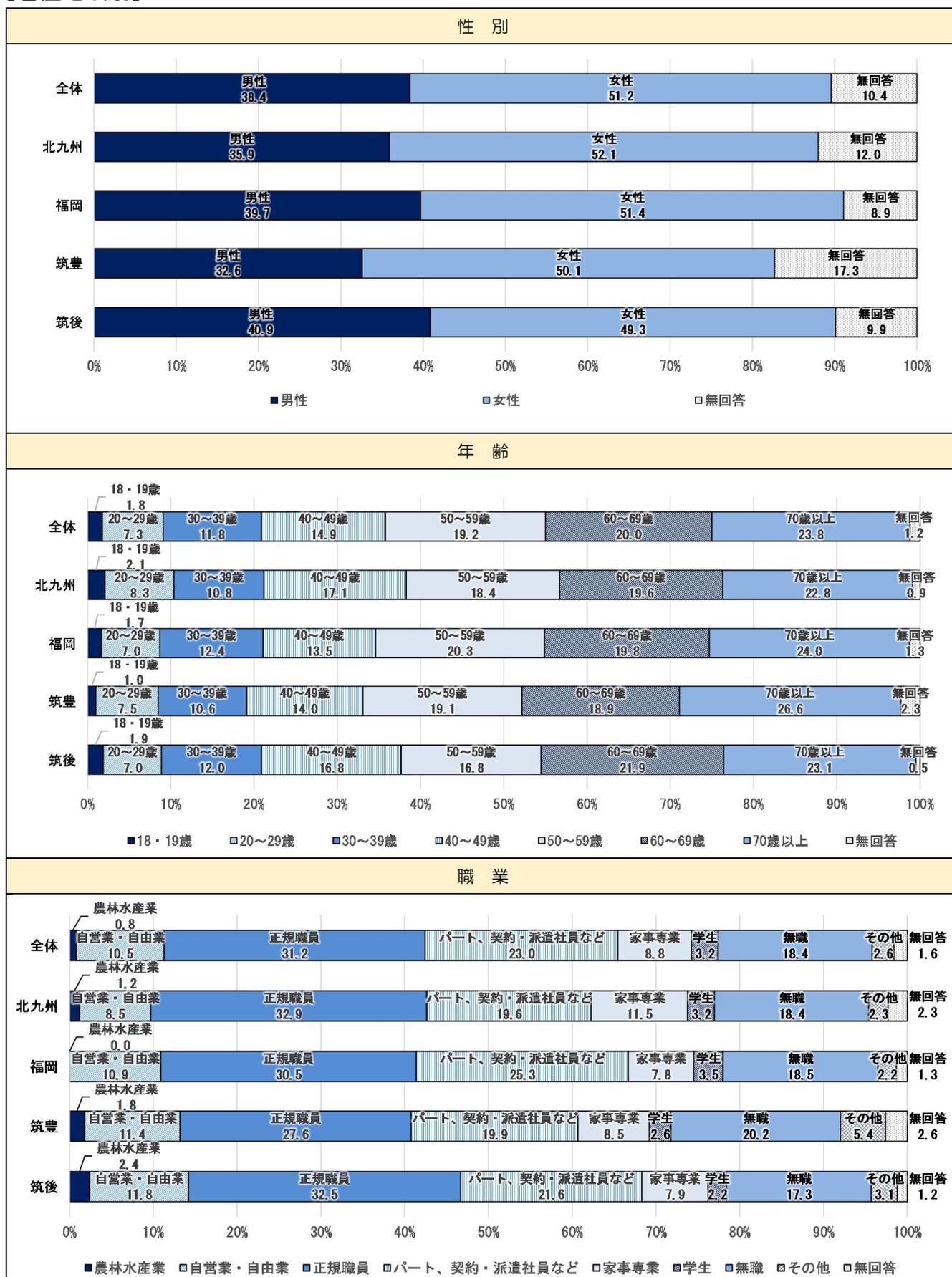
II. 対象者属性

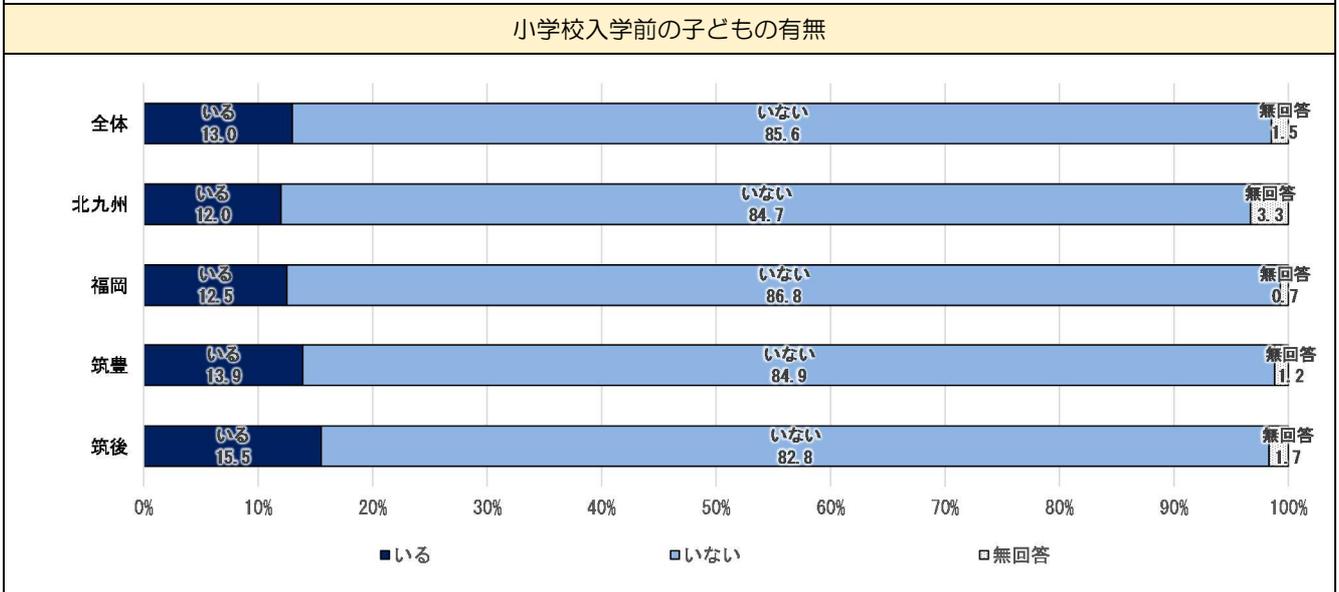
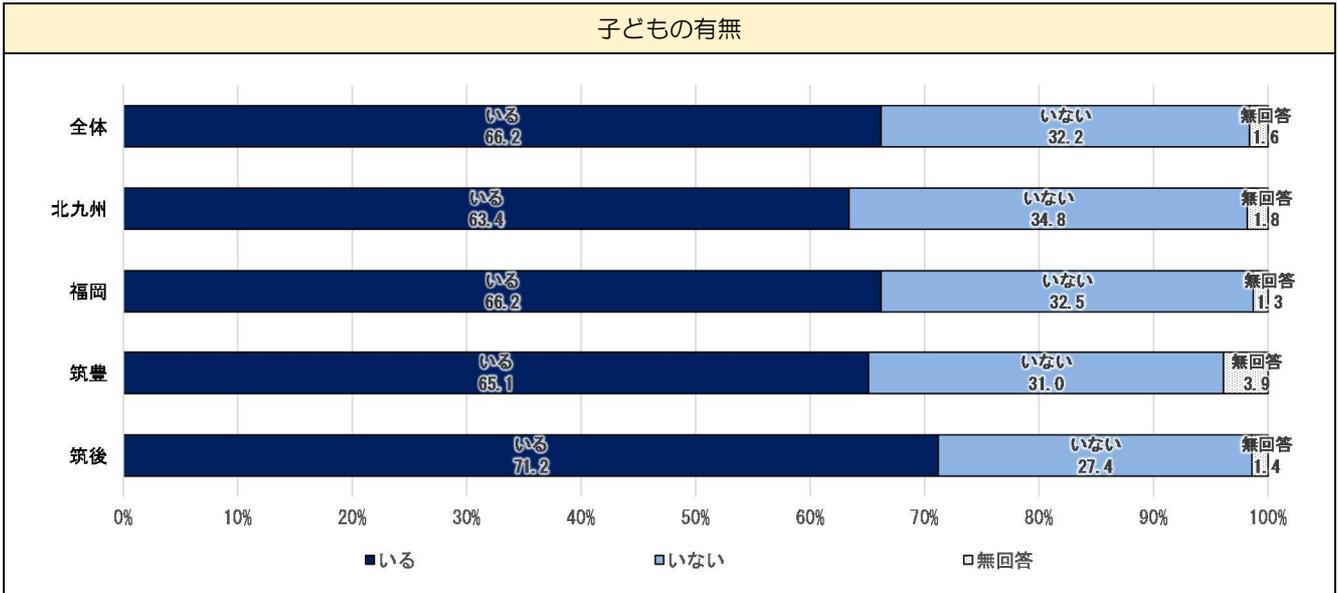
【回答方法別】





【居住地域別】





Ⅲ. 調査結果

1. 県の施策について

☆ 県政の各分野において、行政に対して力を入れてほしいこと ☆

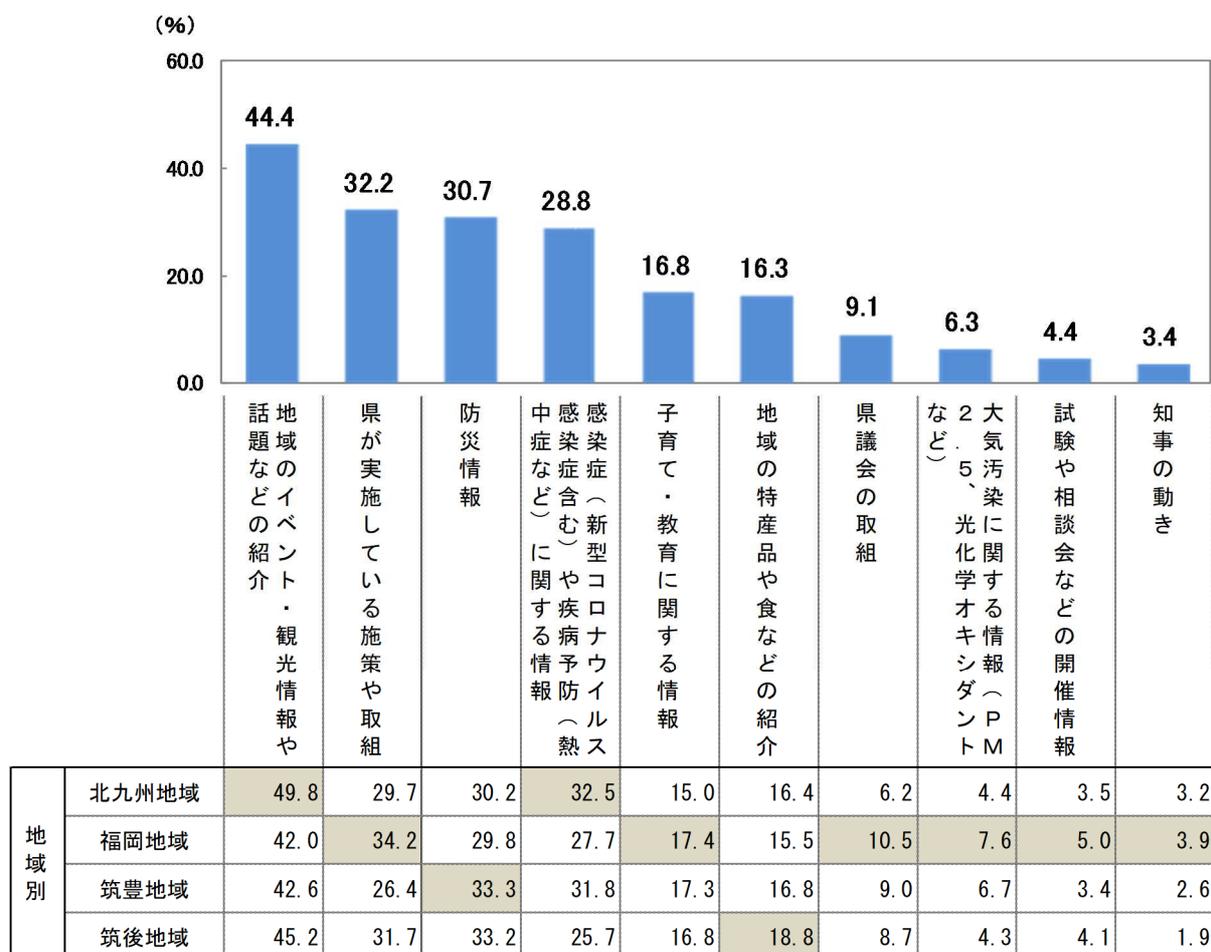
(1) 県の広報

【あてはまるもの2つ選択可】

県から発信してほしい情報について尋ねたところ、県全体では「地域のイベント・観光情報や話題などの紹介」(44.4%)が最も高く、次いで、「県が実施している施策や取組」(32.2%)、「防災情報」(30.7%)、「感染症(新型コロナウイルス感染症含む)や疾病予防(熱中症など)に関する情報」(28.8%)の順となっています。

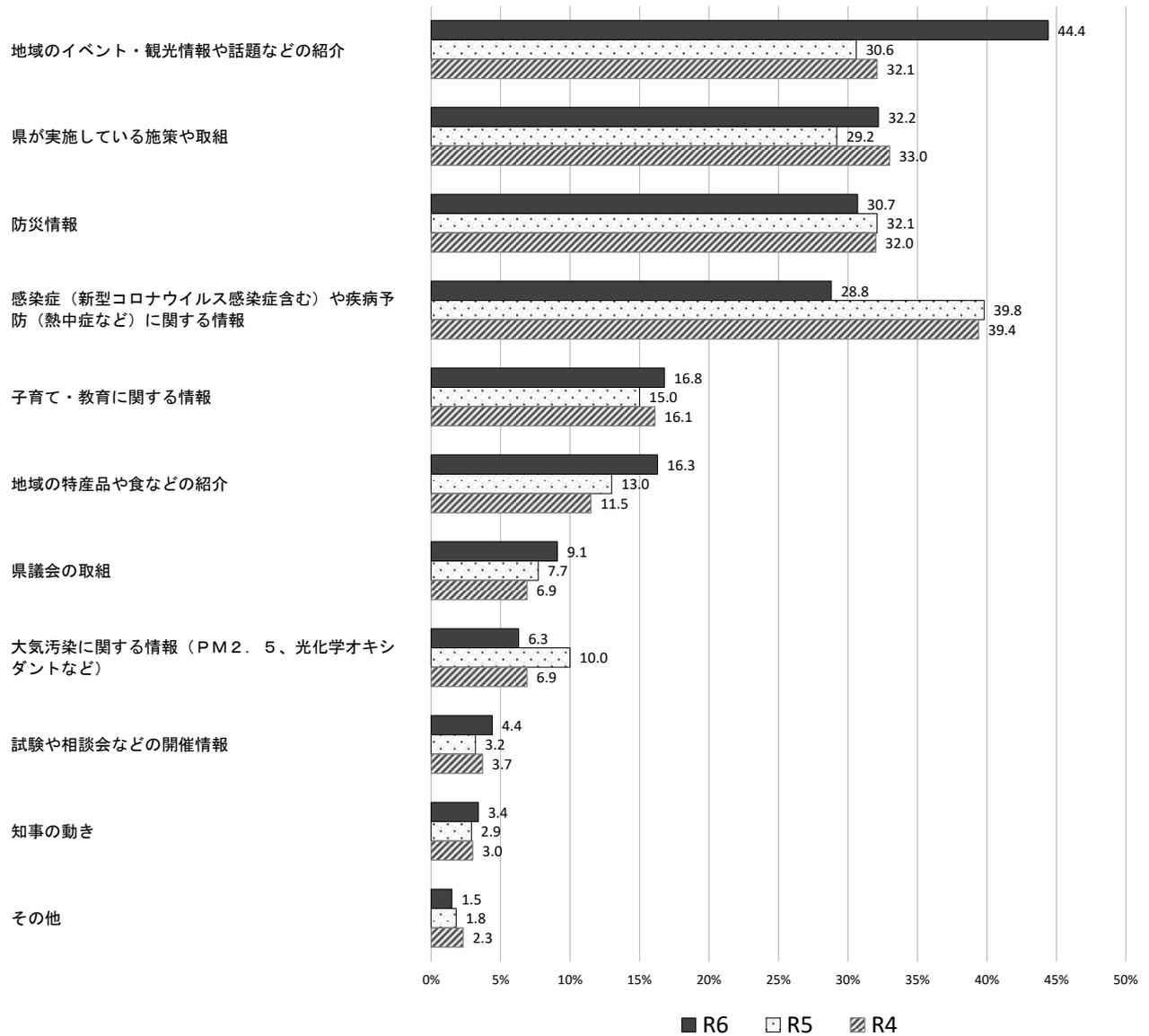
地域別にみると、北九州地域では「地域のイベント・観光情報や話題などの紹介」が他地域と比較して高くなっています。

県の広報



■ は4地域中で最も高い値の地域

県の広報（経年変化）



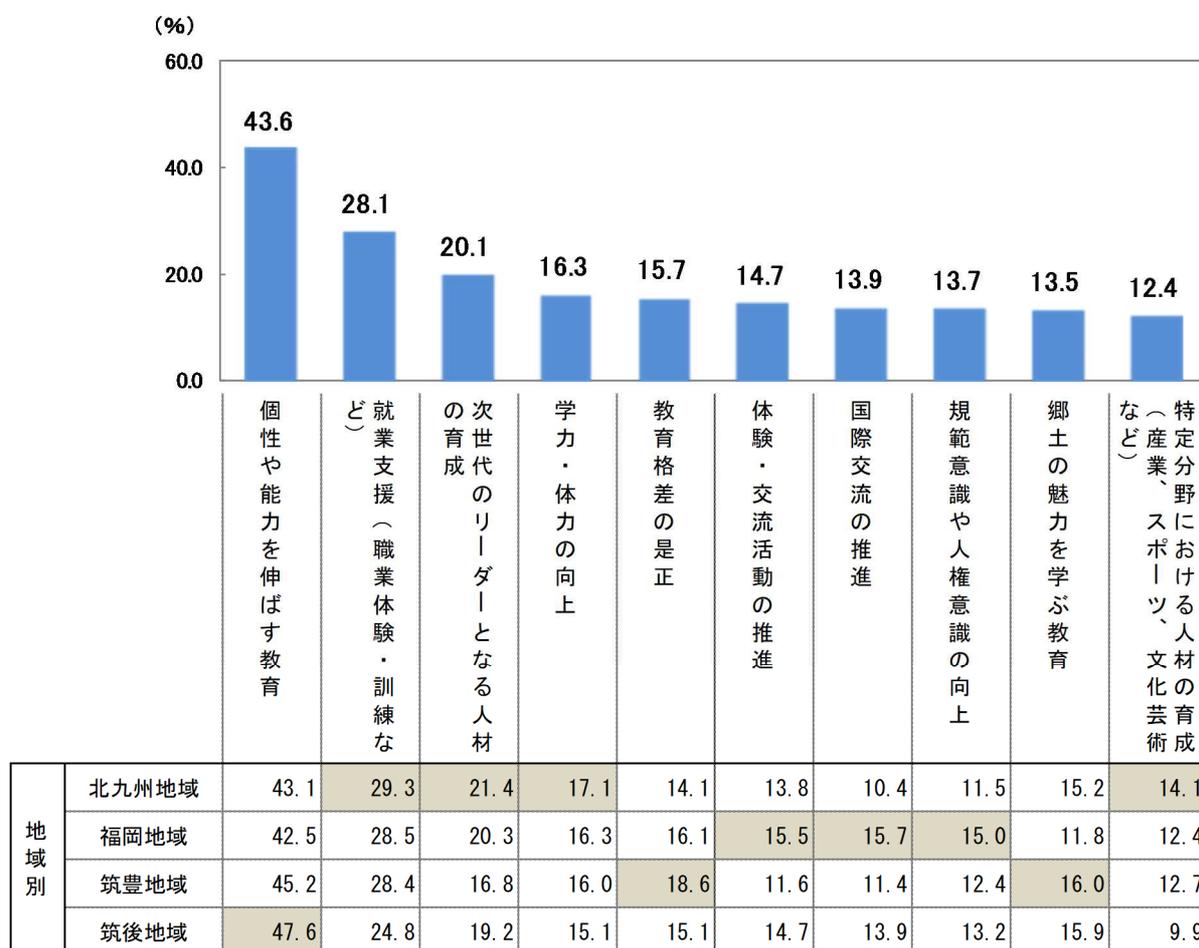
(2) 次代を担う「人財」の育成

【あてはまるもの2つ選択可】

次代を担う「人財」の育成について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「個性や能力を伸ばす教育」(43.6%)が最も高く、次いで、「就業支援(職業体験・訓練など)」(28.1%)、「次世代のリーダーとなる人材の育成」(20.1%)、「学力・体力の向上」(16.3%)の順となっています。

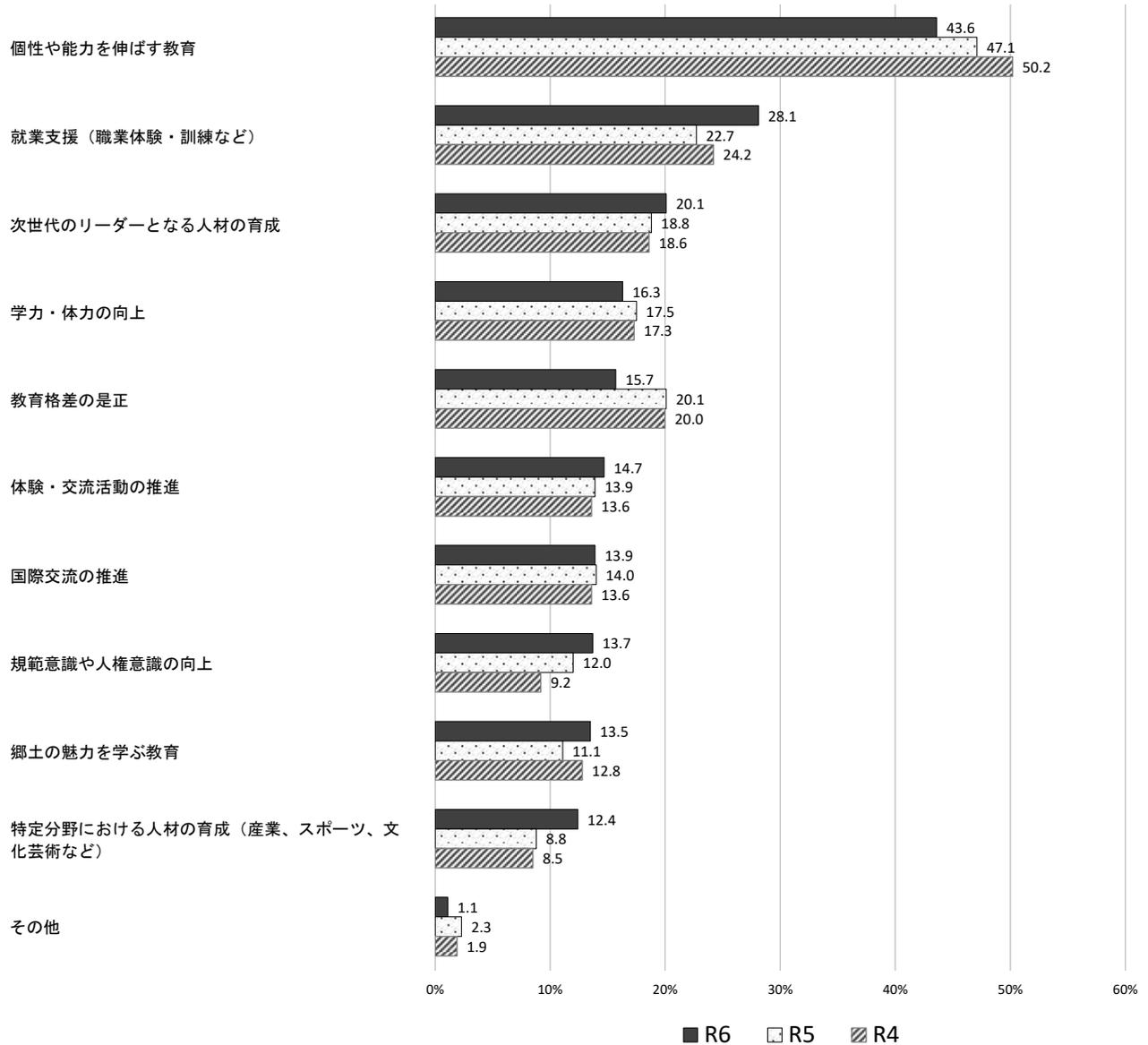
地域別にみると、筑豊地域では「教育格差の是正」が他地域と比較して高くなっています。

次代を担う「人財」の育成



■ は4地域中で最も高い値の地域

次代を担う「人財」の育成（経年変化）



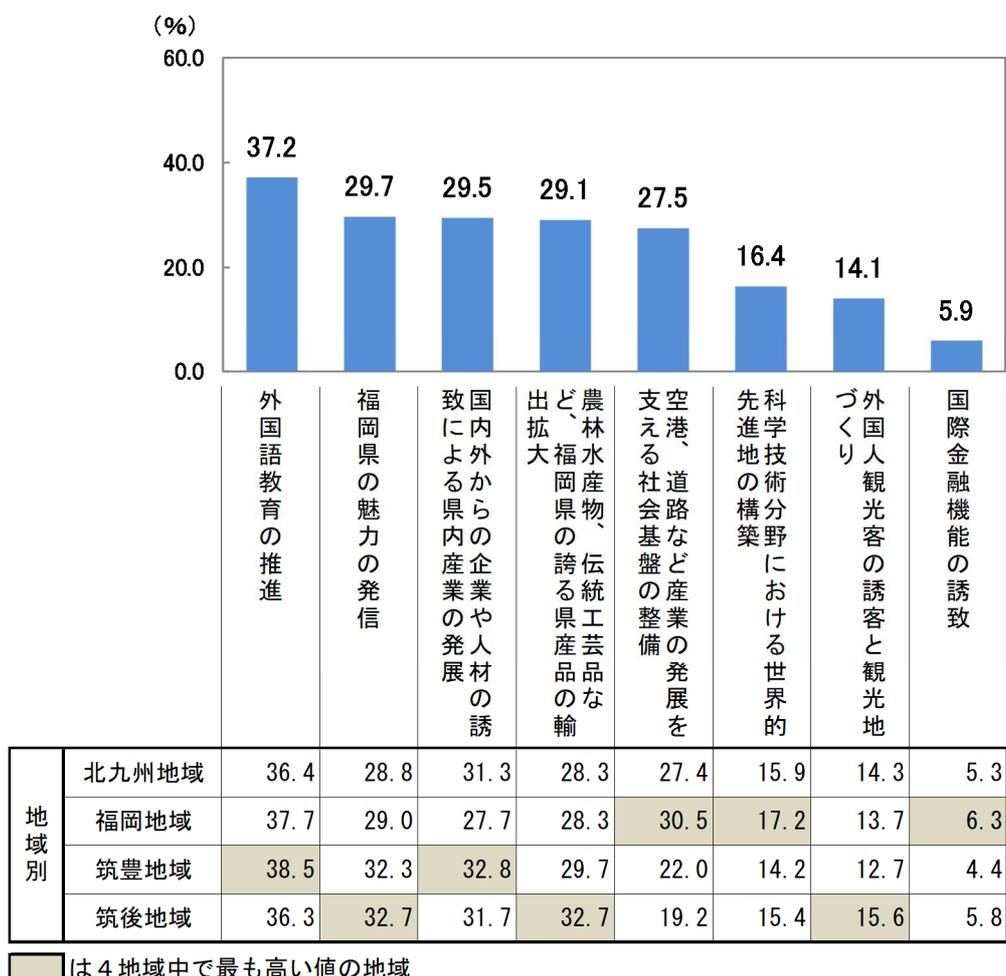
(3) 「世界から選ばれる福岡県」の実現

【あてはまるもの2つ選択可】

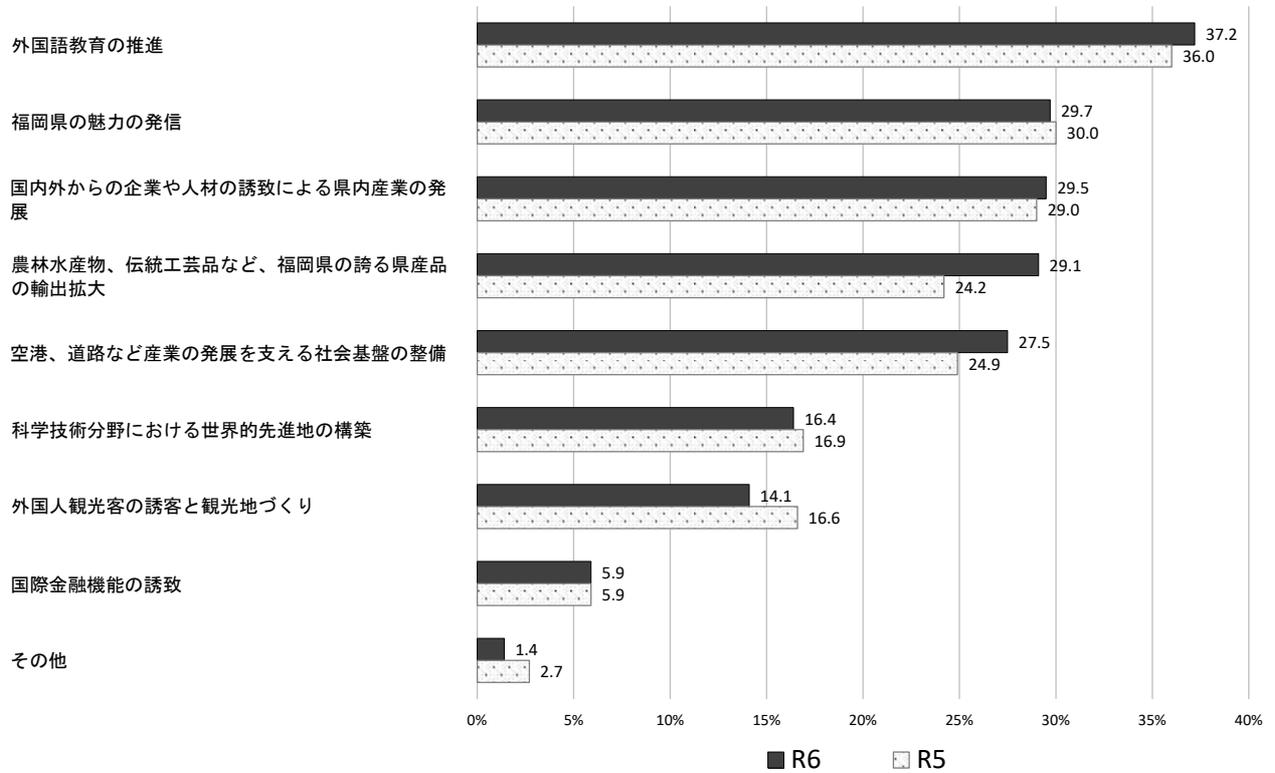
「世界から選ばれる福岡県」の実現について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「外国語教育の推進」(37.2%)が最も高く、次いで、「福岡県の魅力の発信」(29.7%)、「国内外からの企業や人材の誘致による県内産業の発展」(29.5%)、「農林水産物、伝統工芸品など、福岡県の誇る県産品の輸出拡大」(29.1%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「空港、道路など産業の発展を支える社会基盤の整備」が他地域と比較して高くなっています。

「世界から選ばれる福岡県」の実現



「世界から選ばれる福岡県」の実現（経年変化）



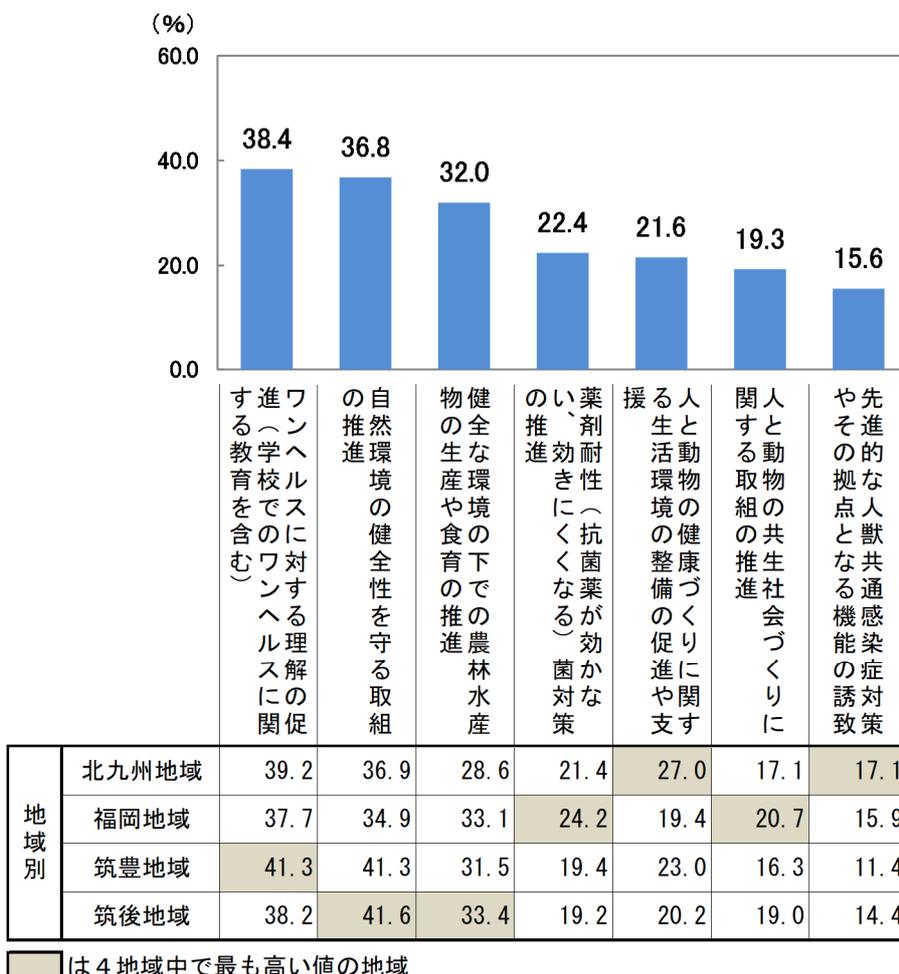
(4) ワンヘルスの推進

【あてはまるもの2つ選択可】

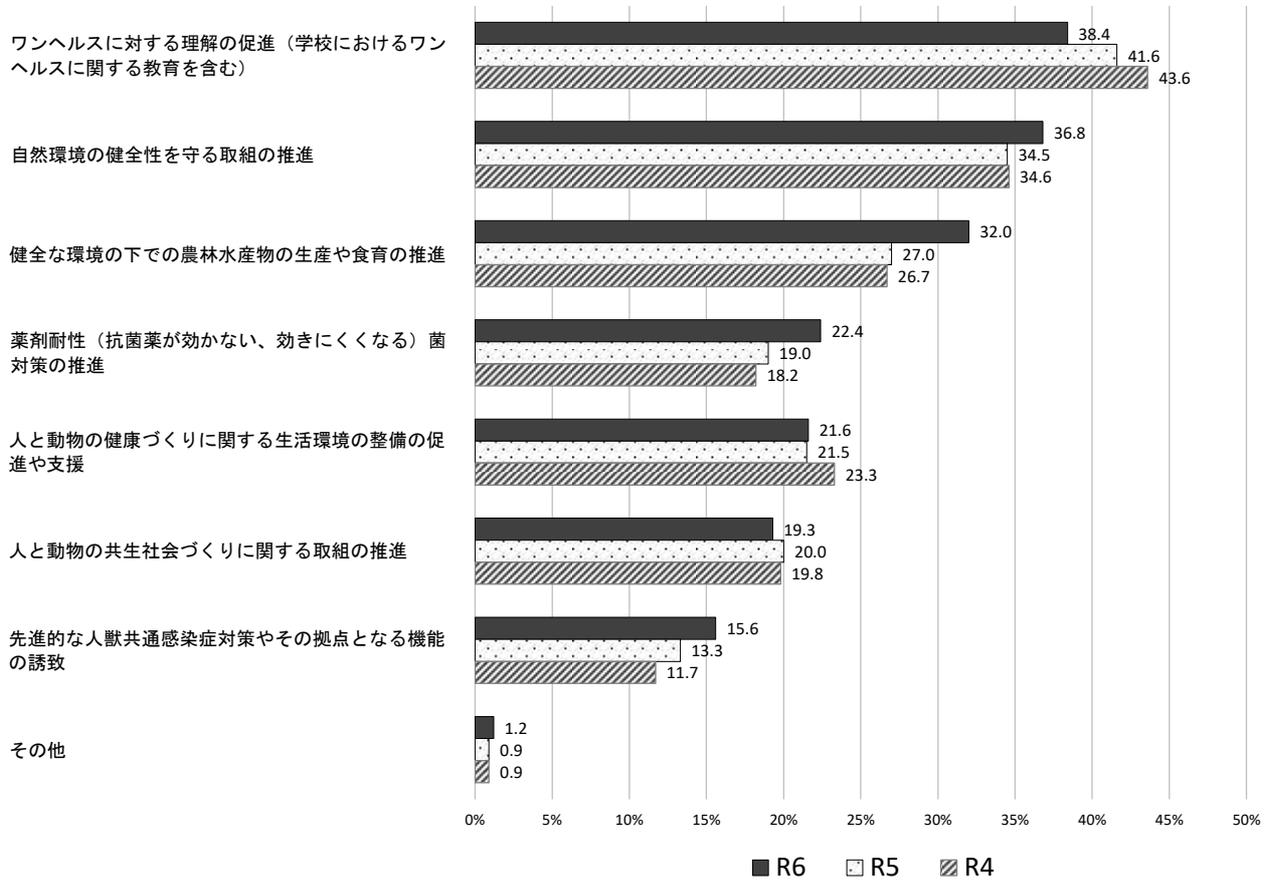
ワンヘルスの推進について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「ワンヘルスに対する理解の促進（学校におけるワンヘルスに関する教育を含む）」（38.4%）が最も高く、次いで、「自然環境の健全性を守る取組の推進」（36.8%）、「健全な環境の下での農林水産物の生産や食育の推進」（32.0%）の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「人と動物の健康づくりに関する生活環境の整備の促進や支援」が他地域と比較して高くなっています。

ワンヘルスの推進



ワンヘルスの推進（経年変化）



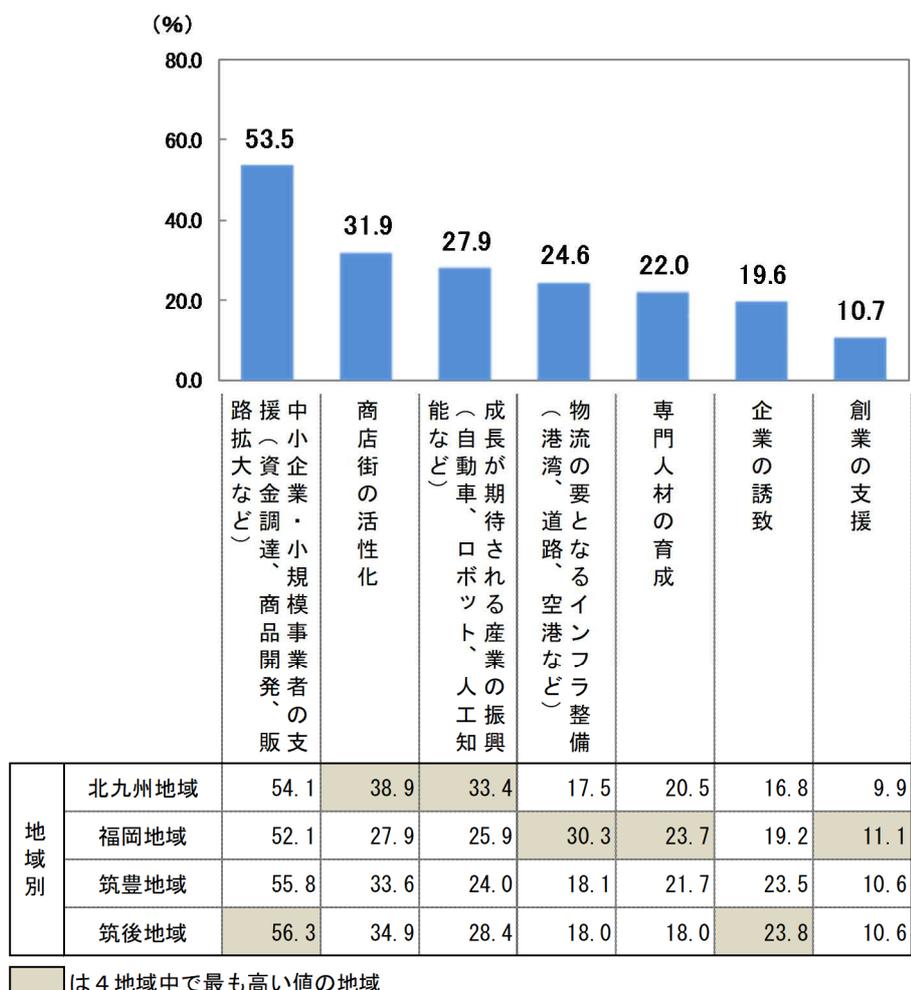
(5) 商工業

【あてはまるもの2つ選択可】

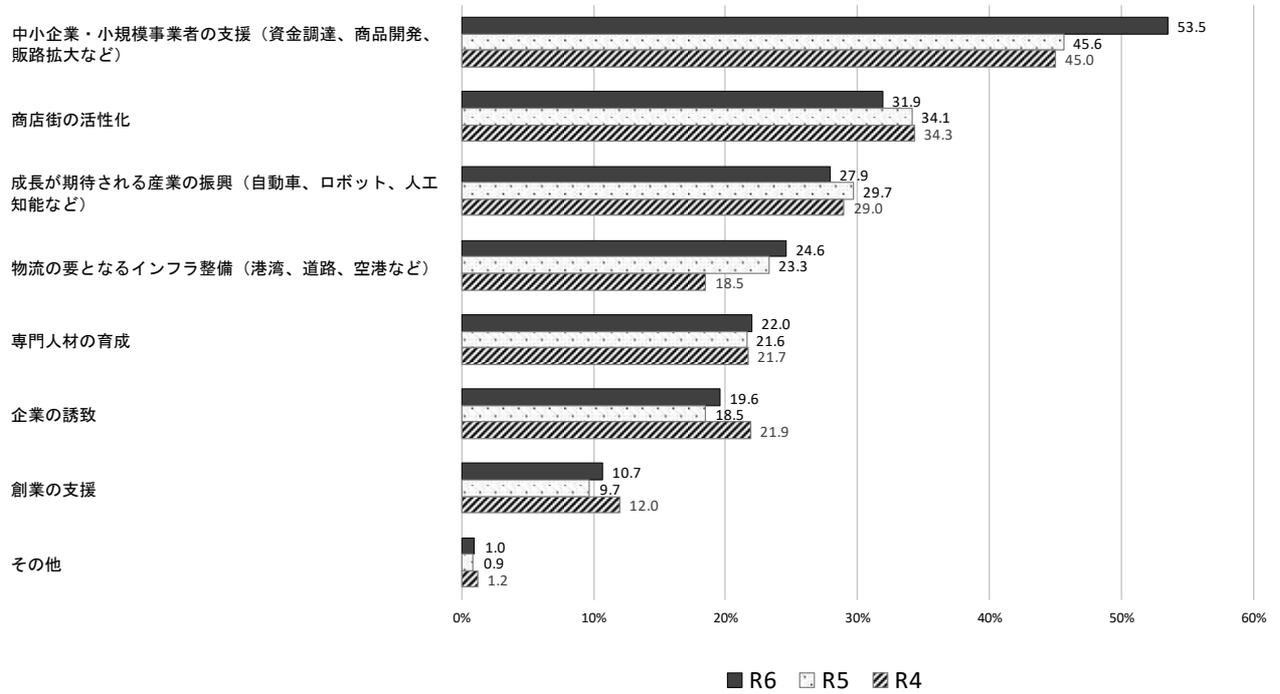
商工業を通じた福岡県経済の発展について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「中小企業・小規模事業者の支援（資金調達、商品開発、販路拡大など）」（53.5%）が最も高く、次いで、「商店街の活性化」（31.9%）、「成長が期待される産業の振興（自動車、ロボット、人工知能など）」（27.9%）、の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「物流の要となるインフラ整備（港湾、道路、空港など）」が他地域と比較して高くなっています。

商工業



商工業（経年変化）



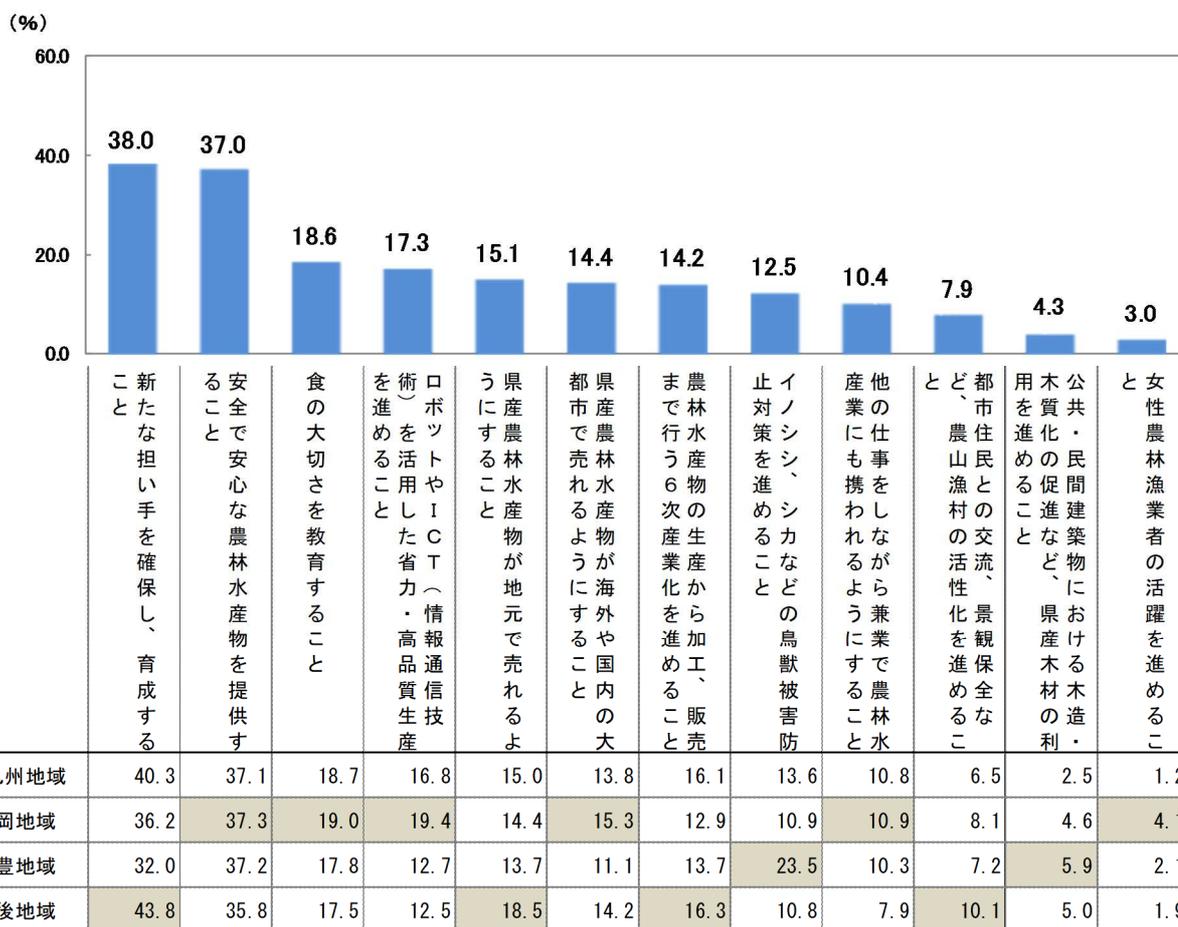
(6) 農林水産業

【あてはまるもの2つ選択可】

福岡県の農林水産業発展について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「新たな担い手を確保し、育成すること」(38.0%)が最も高く、次いで、「安全で安心な農林水産物を提供すること」(37.0%)、「食の大切さを教育すること」(18.6%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「イノシシ、シカなどの鳥獣被害防止対策を進めること」が他地域と比較して高くなっています。

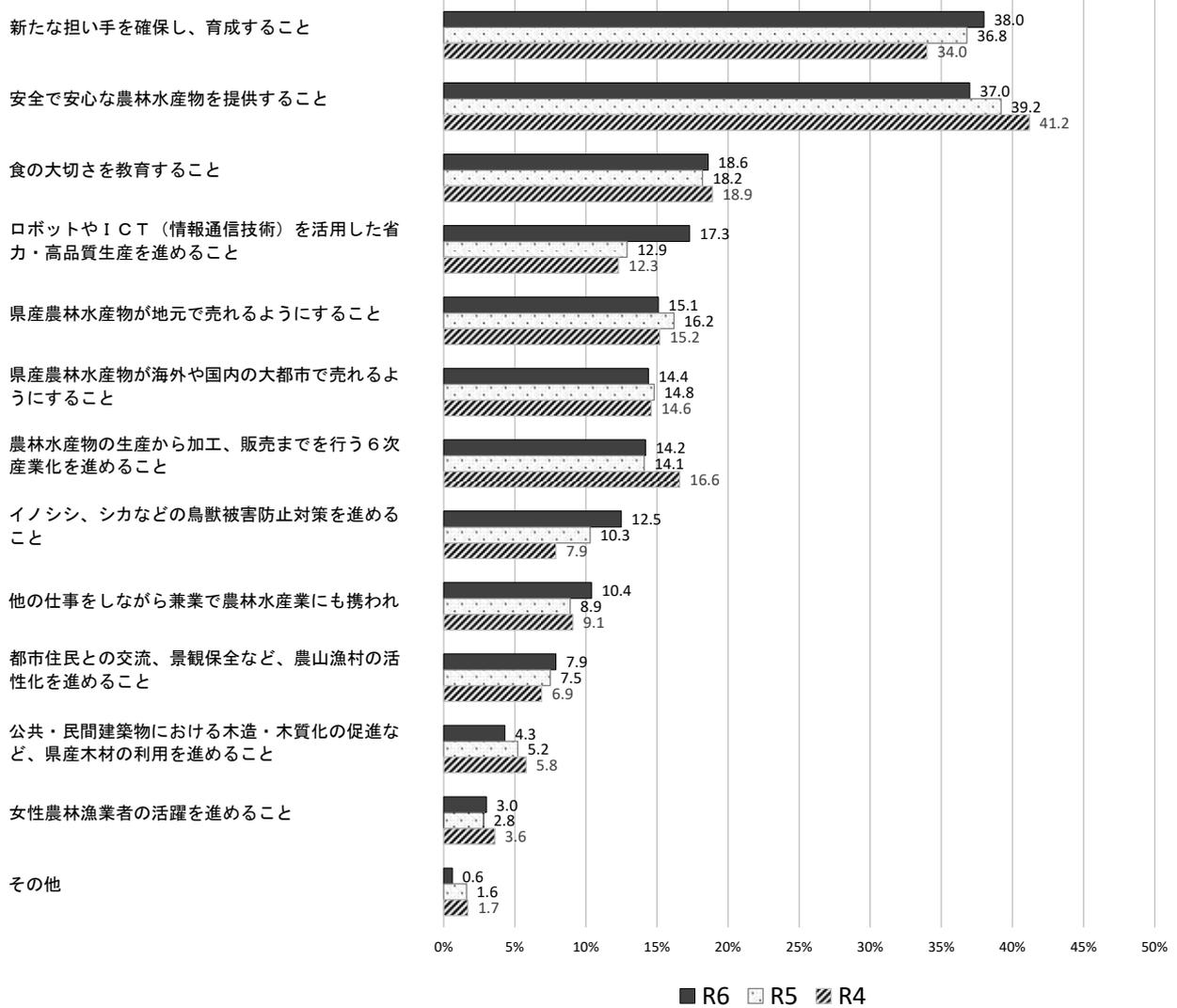
農林水産業



地域別	新たな担い手を確保し、育成すること	安全で安心な農林水産物を提供すること	食の大切さを教育すること	ロボットやICT(情報通信技術)を活用した省力・高品質生産を進めること	県産農林水産物が地元で売れるようにすること	都市産農林水産物が海外や国内の大都市で売れるようにすること	農林水産物の生産から加工、販売まで行う6次産業化を進めること	イノシシ、シカなどの鳥獣被害防止対策を進めること	他の仕事をしながら兼業で農林水産業にも携われるようにすること	と、農山漁村の活性化を進めること	都市住民との交流、景観保全など、農山漁村の活性化を進めること	公共・民間建築物における木造利用の促進など、県産木材の利	と女性農林漁業者の活躍を進めること
北九州地域	40.3	37.1	18.7	16.8	15.0	13.8	16.1	13.6	10.8	6.5	2.5	1.2	
福岡地域	36.2	37.3	19.0	19.4	14.4	15.3	12.9	10.9	10.9	8.1	4.6	4.1	
筑豊地域	32.0	37.2	17.8	12.7	13.7	11.1	13.7	23.5	10.3	7.2	5.9	2.1	
筑後地域	43.8	35.8	17.5	12.5	18.5	14.2	16.3	10.8	7.9	10.1	5.0	1.9	

■は4地域中で最も高い値の地域

農林水産業（経年変化）



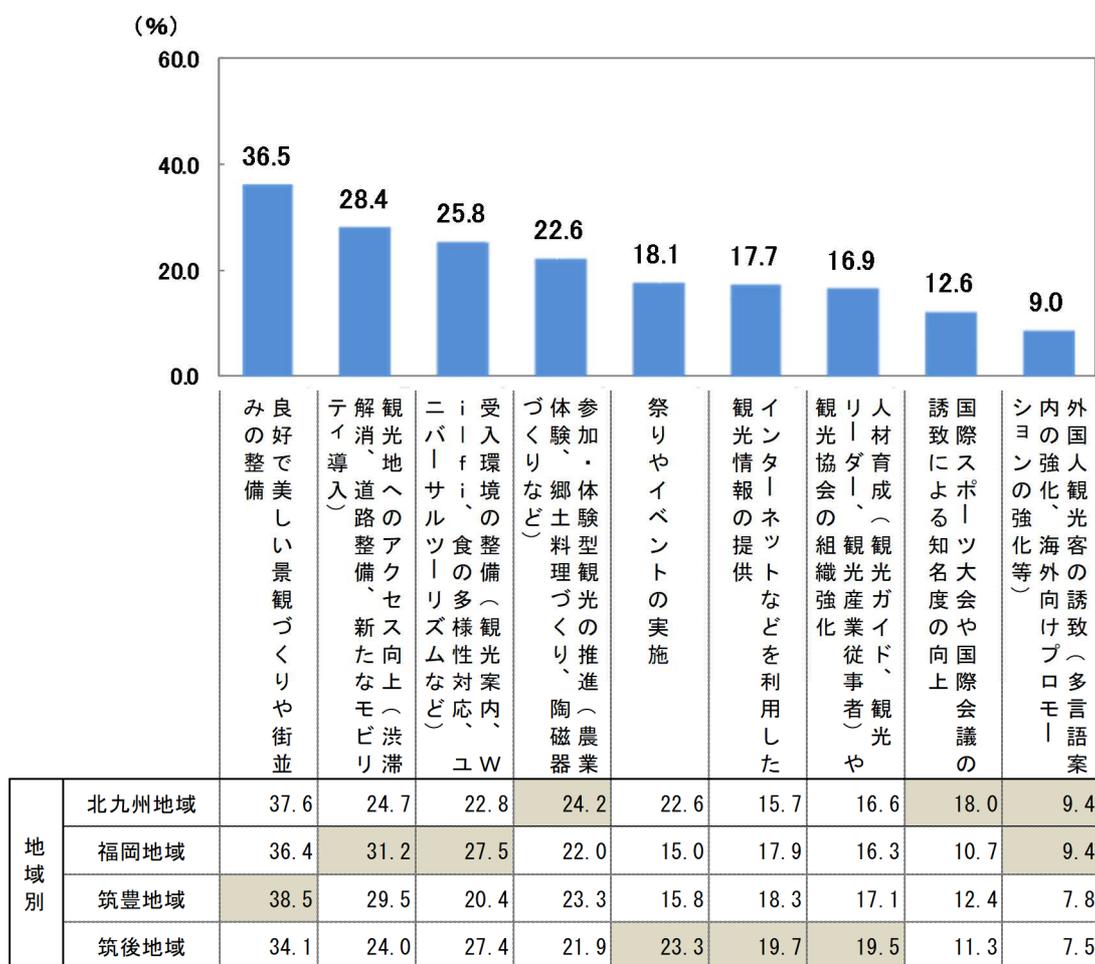
(7) 観光

【あてはまるもの2つ選択可】

観光客誘致について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「良好で美しい景観づくりや街並みの整備」(36.5%)が最も高く、次いで、「観光地へのアクセス向上(渋滞解消、道路整備、新たなモビリティ導入)」(28.4%)、「受入環境の整備(観光案内、Wi-fi、食の多様性対応、ユニバーサルツーリズムなど)」(25.8%)、「参加・体験型観光の推進(農業体験、郷土料理づくり、陶磁器づくりなど)」(22.6%)の順となっています。

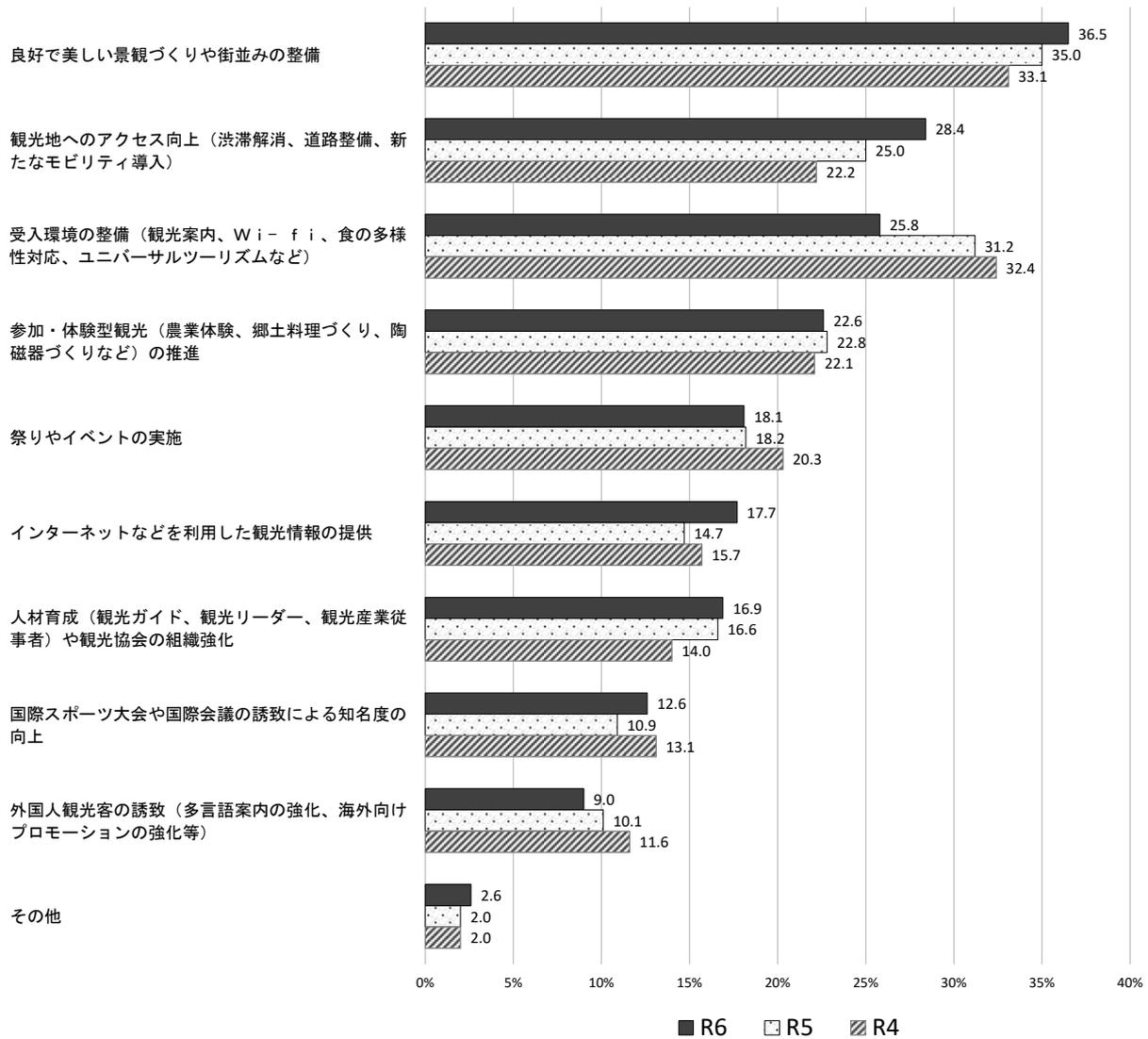
地域別にみると、北九州地域では「国際スポーツ大会や国際会議の誘致による知名度の向上」が他地域と比較して高くなっています。

観 光



■は4地域中で最も高い値の地域

観 光（経年変化）



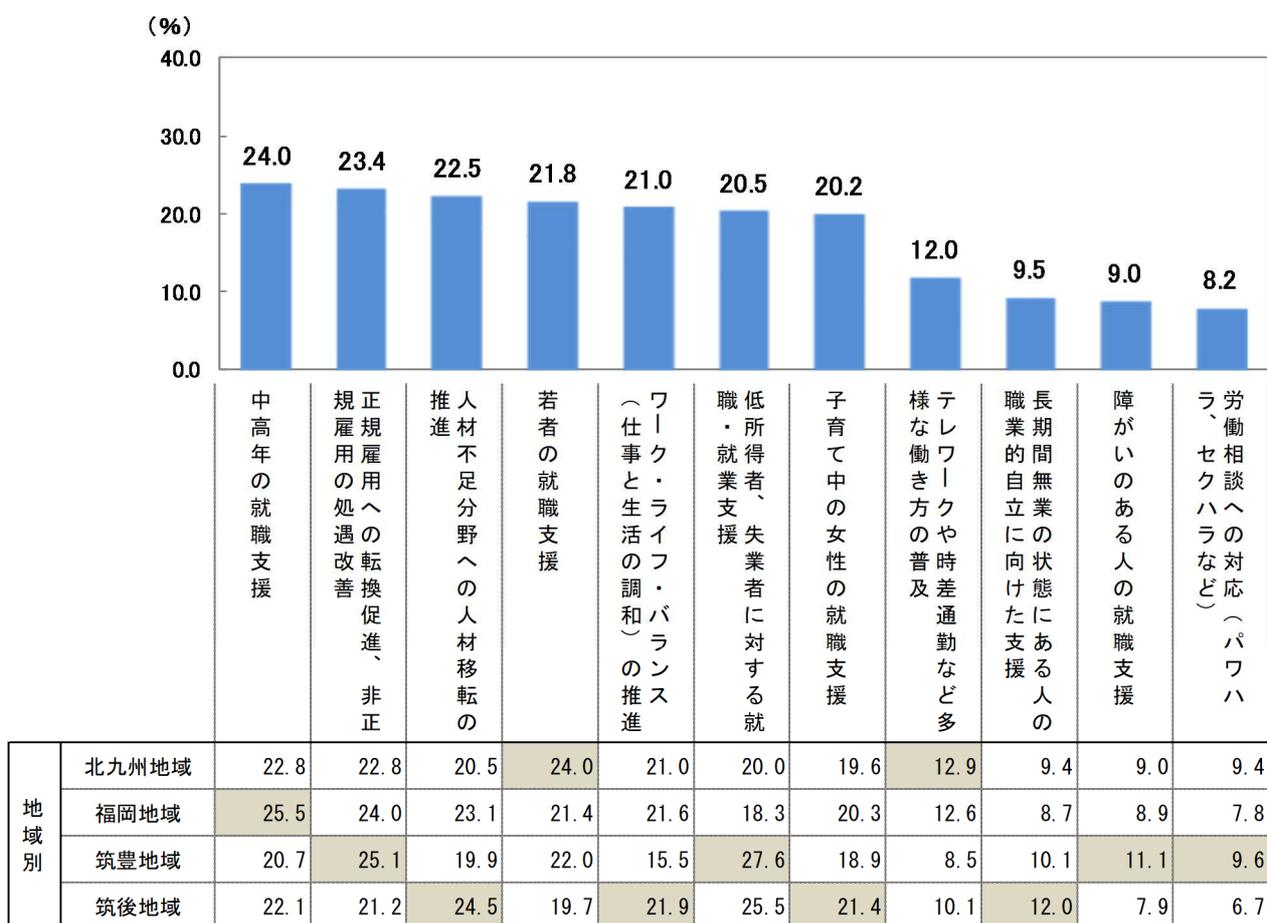
(8) 雇用・働き方

【あてはまるもの2つ選択可】

雇用対策について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「中高年の就職支援」(24.0%)が最も高く、次いで、「正規雇用への転換促進、非正規雇用の処遇改善」(23.4%)、「人材不足分野への人材移転の推進」(22.5%)、「若者の就職支援」(21.8%)の順となっています。

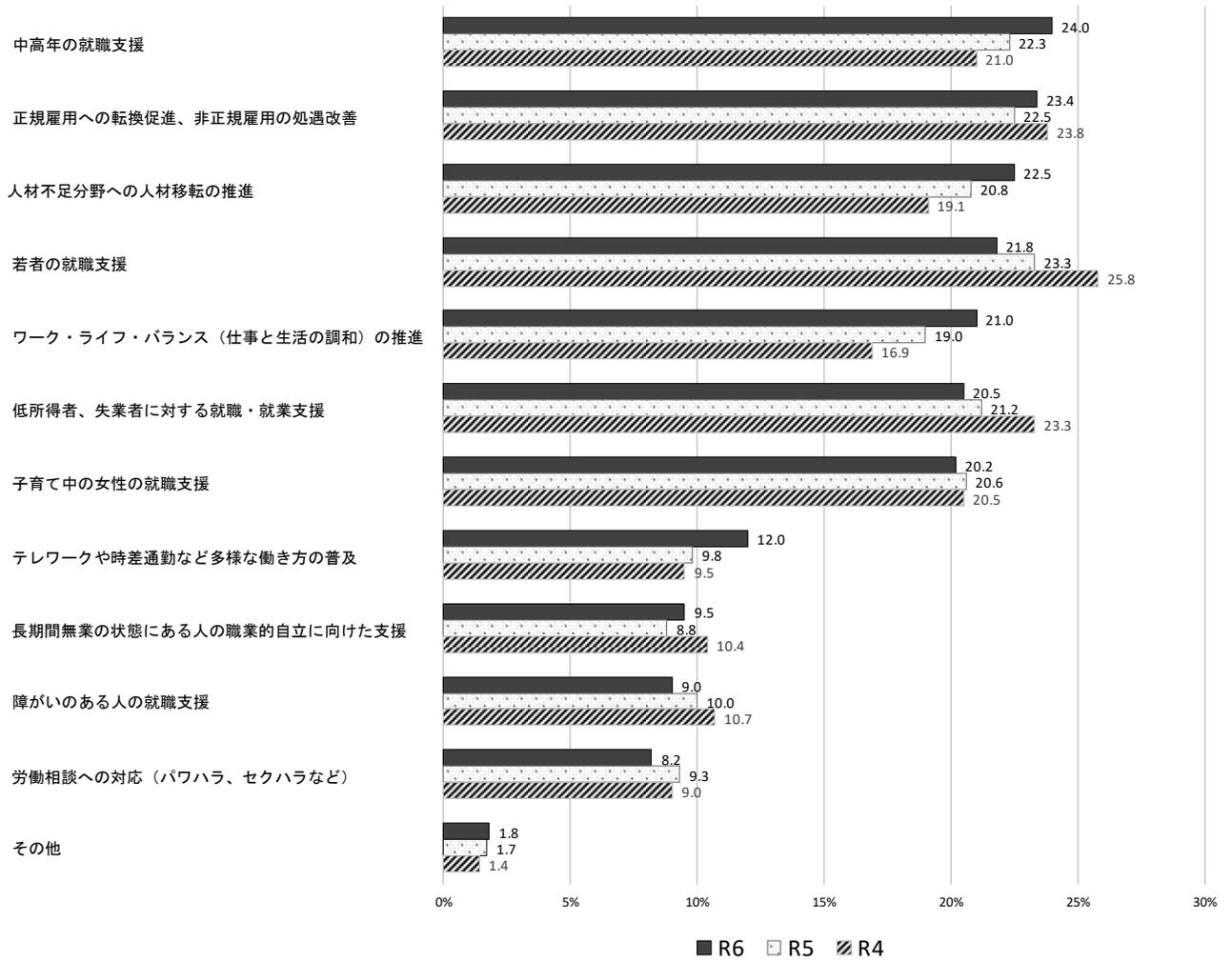
地域別にみると、福岡地域では「中高年の就職支援」が他地域と比較して高くなっています。

雇用・働き方



は4地域中で最も高い値の地域

雇用・働き方（経年変化）



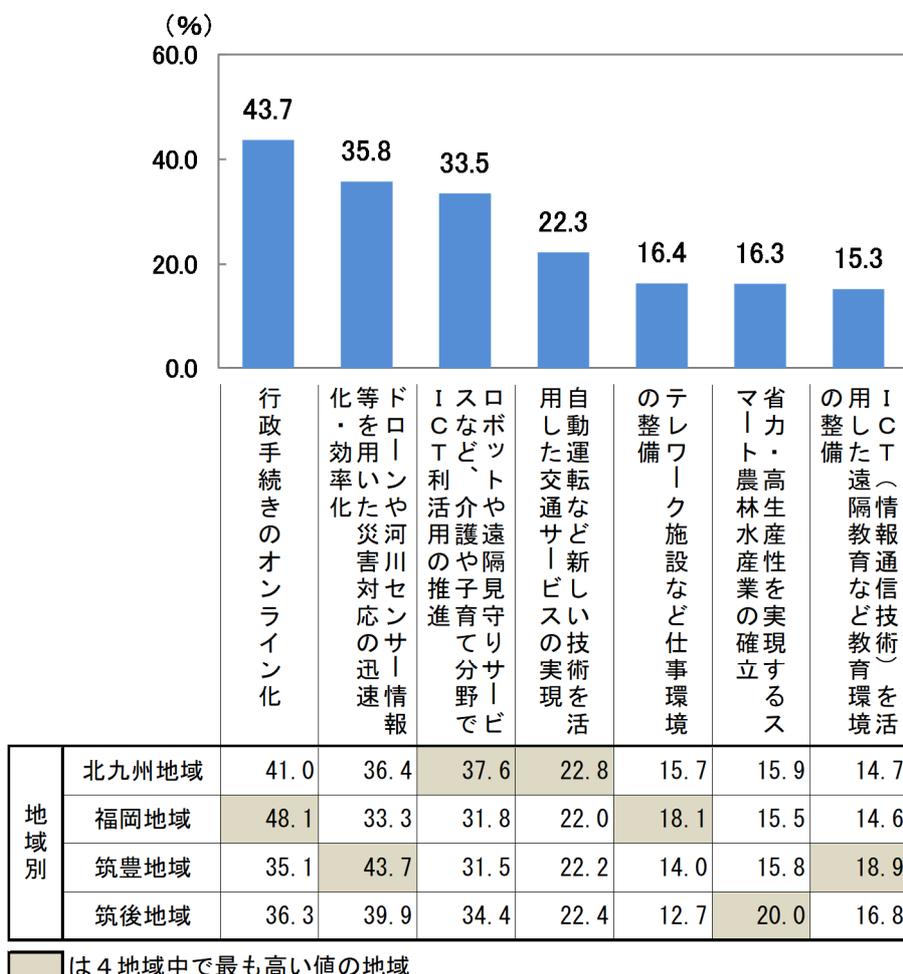
(9) デジタル化

【あてはまるもの2つ選択可】

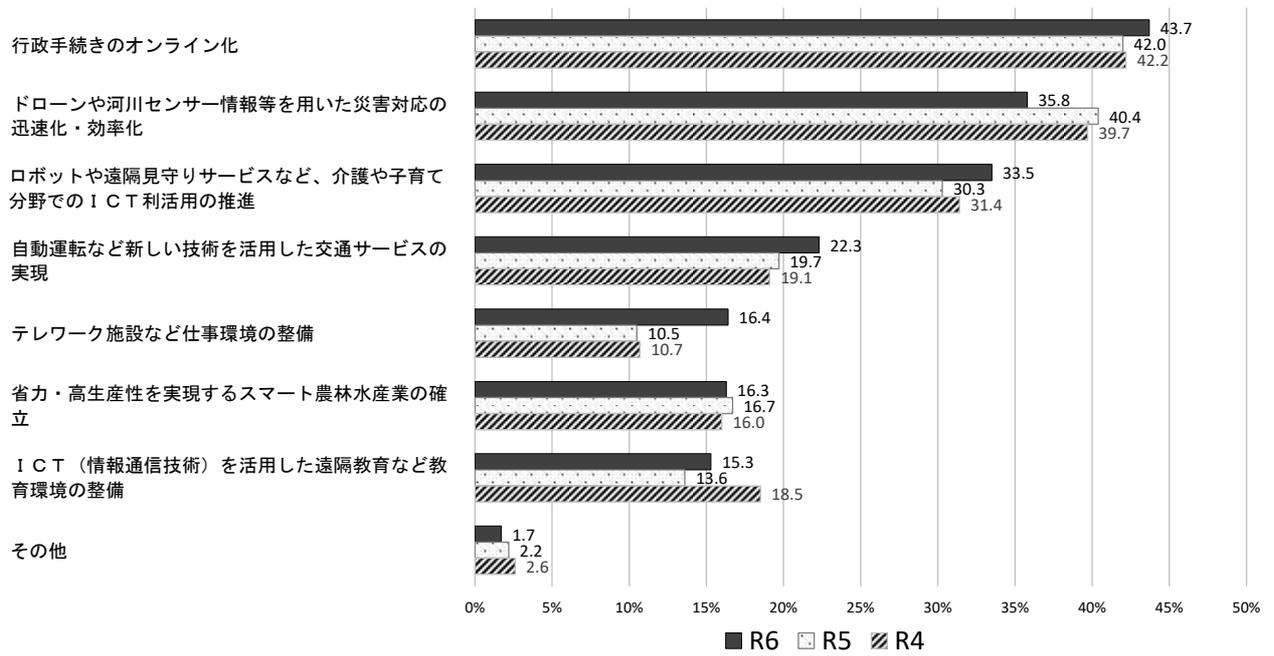
デジタル化について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「行政手続きのオンライン化」(43.7%)が最も高く、次いで、「ドローンや河川センサー情報等を用いた災害対応の迅速化・効率化」(35.8%)、「ロボットや遠隔見守りサービスなど、介護や子育て分野でのICT利活用の推進」(33.5%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「行政手続きのオンライン化」が他地域と比較して高くなっています。

デジタル化



デジタル化（経年変化）



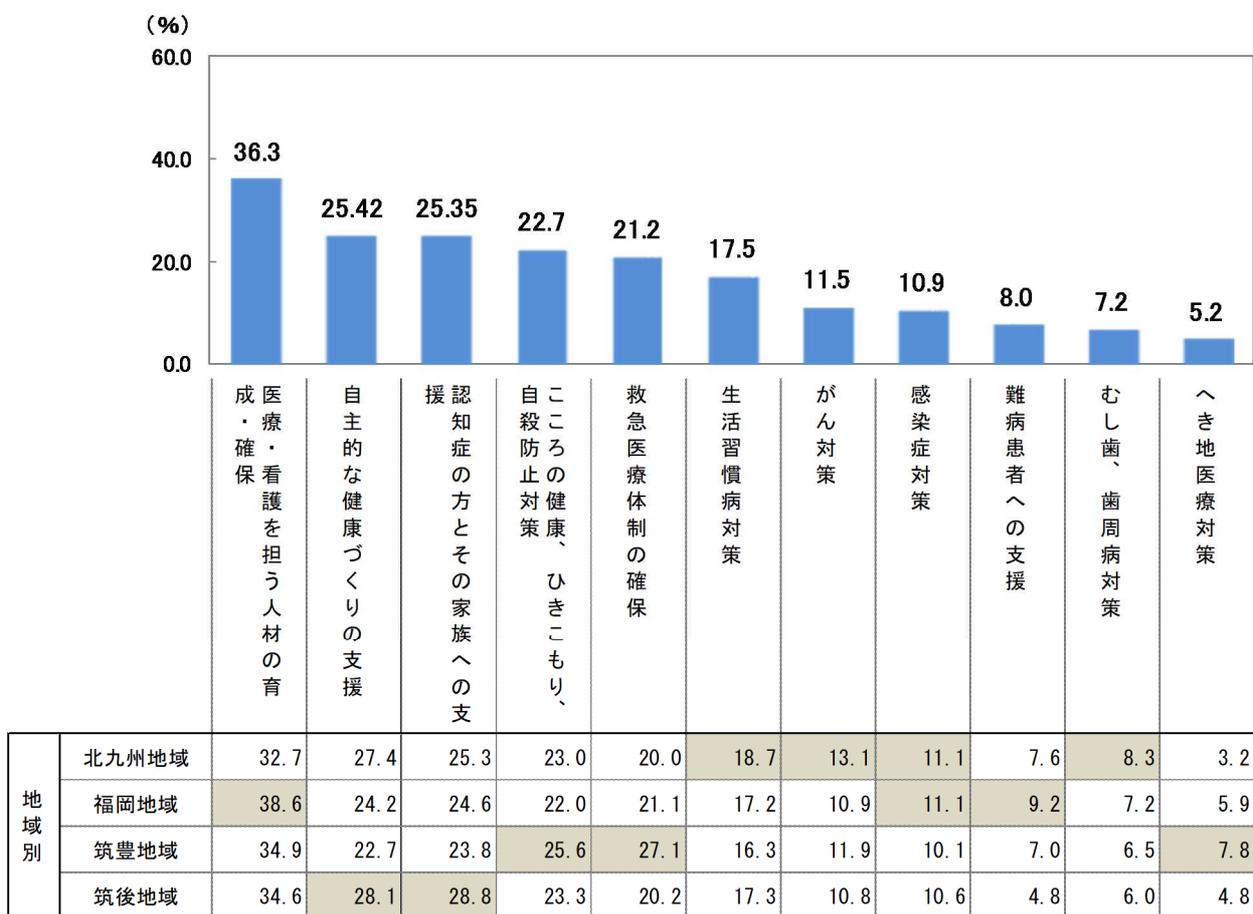
(10) 保健・医療

【あてはまるもの2つ選択可】

健康で長生きすることができる社会づくりについて、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「医療・看護を担う人材の育成・確保」(36.3%)が最も高く、次いで、「自主的な健康づくりの支援」(25.42%)「認知症の方とその家族への支援」(25.35%)、「こころの健康、ひきこもり、自殺防止対策」(22.7%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「救急医療体制の確保」が他地域と比較して高くなっています。

保健・医療



は4地域中で最も高い値の地域

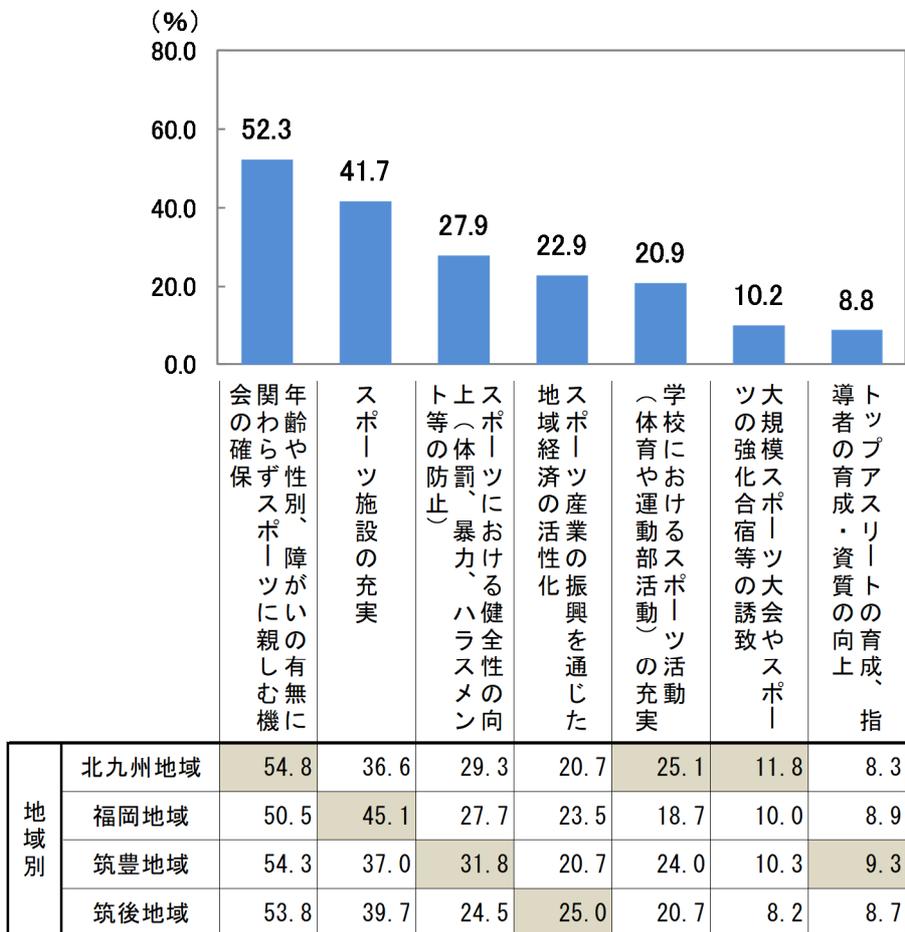
(11) スポーツ

【あてはまるもの2つ選択可】

スポーツの推進について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保」(52.3%)が最も高く、次いで、「スポーツ施設の充実」(41.7%)、「スポーツにおける健全性の向上(体罰、暴力、ハラスメント等の防止)」(27.9%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保」が最も高くなっています。

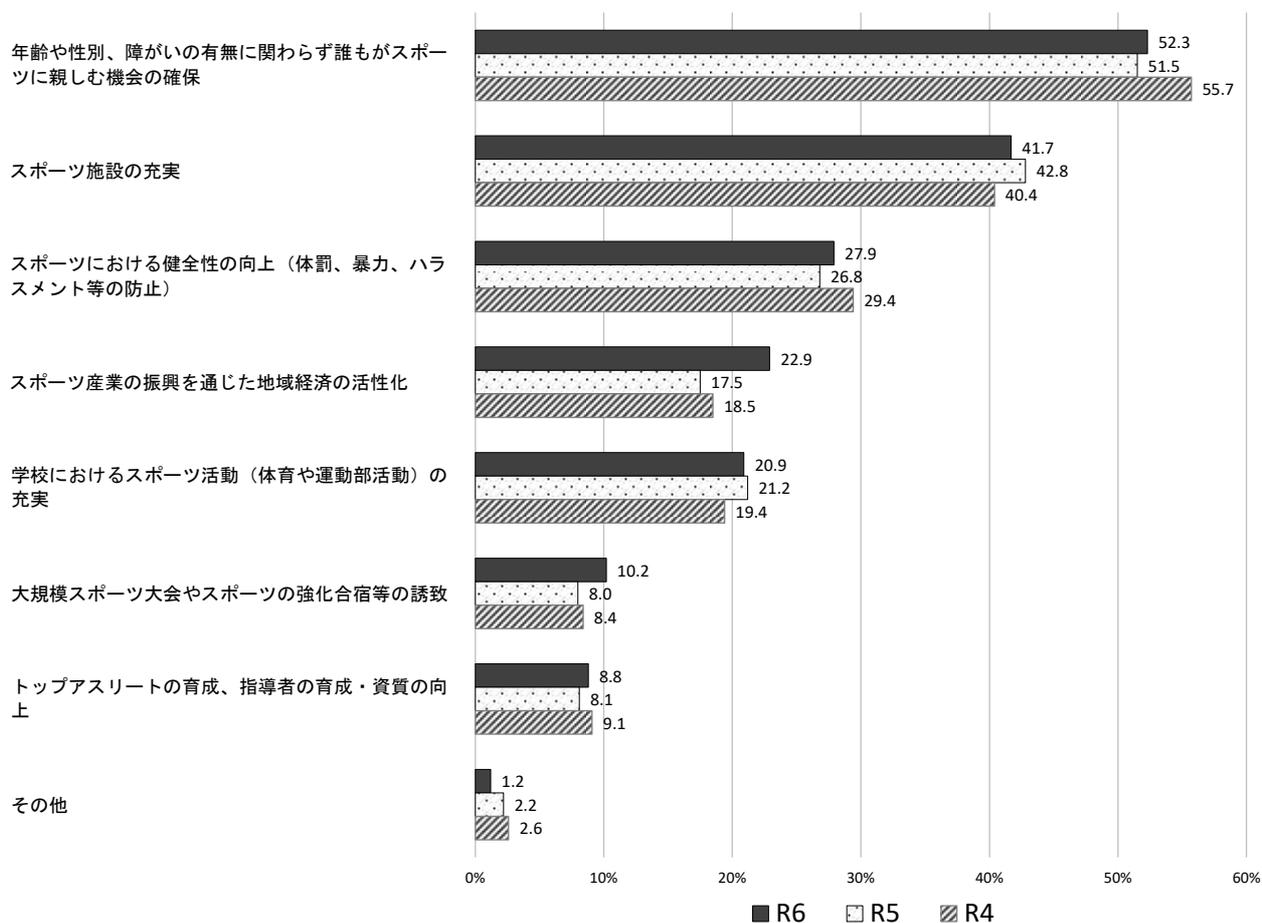
スポーツ



地域別	年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保	スポーツ施設の充実	スポーツにおける健全性の向上(体罰、暴力、ハラスメント等の防止)	スポーツ産業の振興を通じた地域経済の活性化	学校におけるスポーツ活動(体育や運動部活動)の充実	大規模スポーツ大会やスポーツの強化・宿泊等の誘致	トップアスリートの育成、指導者の育成・資質の向上
北九州地域	54.8	36.6	29.3	20.7	25.1	11.8	8.3
福岡地域	50.5	45.1	27.7	23.5	18.7	10.0	8.9
筑豊地域	54.3	37.0	31.8	20.7	24.0	10.3	9.3
筑後地域	53.8	39.7	24.5	25.0	20.7	8.2	8.7

■は4地域中で最も高い値の地域

スポーツ（経年変化）



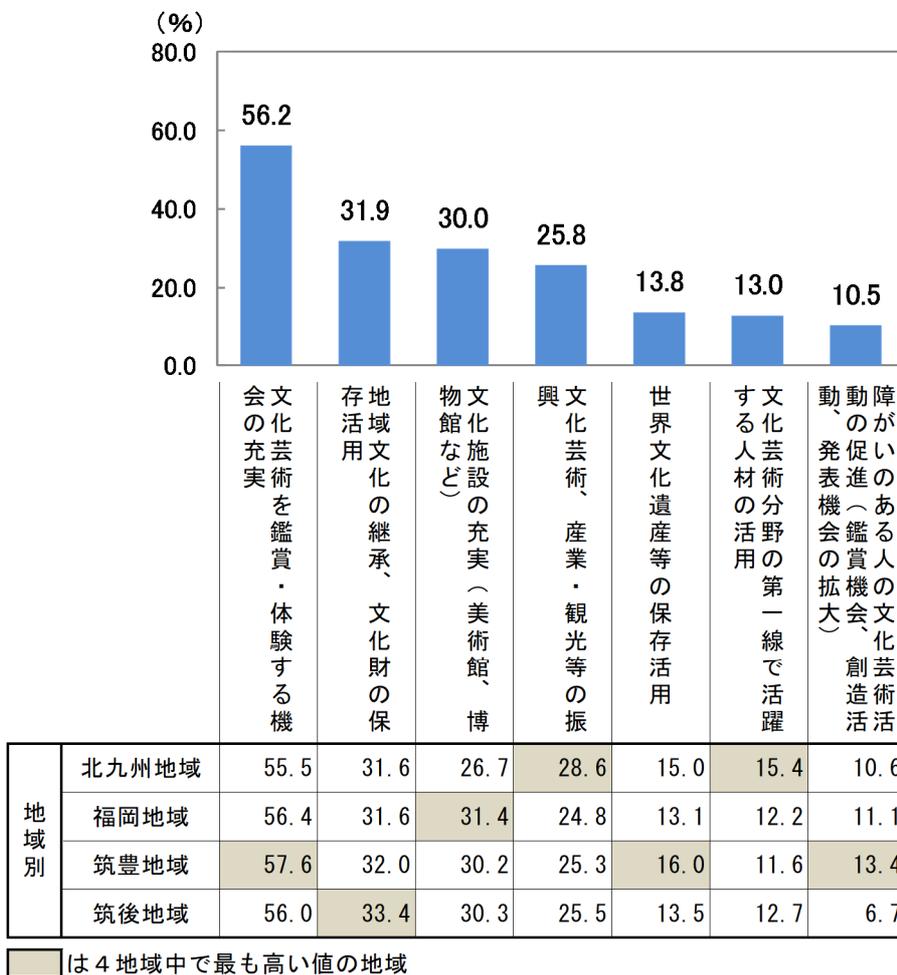
(12) 文化

【あてはまるもの2つ選択可】

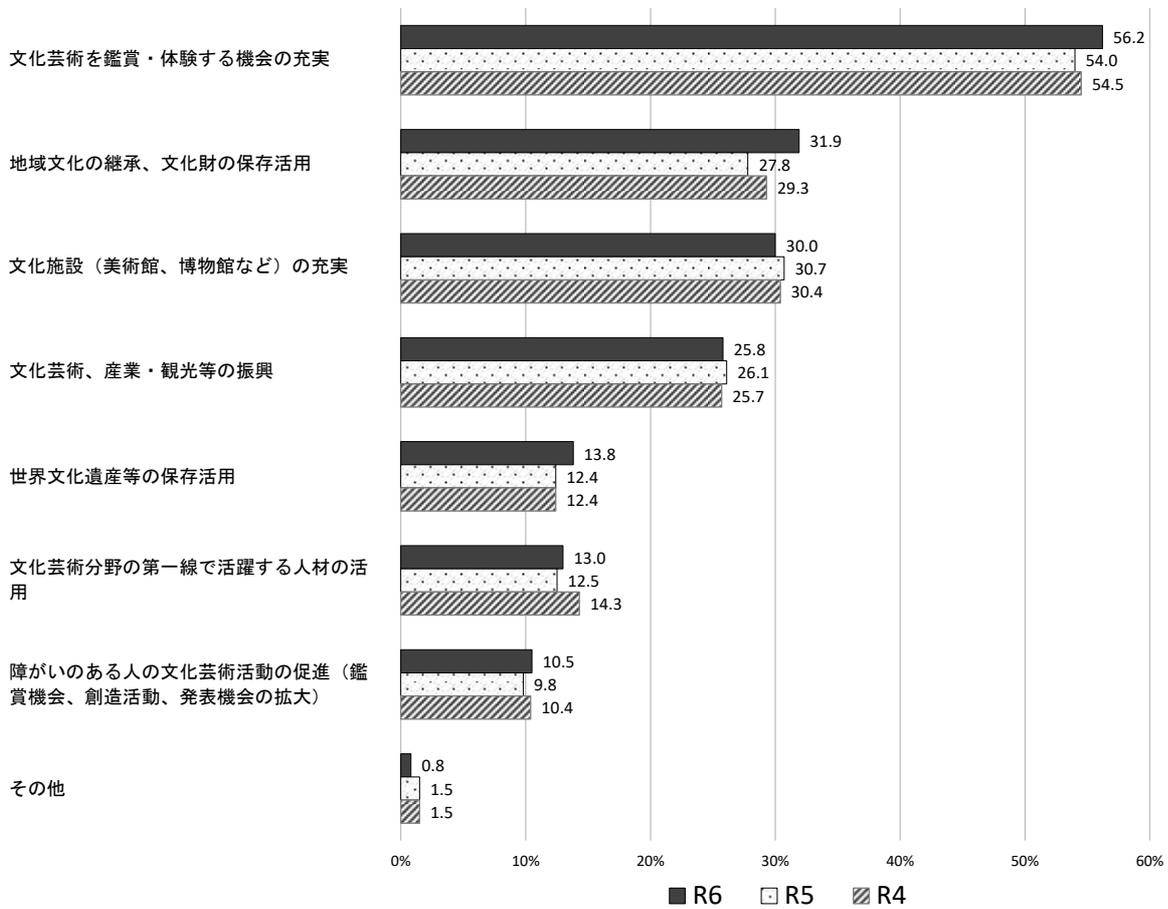
文化活動について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」(56.2%)が最も高く、次いで、「地域文化の継承、文化財の保存活用」(31.9%)、「文化施設の充実(美術館、博物館など)」(30.0%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」が最も高く、北九州地域では「文化芸術、産業・観光等の振興」が他地域と比較して高くなっています。

文 化



文化（経年変化）



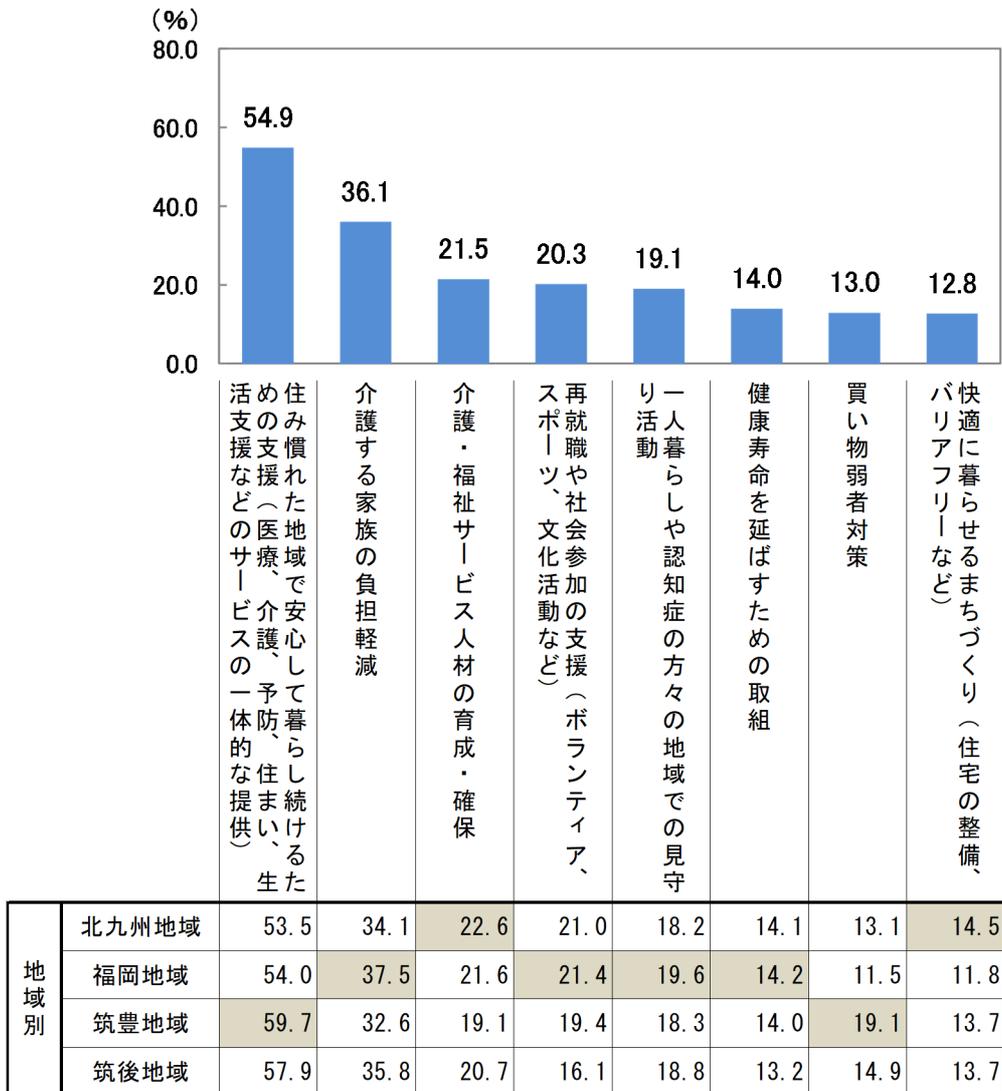
(13) 高齢者

【あてはまるもの2つ選択可】

高齢者が安心して生活できる社会づくりについて、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援（医療、介護、予防、住まい、生活支援などのサービスの一体的な提供）」（54.9%）が最も高く、次いで、「介護する家族の負担軽減」（36.1%）、「介護・福祉サービス人材の育成・確保」（21.5%）の順となっています。

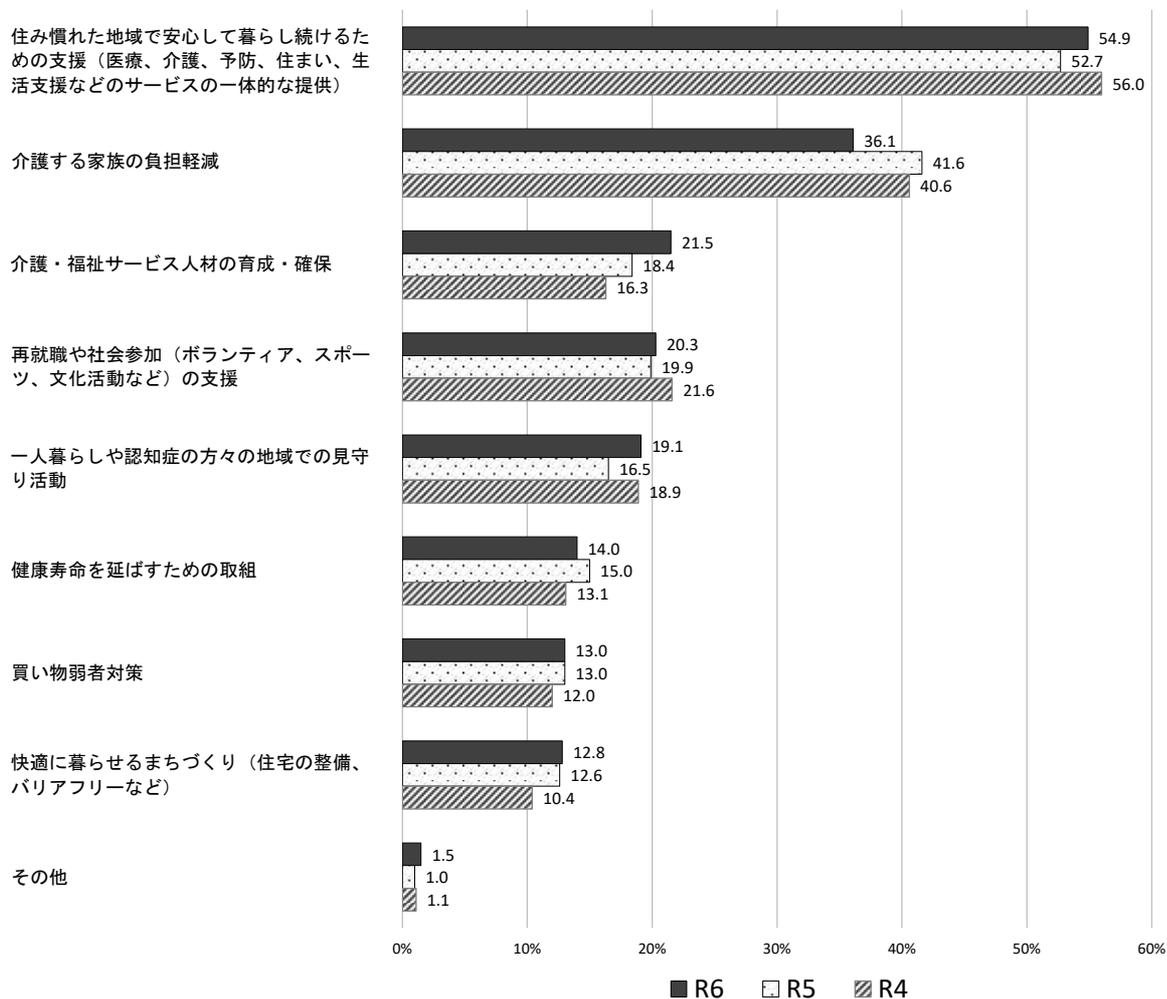
地域別にみると、どの地域でも「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援（医療、介護、予防、住まい、生活支援などのサービスの一体的な提供）」が最も高く、筑豊地域では「買い物弱者対策」が他地域と比較して高くなっています。

高齢者



■は4地域中で最も高い値の地域

高齢者（経年変化）



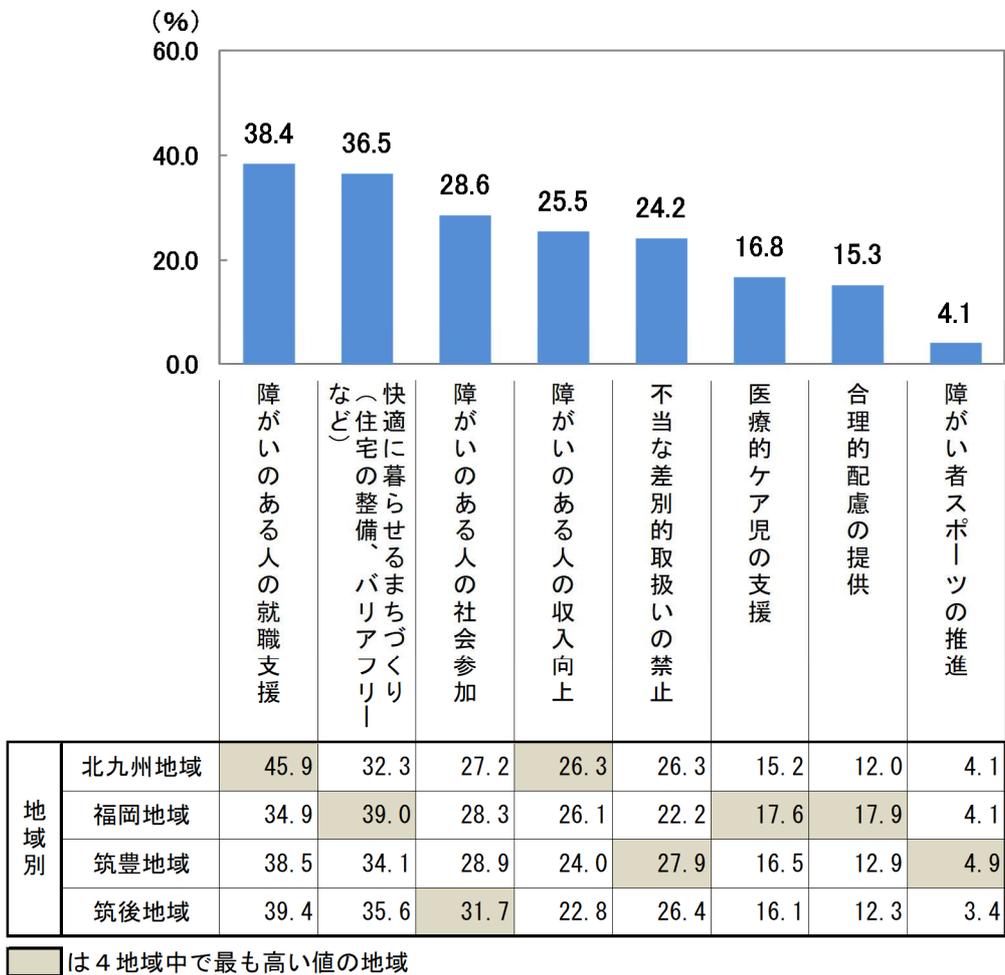
(14) 障がいのある人

【あてはまるもの2つ選択可】

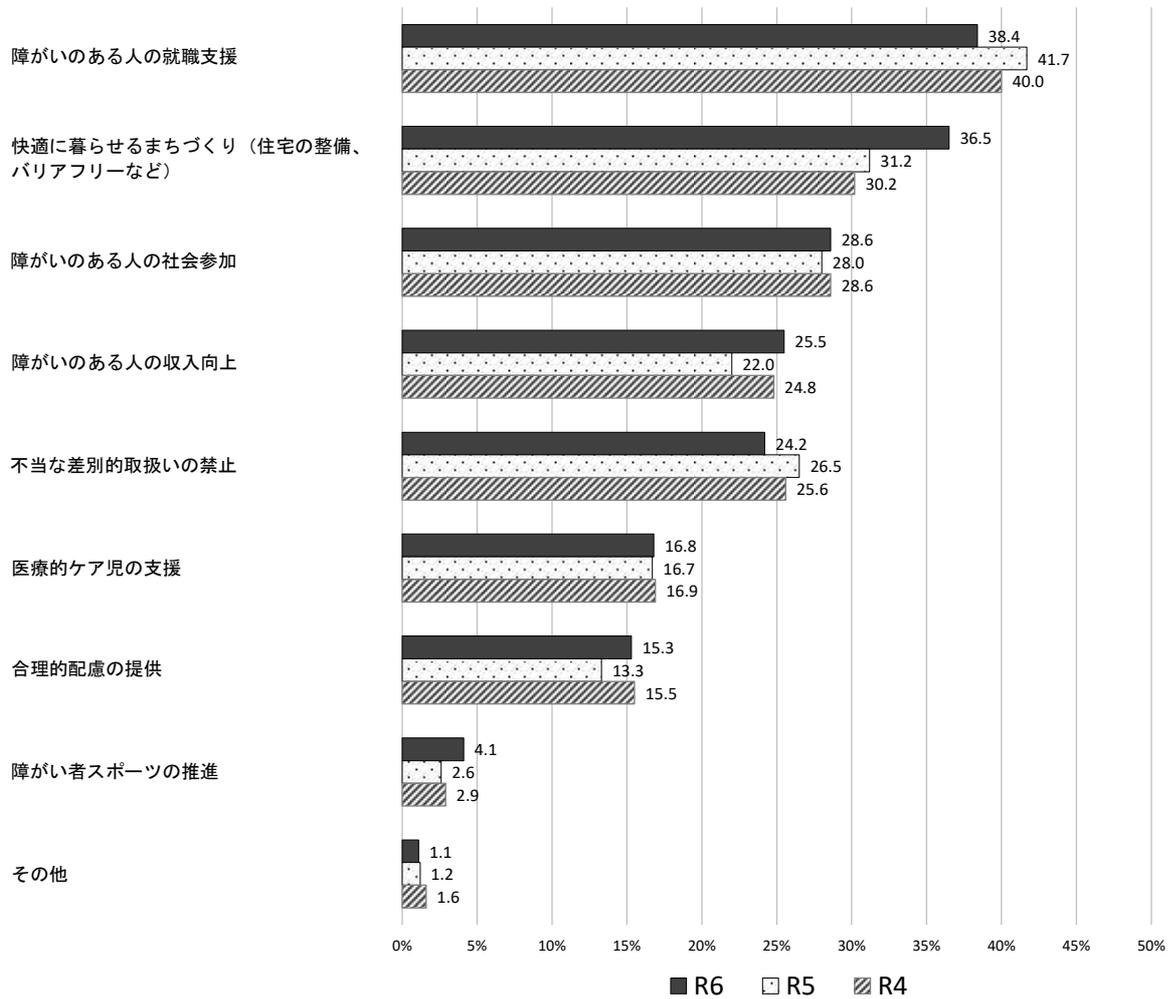
障がいのある人が安心して生活できる社会づくりについて、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「障がいのある人の就職支援」(38.4%)が最も高く、次いで、「快適に暮らせるまちづくり(住宅の整備、バリアフリーなど)」(36.5%)、「障がいのある人の社会参加」(28.6%)、「障がいのある人の収入向上」(25.5%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「障がいのある人の就職支援」が他地域と比較して高くなっています。

障がいのある人



障がいのある人（経年変化）



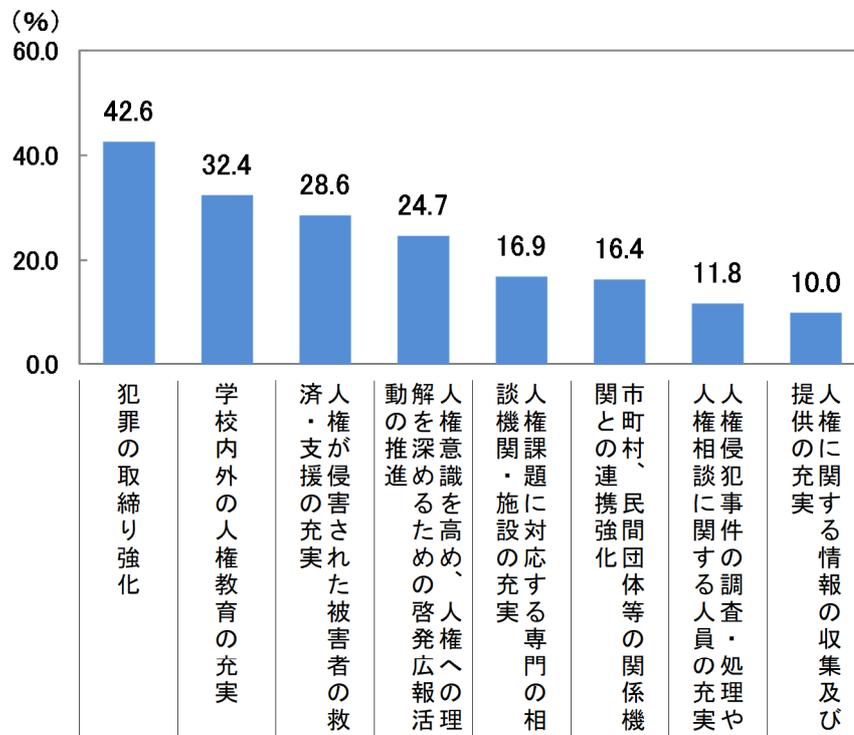
(15) 人権

【あてはまるもの2つ選択可】

人権課題の解決について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「犯罪の取締り強化」(42.6%)が最も高く、次いで、「学校内外の人権教育の充実」(32.4%)、「人権が侵害された被害者の救済・支援の充実」(28.6%)、「人権意識を高め、人権への理解を深めるための啓発広報活動の推進」(24.7%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「市町村、民間団体等の関係機関との連携強化」が他地域と比較して高くなっています。

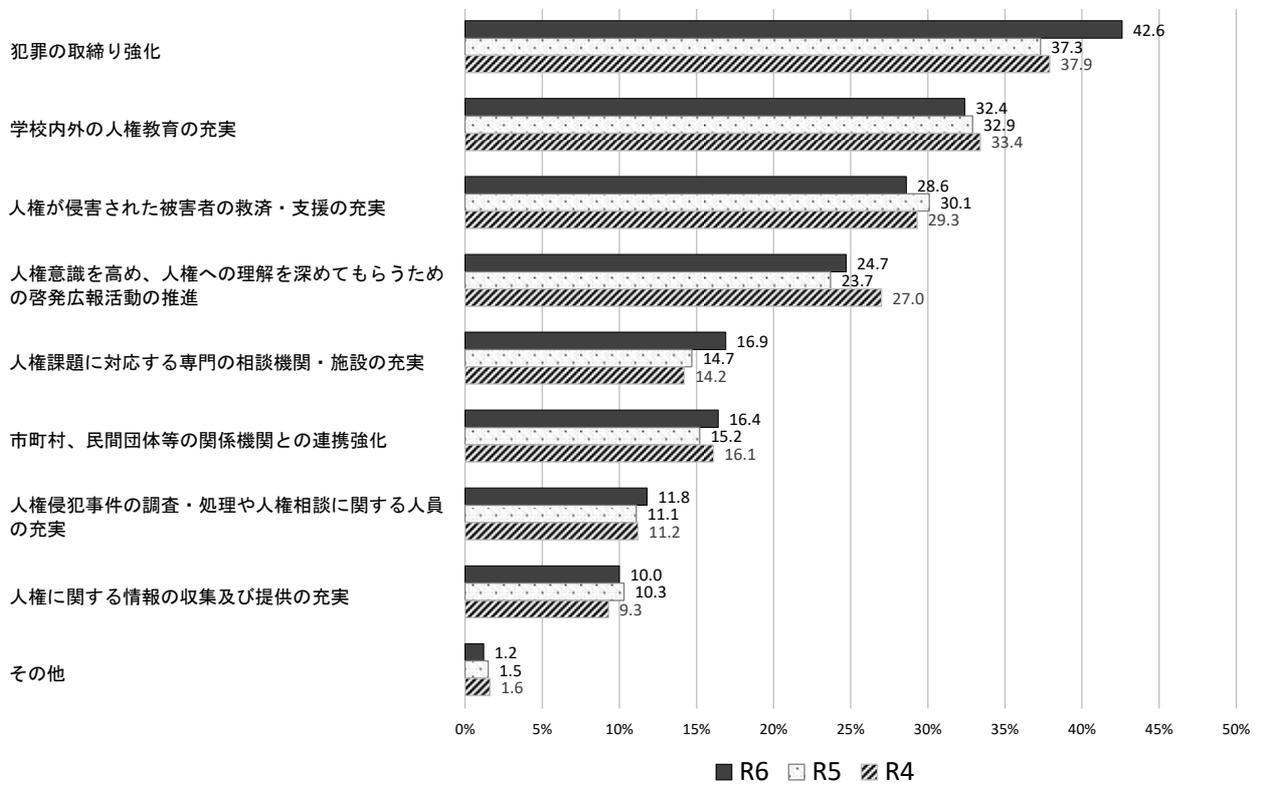
人 権



地域別	犯罪の取締り強化	学校内外の人権教育の充実	人権が侵害された被害者の救済・支援の充実	人権意識を高め、人権への理解を深めるための啓発広報活動の推進	人権課題に対応する専門の相談機関・施設の充実	市町村、民間団体等の関係機関との連携強化	人権相関事件の調査・処理や人権相談に関する人員の充実	人権に関する情報の収集及び提供
北九州地域	41.5	34.8	27.6	27.0	18.4	13.1	12.9	8.5
福岡地域	44.9	31.8	29.6	22.9	16.6	16.3	11.5	10.7
筑豊地域	41.9	30.5	28.4	25.6	16.0	17.8	9.8	9.8
筑後地域	36.5	31.7	26.7	27.4	16.3	20.9	12.3	9.9

■は4地域中で最も高い値の地域

人 権（経年変化）



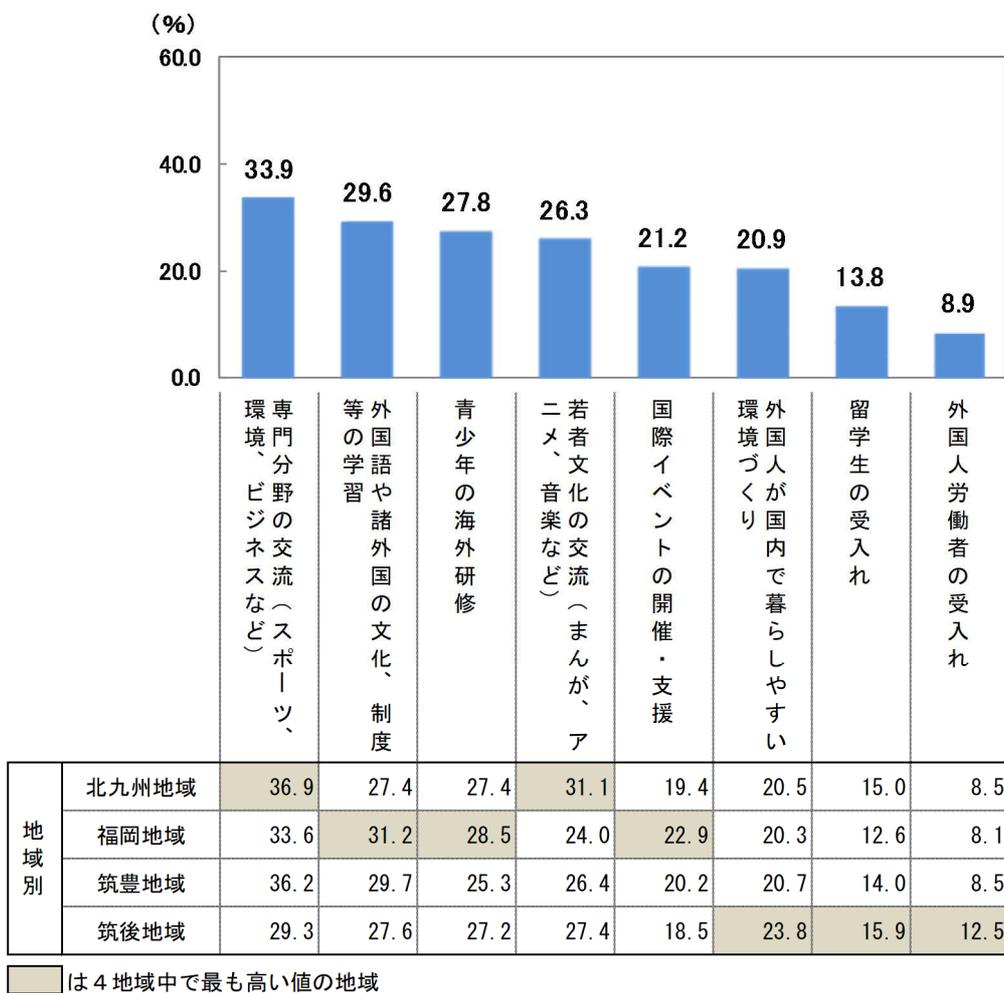
(16) 国際交流

【あてはまるもの2つ選択可】

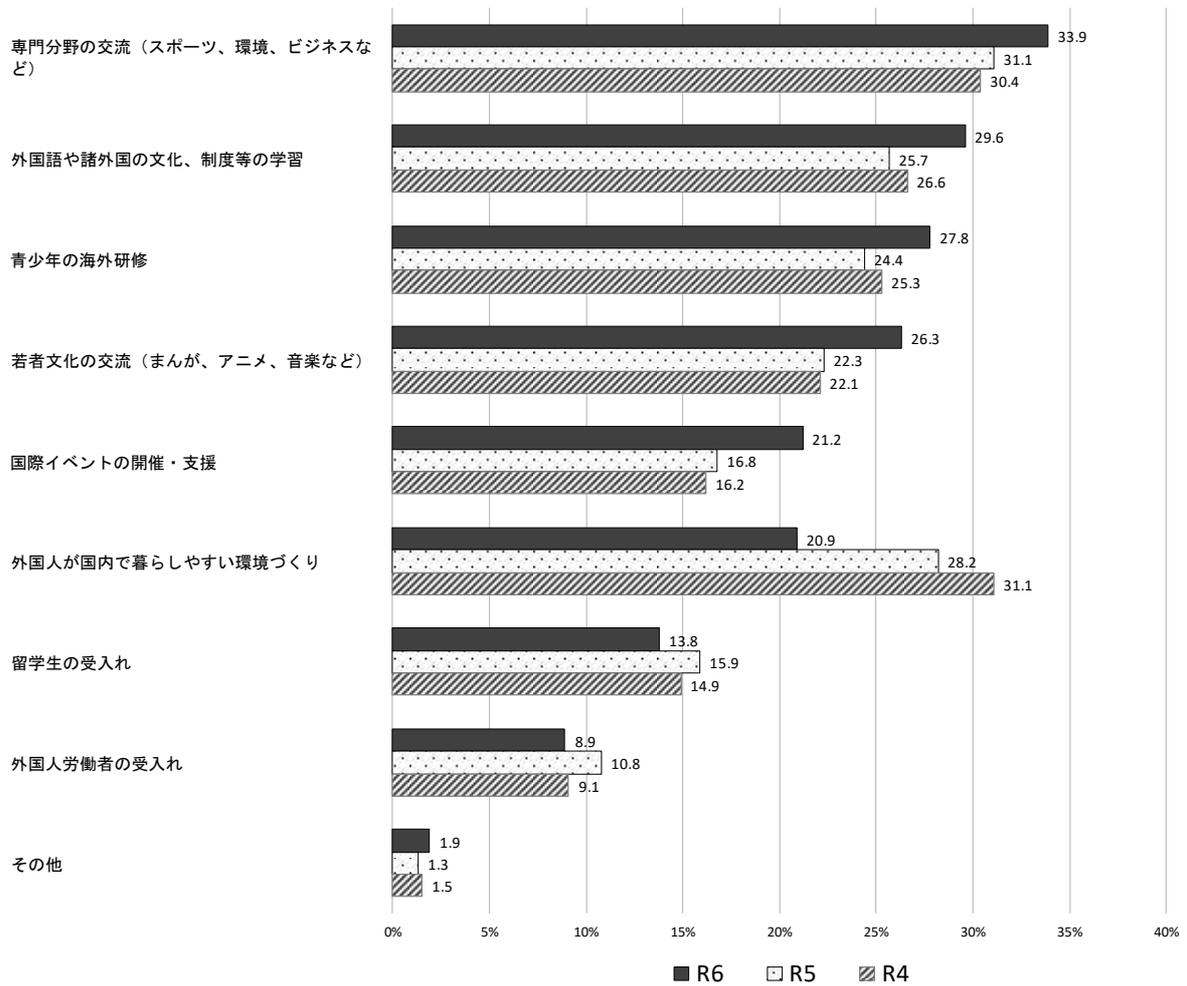
国際交流の推進や外国人との相互理解の促進について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「専門分野の交流（スポーツ、環境、ビジネスなど）」（33.9%）が最も高く、次いで、「外国語や諸外国の文化、制度等の学習」（29.6%）、「青少年の海外研修」（27.8%）、「若者文化の交流（まんが、アニメ、音楽など）」（26.3%）の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「外国人労働者の受入れ」が他地域と比較して高くなっています。

国際交流



国際交流（経年変化）



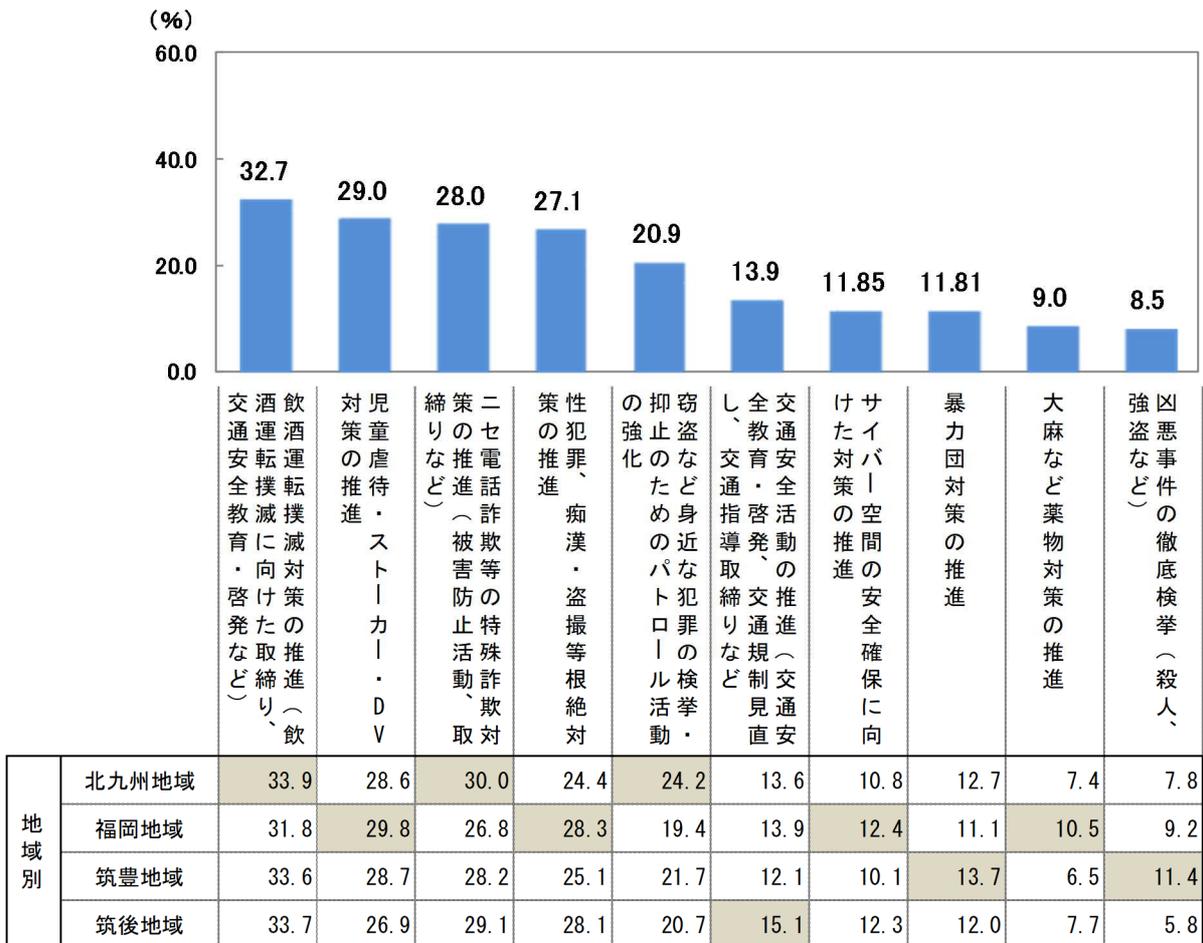
(17) 防犯・交通安全

【あてはまるもの2つ選択可】

犯罪や事故のない社会づくりについて、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「飲酒運転撲滅対策の推進（飲酒運転撲滅に向けた取締り・交通安全教育・啓発など）」（32.7%）が最も高く、次いで、「児童虐待・ストーカー・DV対策の推進」（29.0%）、「ニセ電話詐欺等の特殊詐欺対策の推進（被害防止活動、取締りなど）」（28.0%）、「性犯罪、痴漢・盗撮等根絶対策の推進」（27.1%）の順となっています。

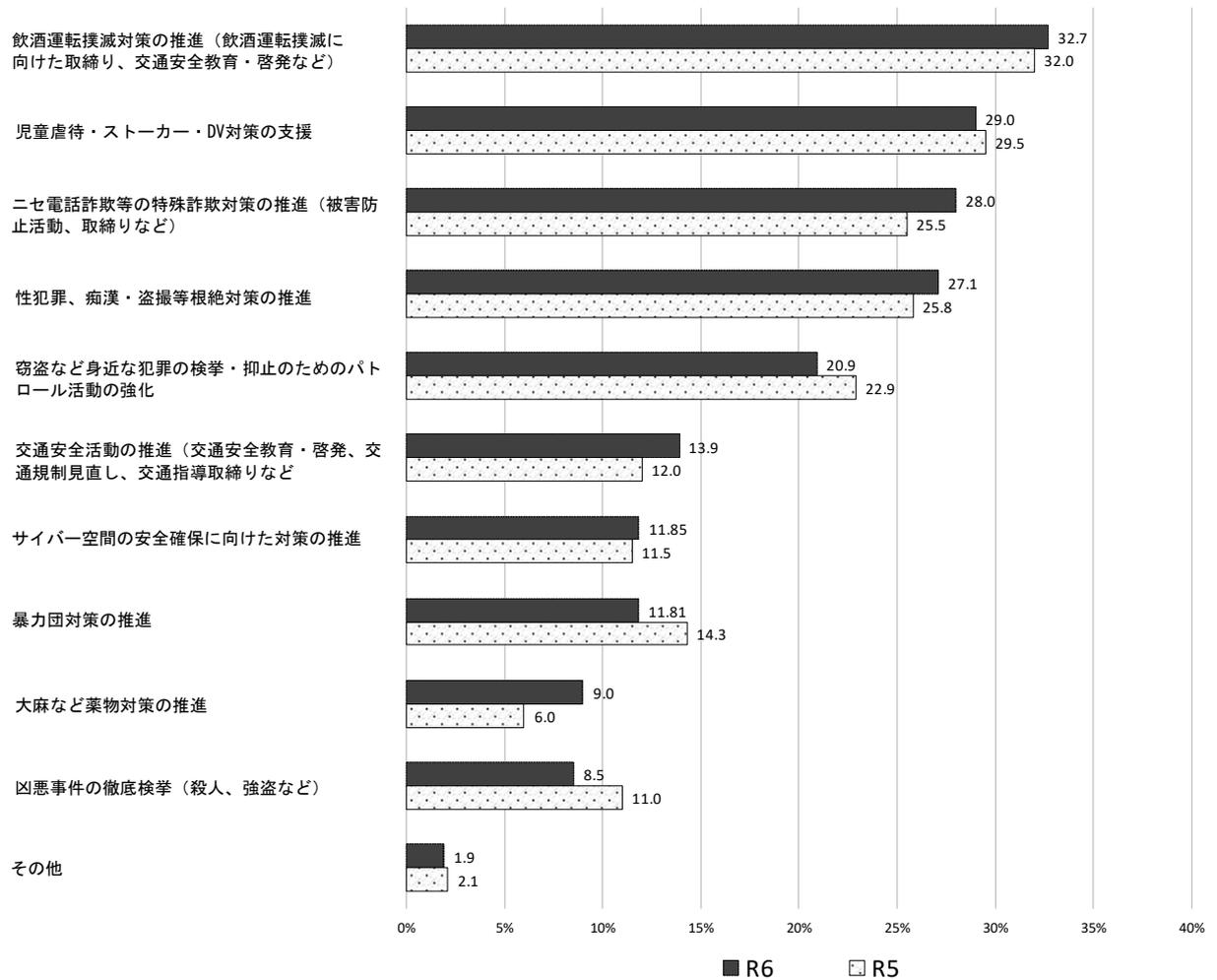
地域別にみると、福岡地域では「大麻などの薬物対策の推進」が他地域と比較して高くなっています。

防犯・交通安全



は4地域中で最も高い値の地域

防犯・交通安全（経年変化）



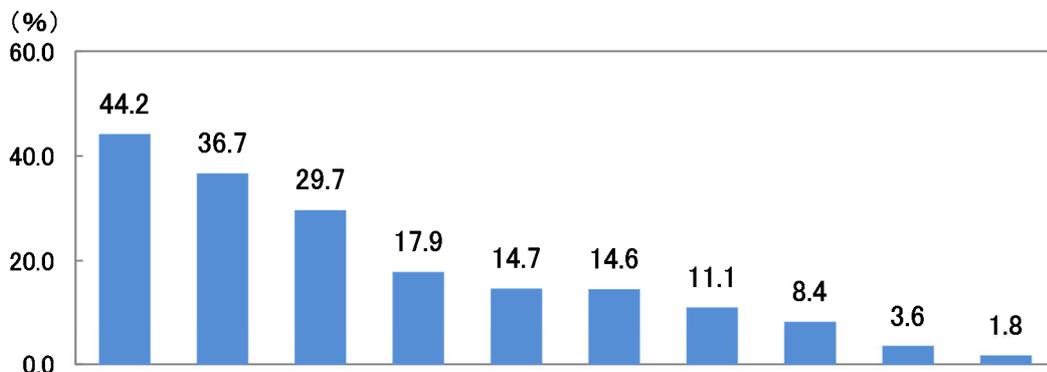
(18) 地域振興

【あてはまるもの2つ選択可】

地域振興について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「地域の雇用の創出につながる企業の誘致」(44.2%)が最も高く、次いで、「通勤・通学や日常生活の利便性向上につながる交通インフラの整備」(36.7%)、「医療提供体制の確保」(29.7%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「医療提供体制の確保」が他地域と比較して高くなっています。

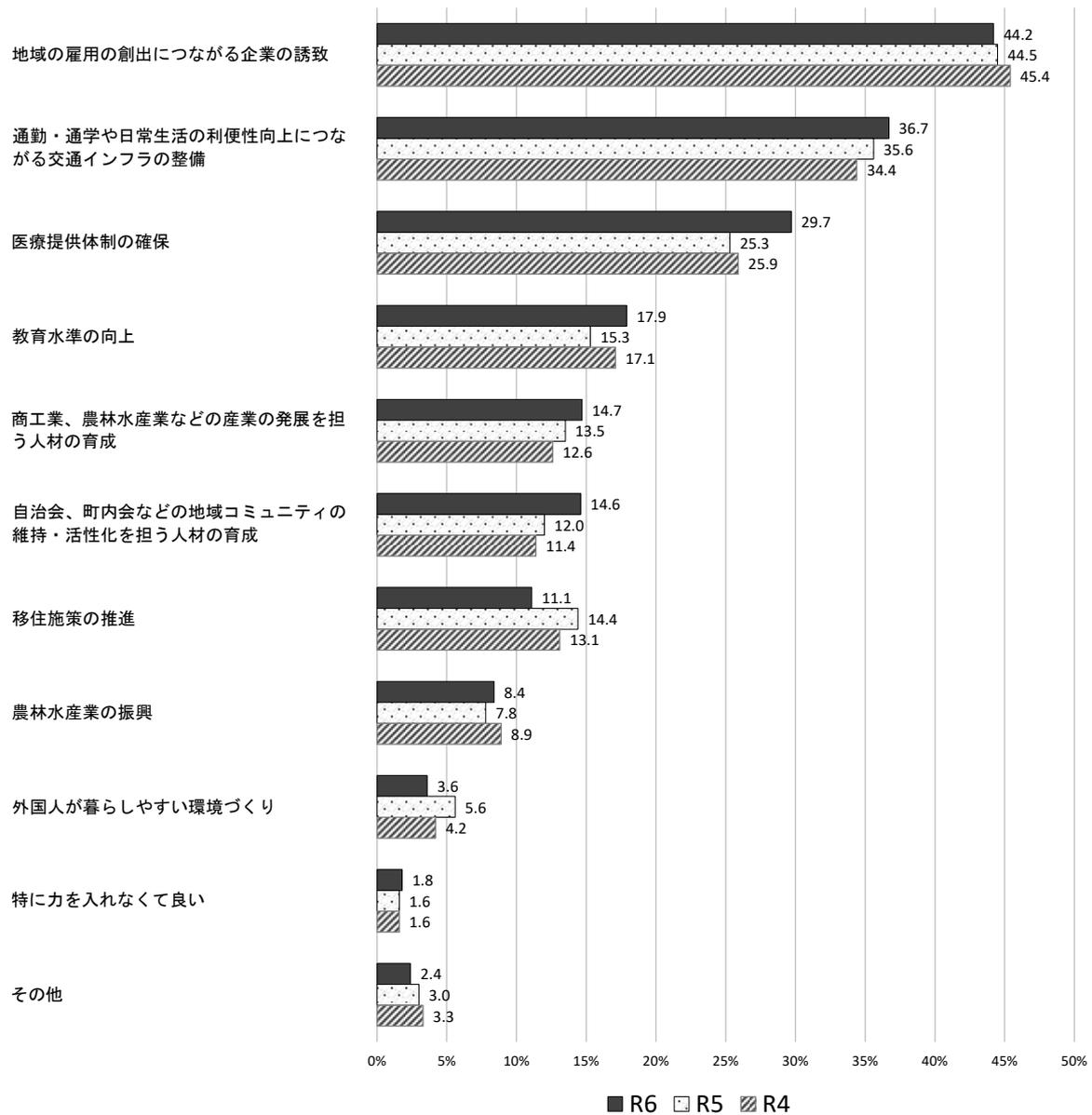
地域振興



地域別	地域の雇用の創出につながる企業の誘致	通勤・通学や日常生活の利便性向上につながる交通インフラの整備	医療提供体制の確保	教育水準の向上	商工業、農林水産業などの産業の発展を担う人材の育成	自治会、町内会などの維持・活性化の取り組み	移住施策の推進	農林水産業の振興	外国人が暮らしやすい環境づくり	特に力を入れなくて良い
北九州地域	51.2	35.3	27.2	14.7	17.1	12.7	12.2	7.4	3.2	1.4
福岡地域	39.9	36.8	32.2	20.0	14.4	15.0	9.4	8.1	4.1	2.2
筑豊地域	48.3	40.3	28.2	22.5	10.1	14.5	12.1	7.5	2.8	1.0
筑後地域	47.1	37.0	25.0	12.7	14.2	15.9	15.4	12.0	2.4	1.2

■は4地域中で最も高い値の地域

地域振興（経年変化）



(19) 移住・定住、企業誘致

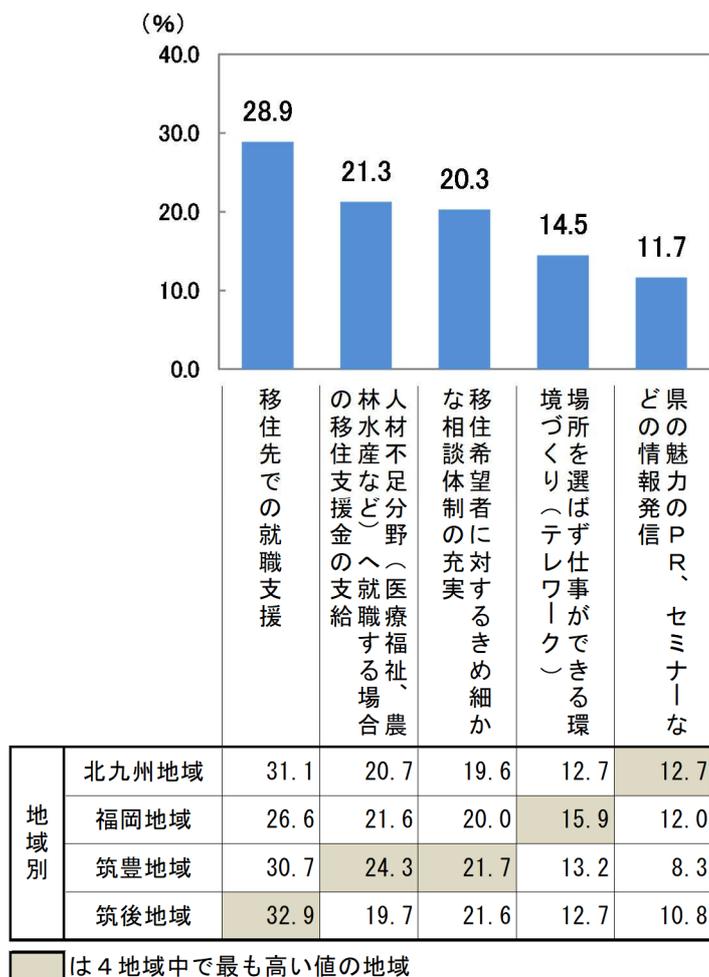
① 移住・定住

【あてはまるもの1つ選択可】

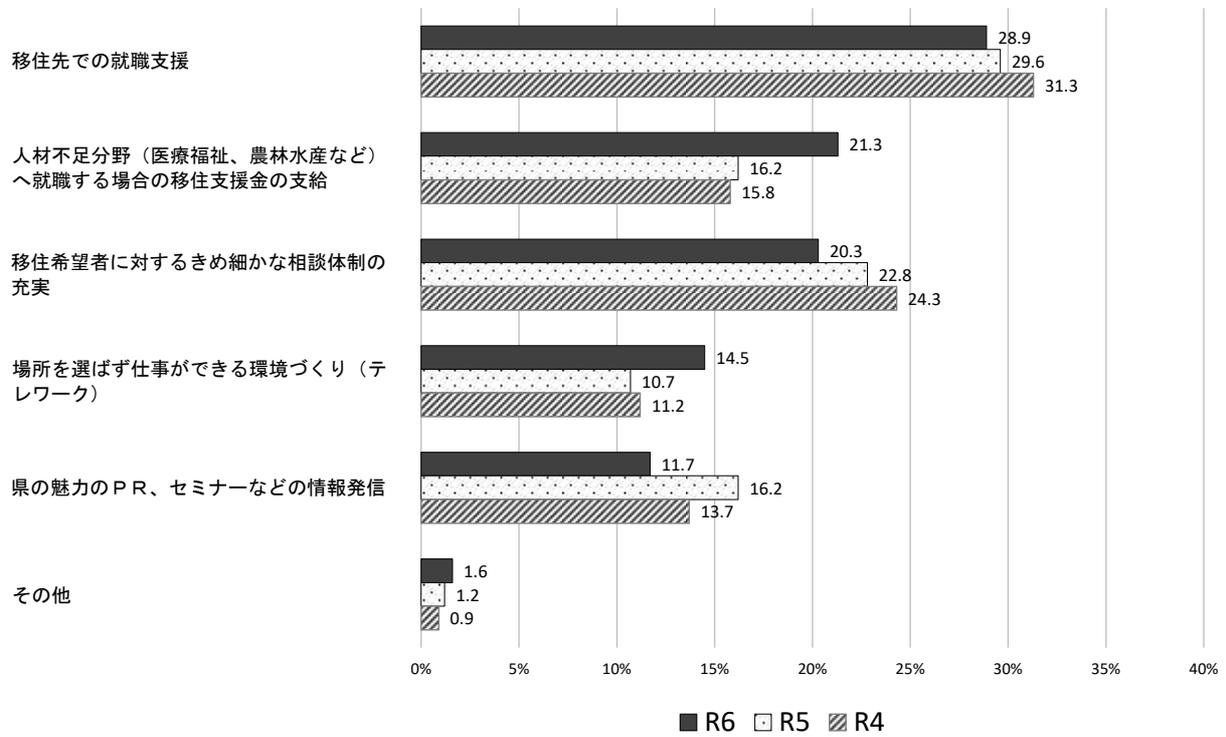
移住・定住について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「移住先での就職支援」(28.9%)が最も高く、次いで、「人材不足分野(医療福祉、農林水産など)へ就職する場合の移住支援金の支給」(21.3%)、「移住希望者に対するきめ細かな相談体制の充実」(20.3%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域で「場所を選ばず仕事ができる環境づくり(テレワーク)」、筑豊地域で「人材不足分野(医療福祉、農林水産など)へ就職する場合の移住支援金の支給」が最も高くなっています。

移住・定住



移住・定住（経年変化）



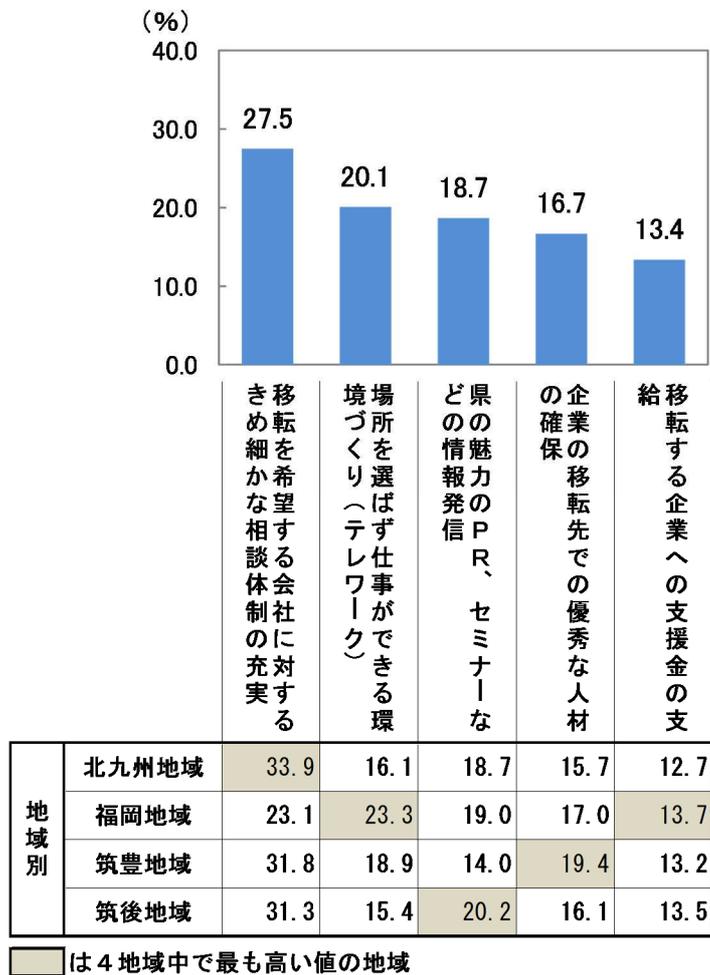
② 企業誘致

【あてはまるもの1つ選択可】

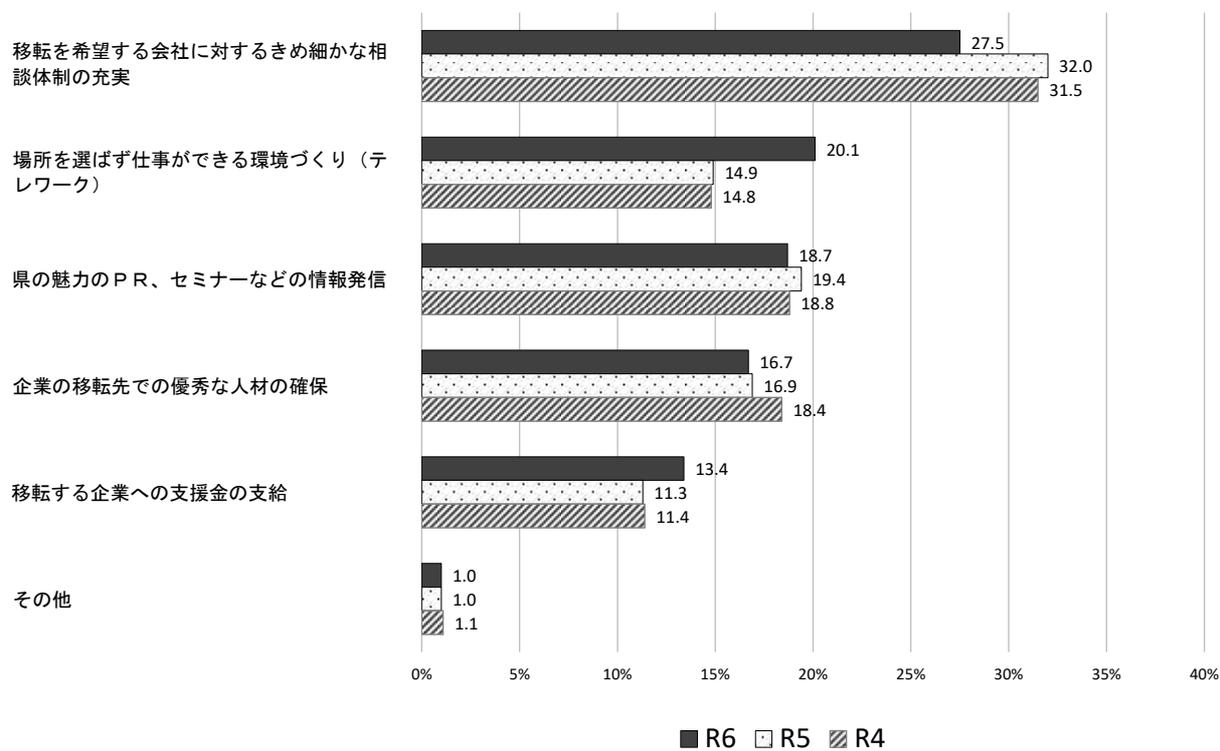
企業誘致について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「移転を希望する会社に対するきめ細かな相談体制の充実」(27.5%)が最も高く、次いで、「場所を選ばず仕事ができる環境づくり(テレワーク)」(20.1%)、「県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信」(18.7%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域で「場所を選ばず仕事ができる環境づくり(テレワーク)」が最も高くなっています。

企業誘致



企業誘致（経年変化）



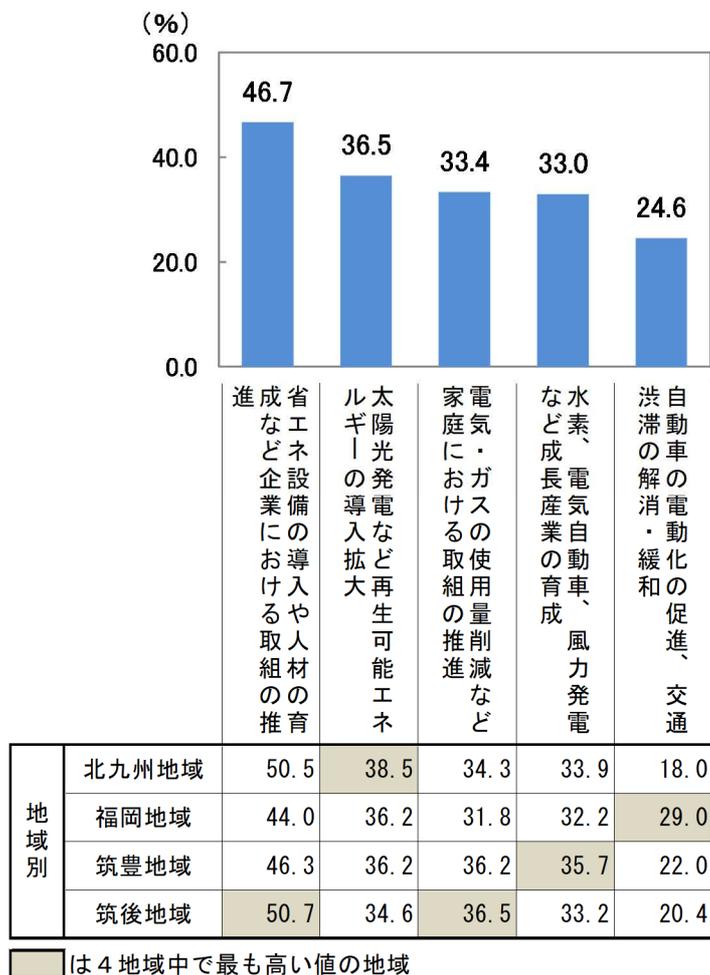
(20) グリーン社会

【あてはまるもの 2 つ選択可】

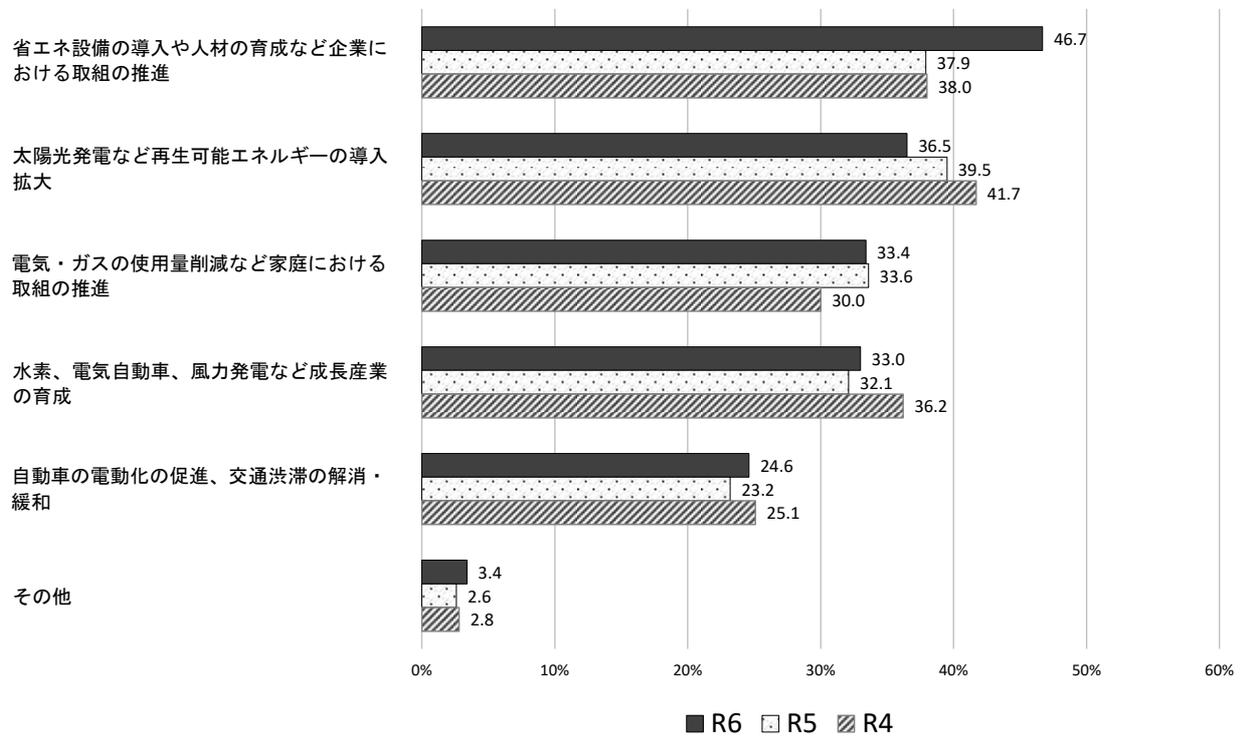
温室効果ガスの排出削減について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「省エネ設備の導入や人材の育成など企業における取組の推進」(46.7%)が最も高く、次いで、「太陽光発電など再生可能エネルギーの導入拡大」(36.5%)、「電気・ガスの使用量削減など家庭における取組の推進」(33.4%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域で「自動車の電動化の促進、交通渋滞の解消・緩和」が最も高くなっています。

グリーン社会



グリーン社会（経年変化）



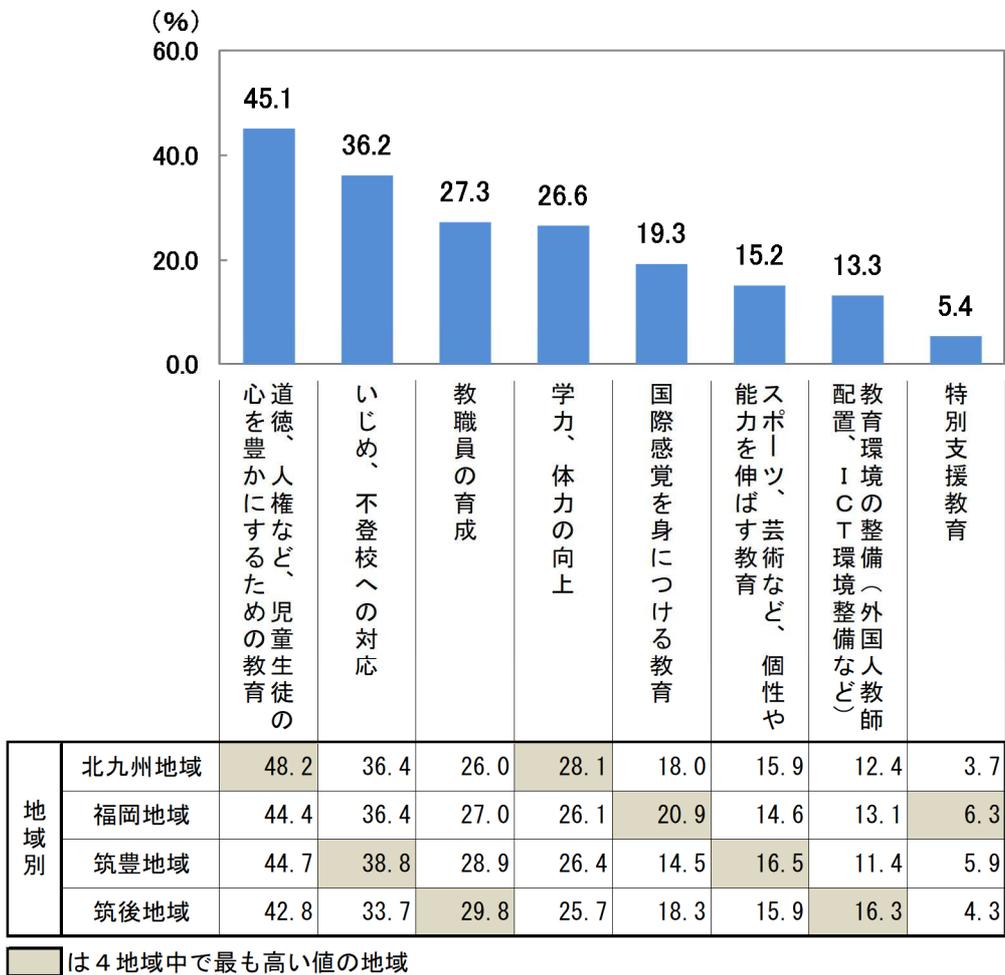
(21) 教育

【あてはまるもの2つ選択可】

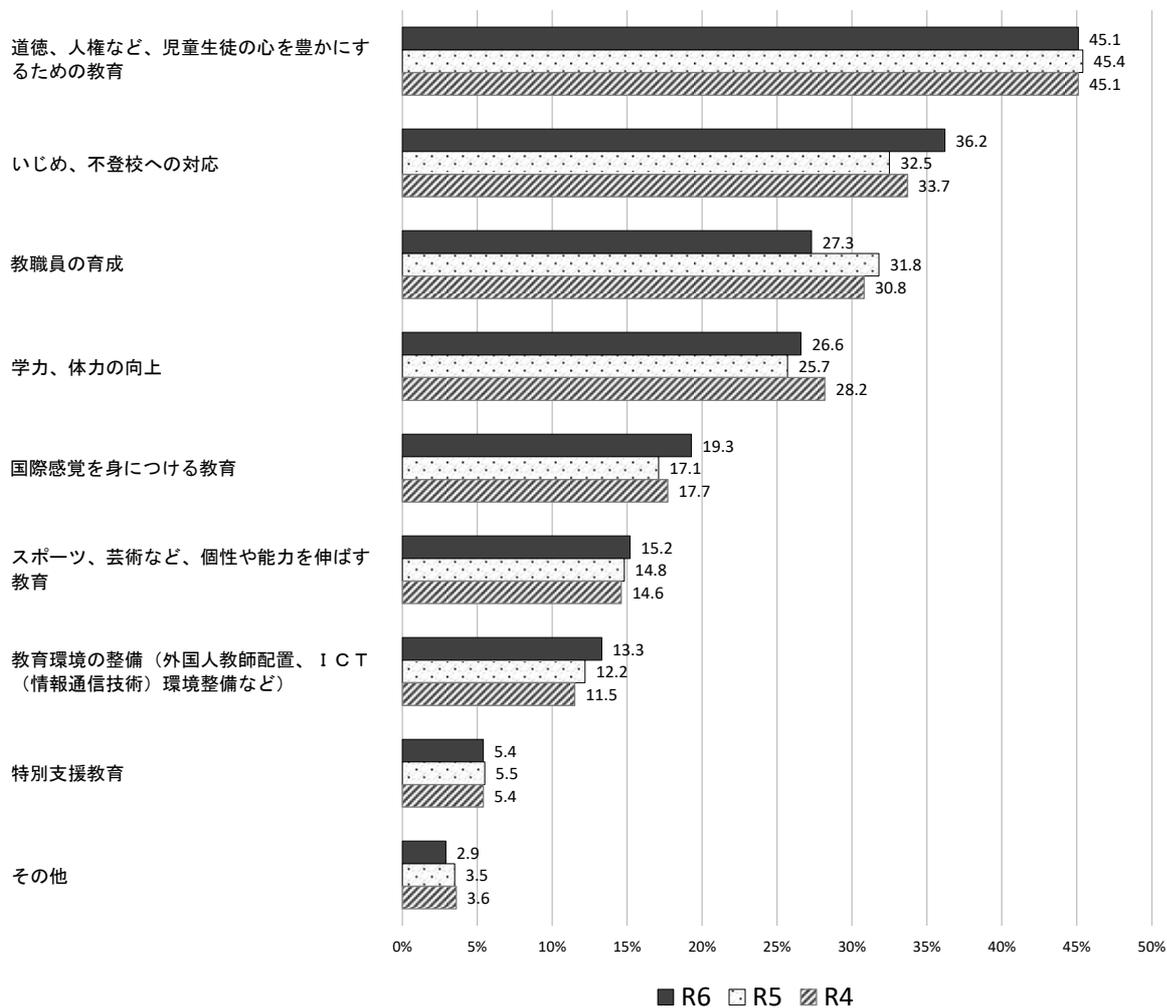
学校教育について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「道徳、人権など、児童生徒の心を豊かにするための教育」(45.1%)が最も高く、次いで、「いじめ、不登校への対応」(36.2%)、「教職員の育成」(27.3%)、「学力、体力の向上」(26.6%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「道徳、人権など、児童生徒の心を豊かにするための教育」が他地域と比較して高くなっています。

教 育



教育（経年変化）



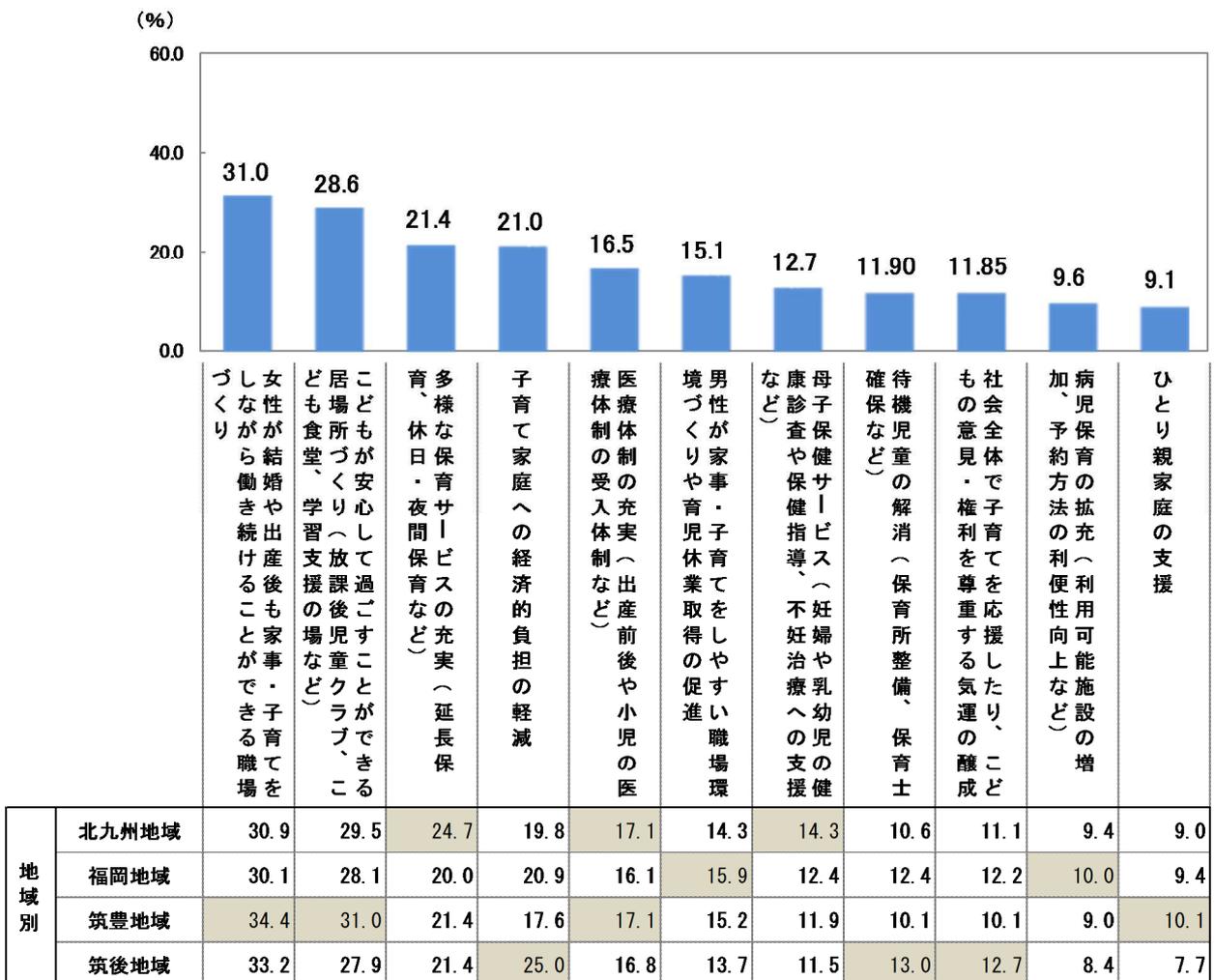
(22) こども・子育て支援

【あてはまるもの2つ選択可】

こども・子育て支援について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「女性が結婚や出産後も家事・子育てをしながら働き続けることができる職場づくり」(31.0%)が最も高く、次いで、「こどもが安心して過ごすことができる居場所づくり(放課後児童クラブ、こども食堂、学習支援の場など)」(28.6%)、「多様な保育サービスの充実(延長保育、休日・夜間保育など)」(21.4%)、「子育て家庭への経済的負担の軽減」(21.0%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「子育て家庭への経済的負担の軽減」が他地域と比較して高くなっています。

子育て支援



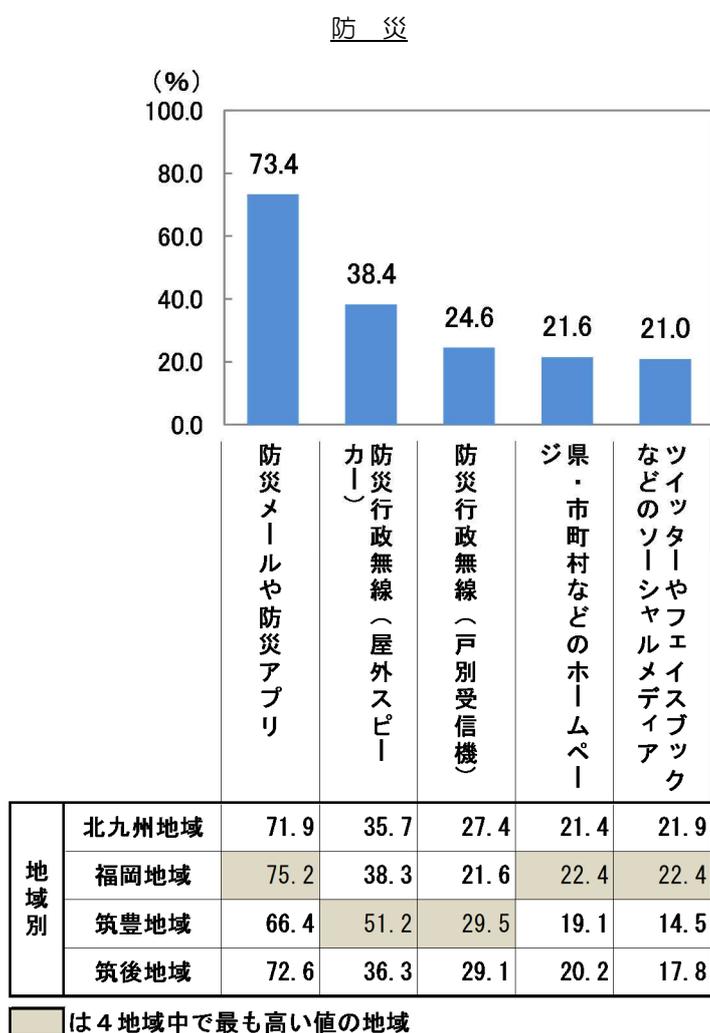
■は4地域中で最も高い値の地域

(23) 防災

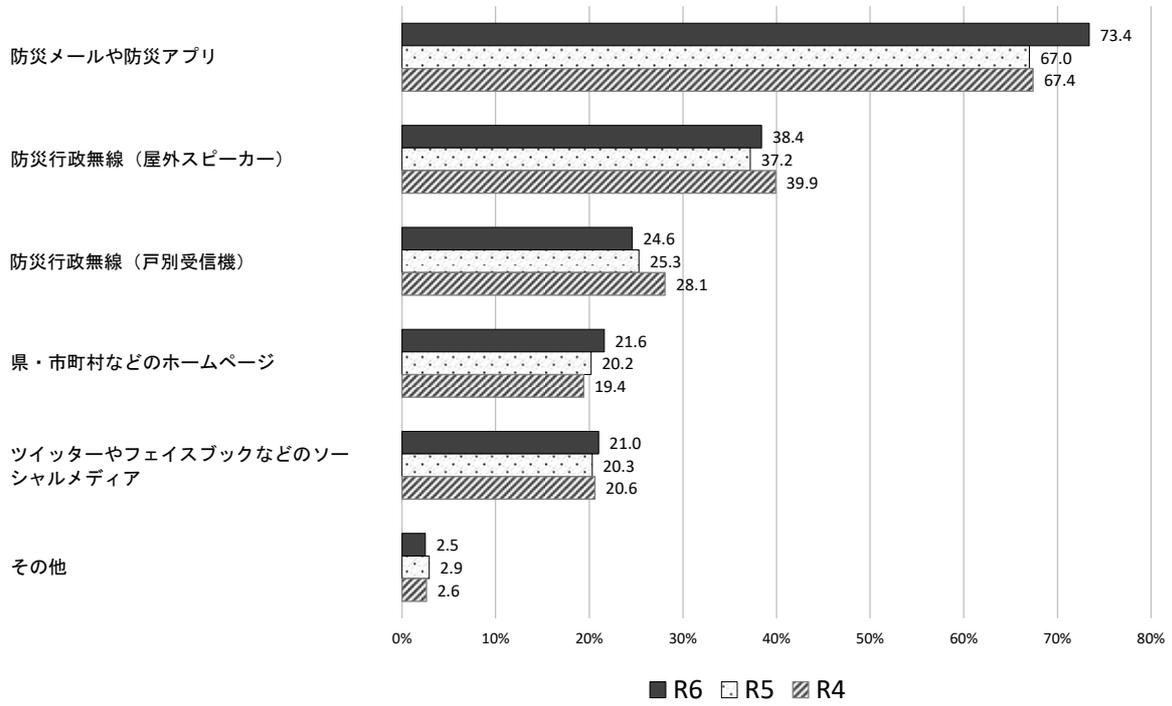
【あてはまるもの2つ選択可】

災害時における避難指示や避難所開設状況などの情報について、有効だと思う手段を尋ねたところ、県全体では「防災メールや防災アプリ」(73.4%)が最も高く、次いで、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(38.4%)、「防災行政無線(戸別受信機)」(24.6%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「防災メールや防災アプリ」が最も高く、筑豊地域では「防災行政無線(屋外スピーカー)」が他地域と比較して高くなっています。



防 災（経年変化）



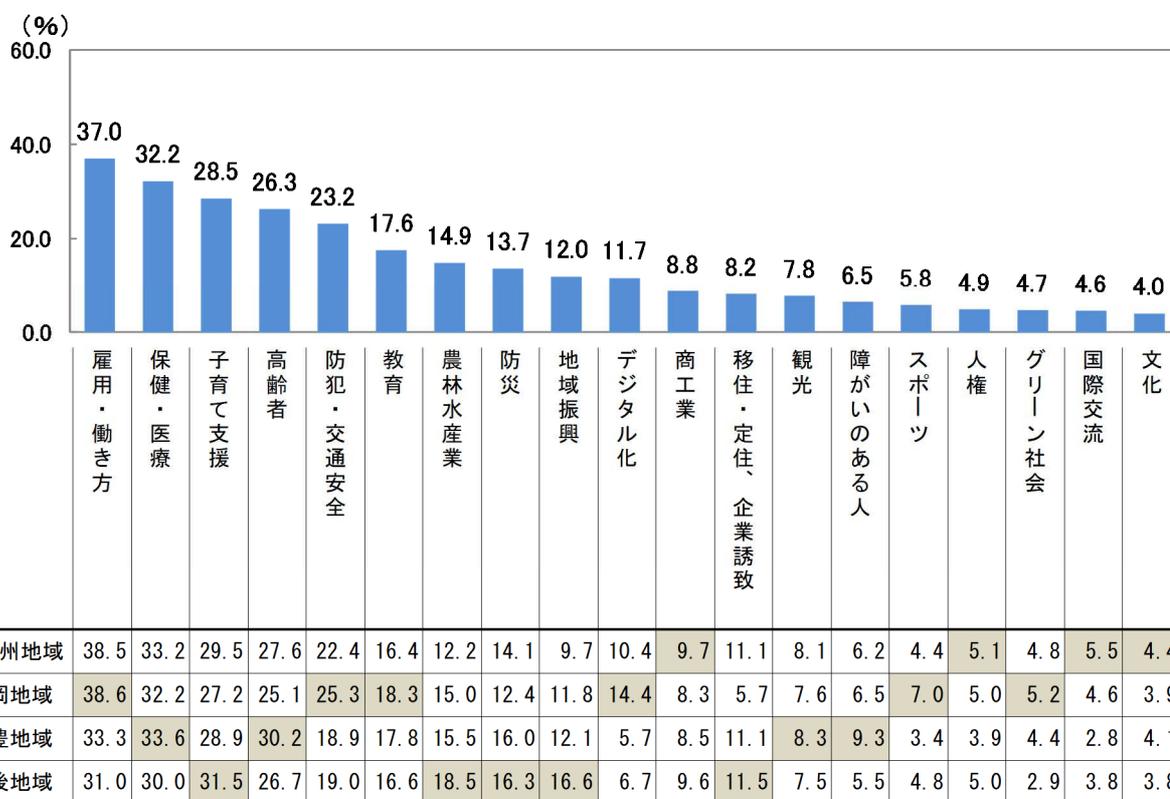
(24) 重点分野

【あてはまるもの3つ選択可】

行政に力を入れてほしい分野を尋ねたところ、県全体では「雇用・働き方」(37.0%)が最も高く、次いで、「保健・医療」(32.2%)、「子育て支援」(28.5%)、「高齢者」(26.3%)の順となっています。

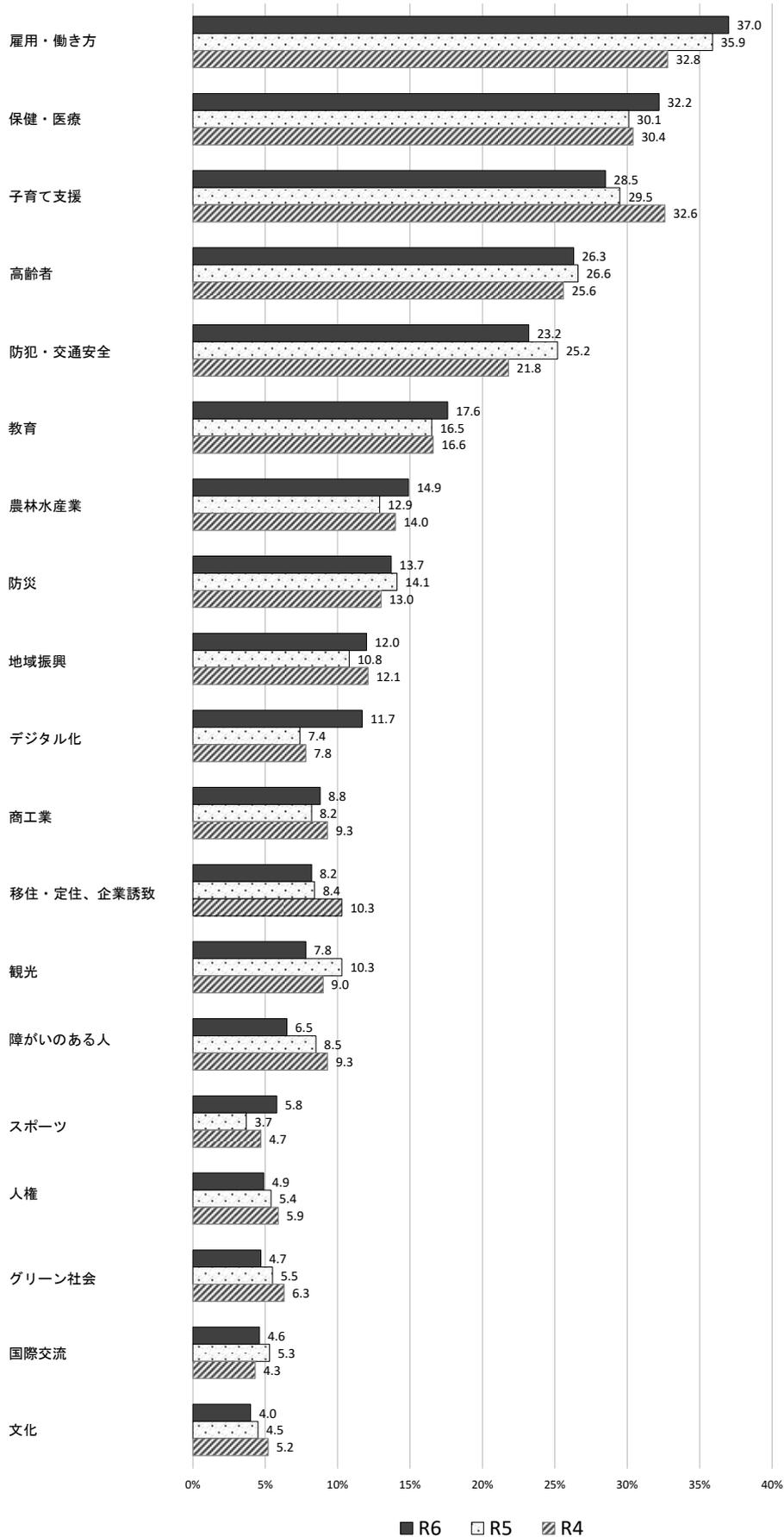
地域別にみると、北九州地域では「国際交流」、福岡地域では「デジタル化」、筑豊地域では「障がいのある人」、筑後地域では「地域振興」が他地域と比較して高くなっています。

重点分野



■は4地域中で最も高い値の地域

重点分野（経年変化）



2. 自由意見

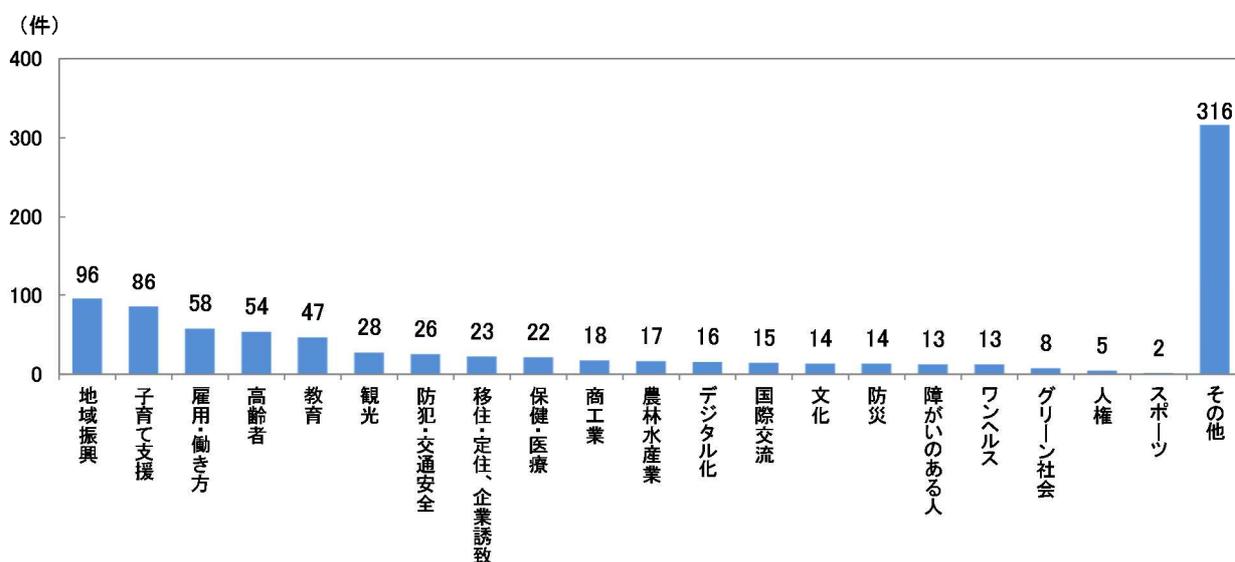
福岡県に期待することや思い描く将来の福岡県の姿について自由に回答してもらったところ、500人の方から、891件のご意見が寄せられました。

その内容を分野ごとに分類すると、「地域振興」「子育て支援」「雇用・働き方」などに関する意見が多く、それ以外にも多岐にわたって幅広く意見をいただきました。

また、どの分野にも該当しない「その他」では、「少子高齢化・人口減少対策」「経済発展・経済成長」「格差」「安全安心・思いやり」「家族・地域との繋がり・幸福」「税金・年金・社会保障」「行政の対応」といった内容について、多くの意見が寄せられました。

以下に、分類した意見の数と、主な内容の一部をご紹介します。

自由意見（福岡県に期待すること、思い描く将来の福岡県の姿）



○地域振興

- ・福岡市はほどよく都会、ほどよく田舎で、便利で、とても住みやすい地域です。福岡県には過疎地域の生活サービスをサポートして欲しい。福岡県全体が豊かに暮らせることを望みます。
- ・それぞれの地域特性に沿った施策を実行して欲しい。
- ・地域格差が無い住みやすい環境を築く努力をしていただきたい。
- ・日本、海外、隔てなく、人が沢山いて、若者も高齢者も楽しそうに暮らしている町。
- ・各町内、自治会の活性化。
- ・インフラ整備、商店街の活性化。
- ・過疎地域は子どもの教育に力を入れると子育て世代が増加し活性化する。
- ・自然や都心部のアクセスの良さを生かした運動できる施設や遊園地のような多くの人が楽しめる施設がもっと増えて欲しいと思います。
- ・車がなくても生活・交通弱者地域のない県。
- ・過疎地から都心へ短時間で移動できるようにして欲しい。例えば、地下鉄路線を南の方に延ばす等、又、バスも急行バスを増やす等。
- ・今より下水道の築造工事を加速して下さい。道路をきれいにして下さい。
- ・東京都や大阪府に、安く、簡単に行けるようになれば、もっと移住したい人が増えてくるのではと思いました。なので、安く、気軽に使えるインフラ整備が発展すればいいなと思いました。

○子育て支援

- ・福岡県はとても活力があつて素晴らしい県だと思っています。もっともっと子ども達が明るく自由にのびのびと生活出来て、将来の不安もなく生きていけたらなと思います。
- ・子育て世帯が増えることが、街や県の成長に繋がると感じる。子育てが楽しいと感じるように、経済的な負担を削減し、環境、施設、コミュニティを作り、わかりやすく情報提供等行ってもらいたい。
- ・核家族の世帯が増え、若者の収入も少なく、子どもを安心して産み育てる事に不安をいただいている若者が多いと思います。安心して子どもを産み、育て、その子どもが福岡で就職できる社会になってほしいと思います。
- ・子育てしやすいようにしてほしい。子どもの遊び場が少ない。車で行く運動公園に行かないとボール遊びできず、遊具もなく、社会全体で子どもを見守り、助け合う県になってほしい。
- ・少子化対策は本当に急いで欲しいです。子ども一人からでも、ひとり親でも育てやすいよう、「産んでも何とかなる」と女性に思わせてくれる支援をして欲しいです。まずは人がいないとこれからの社会どうにもなりません。少しでも人工中絶する女性が減り、産んでみようと思わせてくれる社会になる事を願います。
- ・不妊治療について他県の方が支援は手厚いと感じる。想像以上に通院、お金がかかり働きながらでは大変です。不妊治療のための休暇などの検討や卵子凍結の補助なども検討してほしいです。産まれる前の段階で苦しんでいる人がたくさんいる時代です。そこにも目を向けてほしいです。

○雇用・働き方

- ・子育てしながら働くのは、とても大変だと思います。子育てと仕事の両立ができる環境作りをお願いしたいです。
- ・若い者の雇用の場を増やして欲しい。
- ・筑豊地区に住んでいます。「学力が低い」「生活保護が多い」のは、働く場が少ないからです。筑豊に「仕事」をつくって下さい。
- ・障がいや年齢、健康に関係なく全ての人が住みやすくして欲しいです。例えば雇用の創出や非正規雇用の人にも厚生年金やボーナスなど金銭面の不安をなくす。高齢者の人が最後まで自分が住みたい場所で暮らし続けられる環境作りなど。
- ・県民が福岡から出たくないと言うような県にして欲しい。自動車整備士、保育士などの社会的に必要なが、待遇の良くない職業の待遇の改善。
- ・優秀な人材が定着できるような、高水準の賃金を提示する企業が増えてほしい。
- ・高齢者福祉施設などで働く方の収入、待遇、環境を改善してほしいです。
- ・教育職や保育職の給料を上げ、人材不足を改善して欲しい。
- ・高齢者の働き方改革。

○高齢者

- ・地域の人々の結びつきを感じられる社会を作してほしい。高齢者がいきいきと生活できる社会を作してほしい。
- ・高齢者が孤立しないコミュニティ、施設等、気軽に参加出来る様な交流の機会や場所があるといいと思うし、そこに世代間の交流があつたりすると尚いいと思う。
- ・高齢者の一人暮らしでも安心して生活できる環境。

- ・介護の家族支援。夕方から深夜～朝までのショートステイのような受入れ施設があるといいと思う(介護保険にて)
- ・出来るだけ高齢者同士の介護を無くし、より豊かな住みやすい県、街になっていけば良いと思います。
- ・高齢者、障がい者の支援が地域で差がありすぎます。平等に支援していただきたい。
- ・高齢化が進む中、役所や大きな病院、大きな老人施設、保育園などが駅に直結していると車を保有していない人に便利だと思いました。

○教育

- ・子どもが意欲的に取り組めるような学習支援の場を増やして欲しい。
- ・子どもの教育、主に体験学習に力を入れて欲しい。普段体験できない田植えやプロによる音楽鑑賞、職業体験などが少ないように思います。また、外国人との交流を通し、外国語の活用にも力を入れて欲しいです。
- ・学校教育で、SNSの使い方・危険性等今の時代らしいことを教育に取り込んでほしい。小学校から金融に対する知識も授業でしてほしい。(株・ローン等将来の為に)
- ・学校で学力だけでなく、人権や性教育の学びに力を入れて教育者へは子どものからだと心の専門的な知識を学んでもらい、多様性を受け入れやすく、子どもの心が豊かになるようにしてほしい。
- ・道徳、思いやりのある人間形成を目指し育成、教育カリキュラム実践してほしい。寛容力の高い国民の集団でありたい。
- ・いじめのない教育現場にしたい。子どものいじめをなくしたい。
- ・若者の犯罪やいじめが増える中、ゆとりある教育からだと思う。子育てに関するなやみ、しつけに力を入れ、子どもの頃から“心”を育てる教育をしなければ、同じ人間を同じ人だと思えない子どもが増え、悪循環をまねいていると思います。人間性を豊かに育てられる環境をのぞむ。
- ・県だけでなく市区町村も教育現場や子供に目を向けて、苦しんでいる子供を助けてくれるようになってほしい。
- ・子育て支援の充実。小中学校教員の数と質の確保。県立普通科高校の数の適正化。
- ・何か勉強したいことがあっても、学校などは必ず東京、大阪、名古屋に集中しています。もっと社会人になってからも勉強できる場所がほしいです。

○観光

- ・九州の玄関とすることを活かして観光PRして欲しい
- ・食べ物が美味しいので、沢山の飲食店や、屋台などを、もっとアピールする。テーマパークを作ったり、増やしたりして、旅行や観光などで人が沢山来てくれる様にしたら良い。
- ・福岡が盛り上がる為には、賃金の増加が一番大事だと思います。その為には、インバウンドをいかに福岡でお金を使ってもらえるかだと考えており、観光業等力を入れるべきと思っています。
- ・福岡市以外も観光客が行ける施設を作してほしい。
- ・住みやすいので市内に人が集まりすぎている気がする。郡部(都市部以外)の観光を強化して過疎化している観光地を盛り上げてほしい。

○防犯・交通安全

- ・犯罪の無い社会。思いやりのある社会。
- ・街中の歩きタバコを徹底して取り締まってほしいし、警固公園が喫煙できるのも、子どもがあそぶところでもあり、たくさんの人が行き交うところなので本当に副流煙が困っているのではなくしてほしい。病気がある人、子どもにはどれだけ歩きタバコや外の煙が害なのか。また治安もよくない要因だと思うので。
- ・交通安全を理解できていない高齢者やその他年齢のドライバーのルールを守らない運転は、怖く危険性も高く思います。自動車のみならず自転車やバイクも同様です。これも、おたがいの、ゆずり合い精神を持ってない人が多数だからなのでは、と思います。どの県にも負けない優しく、ゆずり合い精神を持てる人が多数になる福岡県を目指してほしく思います。
- ・飲酒運転罰則強化してほしい。車のマナーが悪いのが目立っている。
- ・子どもの通学路の整備を希望。

○移住・定住、企業誘致

- ・福岡県はとても住みやすい所です。これからは移住者が増える様になったら良いと思う。
- ・若者が集える、出会う場所づくりを福岡県がお手伝いする事で定住に繋がったり、出会いがあればいいかなと思います。
- ・全体的に福岡市と北九州市の中間地域である、筑豊地区がもう一度隆盛していけば県全体の状態も良くなっていくのではないかと思います。
- ・福岡県全体の人口が増えるために、企業を誘致して若い人材の流出を防ぐ必要があると思う。
- ・国内企業や外国の企業を誘致し、税収や雇用を増やしてほしい。雇用が生まれることで、人口も確保されると思う。それに伴い買い物する店舗などもでき、地域が活性化することを望む。
- ・福岡市に人口集中する施策より、もっと広い地域に人口が増える事を考えてほしい。

○保健・医療

- ・市町村による医療格差を無くしてほしい。
- ・医療体制、福祉が充実することを希望します。
- ・夜間料金の見直し、夜間診療の推進・病院の先生方の働き方改革、宜しくお願い致します。
- ・医療、福祉分野での人材不足、補助金等を充実させて欲しい。
- ・新型コロナへの対策（ワクチン治療薬代の補助など）を強化して行ってほしいです。

○商工業

- ・全体的には、歴史的な建物や風景を大切に残しつつも、都会内においては流動的に動けるような移動手段の整備。また、その周辺の商業施設の整備を期待します。
- ・効外に大型店舗が出来ているため、駅前商店街の閉店が増え、寂しいです。もっと商店街を活性化してほしいです。
- ・企業誘致も必要ですが地元企業（中小）が大手企業などと取引する際に課題も多くなかなか取引ができず立場的には孫請に近くなると収益も得られないということもあります。商流関係がもう少し改善されると中小企業もビジネスチャンスが上がると思います。

○デジタル化

- ・暮らしにおけるデジタル化を県が率先して行ってほしい。
- ・デジタル化にもっと力を入れてもらいたいです。

○農林水産業

- ・地産、地消できる道の駅を増やして、県内の野菜や魚等が買え、その廻りに緑の公園やレストラン、カフェがある施設が各地域にあるといいですね。
- ・国内外で「ごはんがおいしい福岡県」の認識があり、それは今後も続いてほしい。
- ・筑後圏の農産物を関西・関東へ運び収入拡大を求め生活の安定を計る。
- ・福岡に移住して4年経ちますが、もっと農業や林業畜産などの生活に不可欠な一次産業を大事にして欲しいです。
- ・自給率向上の為に農業関係に力を入れて欲しいです。

○文化

- ・文化、産業の発展。若い人たちが集まる街づくり。
- ・経済ばかりにとらわれず、福岡の文化や自然を大切にしたい、健全な県であることを望みます。
- ・芸術分野にもう少し力を入れて欲しい。
- ・歴史ある文化財を後世に遺すようにしてほしい。古き良き時代の建物がどんどん壊されているのを見てもったいないと感じます。耐震に費用がかかっても残して欲しいです。

○国際交流

- ・アジアの玄関口としての地の利を活かし、文化・産業の交流の場としてグローバルに発展する福岡。
- ・東京よりもソウルのほうが近い福岡は、アジアの国々との連携を大切に、人や物の交流に力を入れ、他県にない独自の外交を展開して欲しい。県としても山間部への人材交流等取り組んで欲しい。
- ・外国人、他宗教（イスラム・キリスト）が受け入れ可能な環境づくり
- ・外国人の観光客や働く方（研修なども）が増える中、交流の機会が多くなることや街に活気ができることはよいことだと思います。これからも増えて欲しいと思いますが、反面、犯罪などの心配もあります。国際交流が盛んで、なおかつ安全、安心な福岡県になるとよいなと思います。

○障がいのある人

- ・障がい者が気持ち良く過ごせる福岡県であってほしいです。差別される事なく幸せな人生を歩める福岡県であってほしいです。
- ・病気や障がいのある方、高齢者の方が少しでも生活しやすい福岡県であって欲しい。難病を理由に就職を断られるので、難病があっても働ける福岡県にして欲しい。
- ・家族に障がい者がいます。障がい者福祉サービスに地域差があると感じます。通える施設も選択肢が少ないと感じます。
- ・障がいのある児童が居住の地域（校区）の学校に通えるようになること。一緒に学べること。若い世代の正規雇用。非正規雇用を減らすこと。

○防災

- ・防災、防犯、災害等に力強く進めて取り組んでもらいたい。
- ・大雨等で道路冠水しやすい地域の道路整備、工事をしてほしい。
- ・大雨が降ると地すべりが起こりやすい地域に住んでいます。土砂災害が起きる前に土砂崩れ対策工事を進めて欲しい。災害が起きてからでは遅いです。人命第一で考えて欲しいです。
- ・災害で受ける被害がなくなる県に。

○グリーン社会

- ・今ある豊かな自然資本を、これ以上失うことなく次世代に引き継ぐ施策を展開してほしい。
- ・世界に誇れる緑豊かな公園の造成、整備。明るく活気に溢れた県民の顔。
- ・食糧と水の確保。その為に土、水、緑を守り、コンクリート化し過ぎない環境保全の取組。またその担い手の人材育成。（太陽光発電等を推進するグリーン社会の分野とは根本的に違う視野。）

○人権

・人権意識が育てばおのずと住みやすい地域になってくるのではないかと。教育が充実すれば若い世帯が住んでくれる

○ワンヘルス

- ・人間だけが住みやすくなるのではなく、命あるものすべてが住みやすく優しい県作りを望みます。自然、動物も大事に考えて下さい。
- ・緑地を増やして、ヒートアイランド現象を少しでも軽減して欲しい。黄砂などの大気汚染への対策

○スポーツ

- ・これまでどおり、スポーツの世界大会等で地元を活性化して欲しいです。
- ・我が家には障がいのあるこどもがいます。様々なサポート体制や制度の拡充、本当に感謝です。ひとつ希望ですが、どうしても障がいのあるこどものスポーツをする環境や機会が極端に少ないです。特に我が家は田舎なので、「色々な経験をさせてあげたい・この子はどんなスポーツが得意なのか見つけてあげたい」と思っているけど、なかなか叶えられません。福岡市内だともう少しあるのかもしれませんが。もう少し都心から離れた場所でもパラスポーツの企画や教室などを開催して頂けると嬉しいです。

○その他

（少子高齢化・人口減少対策）

- ・福岡というネームバリューを活かした、人口増に繋がる活動をしてほしい。
- ・若者の県外流出防止。
- ・少子高齢化からくる社会的な不安を払しょくできるような取り組みをされているのであれば、それを県民に穏やかにアピールしてほしい。

(経済発展・経済成長)

- ・福岡県の経済発展。
- ・経済の活性化。
- ・九州の中心、東アジアの中心となるような都市化。
- ・アジアのリーダー都市になれるよう頑張ってください。

(格差)

- ・同じ県内でも子育て支援や医療など地域によってだいぶ格差があるのでどこでも同じように支援などを受けられるようにしてほしい。
- ・子育てしやすさ、医療、介護の充実感、インフラ整備も地域差があると感じているので、置き去りにされないような県政を期待します。
- ・子育て世代や高齢者への支援が大切なのはわかるが、しっかり働き、収入を得て税金を納めている自分たち世代も大事にして欲しい。取れる所からしぼり取る政策では何のために働いているのかわからなくなる。支援の求めすぎを感じる。
- ・納税者にも、やさしい福岡県。
- ・何事も格差や差別化なく、一人一人誰にでも暮らしやすい環境に少しずつ進んで行って欲しいと思います。

(安全安心・思いやり)

- ・きれいな福岡の街・インフラ整備・住みやすい街、医療、保健の充実・安全安心な街づくりが出来ている町福岡をつくる。
- ・人々にモラルがあり、キレイな街づくりをお願いします。
- ・水の確保、食糧自給の向上、長期保管。

(家族・地域との繋がり・幸福)

- ・福岡在住の人が、自然や環境、教育、文化などで、住みやすさが感じられるような社会になってほしい。福岡県民であることに誇りが持てるようになるような行政を行って欲しい。
- ・子どもたちが暮らしていける福岡県にしてください。
- ・住み慣れた町で安心して暮らせることが一番だと思います。ぜひ、そのような環境づくりを期待します。
- ・一人暮らしが多い社会なので、孤独死等おこらないよう、各自治体に方策を働きかけてほしい。
- ・現状で暮らしやすいので、このまま現状を維持してほしい。

(税金・年金・社会保障)

- ・税金の適正利用。住み慣れた場所で最期まで過ごせる環境。
- ・県税の使われ方がわかりづらい。少ない給与から、特別徴収される身ですので、とにかく大事に使っていただきたいです。
- ・私は65才、母は90才、先のことが心配になります。私達の年金額は少なくそれに仕事する体力も時間もない今は、なんとか生活はできていますが本当にこのままの状態があと何年続くのかなと思う毎日です。なんとか介護施設の料金が安くないものか。
- ・低所得者に対する援助。

(行政の対応)

- ・住みやすい県を維持して欲しい。
- ・福岡県を、もっと、熱い熱い県にして下さい。
- ・九州地方他県との交流
- ・県が推し進める施策等を様々な人々に周知させるため、説明の形態をアクセシビリティに配慮してほしい。例えば、子どもや高齢者や障がい者など。
- ・知事や県議の活動がもっと県民に分かるように公表する工夫をしてほしい。
- ・若者の投票率の増加。

IV. 資料編

<調査票>

福岡県民ニーズ調査

～記入上の注意点～

1. 必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。ただし、ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意見などを代理の方が記入されてもかまいません。
2. 各質問のご回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号に○をお付けください。質問文に「1つだけ」、「2つ」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
3. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
4. 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）の中に具体的に記入してください。

調査票の回収について

次のいずれかの方法で、7月23日（火）までにご提出ください。

郵送回答

ご記入後、調査票を折って、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函してください。

インターネット回答

次のURL又はQRコードから回答画面へアクセスし、回答してください。

<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/4Wj1NNMY>

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です



- この調査は無記名で行い、ご回答の内容については、「こういう意見の方が全体の何%」というように、すべて統計数値として集計いたしますので、お答えいただきました方のお名前や個人の回答内容が公表されることは一切ございません。
- これまでに実施した同調査（福岡県民ニーズ調査）の結果は、福岡県のホームページでご覧いただけます。
*インターネット検索で「福岡県民ニーズ調査」とご検索ください。

【お問い合わせ先】

調査主体：福岡県企画・地域振興部総合政策課重点政策班 担当：熊谷
住 所：福岡市博多区東公園7番7号
TEL：092-643-3158 FAX：092-643-3160

調査実施機関：株式会社 サーベイリサーチセンター九州事務所 担当：小泉
住 所：福岡市博多区博多駅東2丁目6番26号
TEL：092-411-8811 FAX：092-411-8851

1 県の施策について

(県の広報)

問1 県では、県政の動きやイベント情報などを広報紙やテレビ・ラジオ、インターネットなど、さまざまな媒体を使ってお知らせしていますが、あなたはどのような情報を発信してほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 県が実施している施策や取組
2. 地域のイベント・観光情報や話題などの紹介
3. 防災情報
4. 感染症（新型コロナウイルス感染症含む）や疾病予防（熱中症など）に関する情報
5. 大気汚染に関する情報（PM2.5、光化学オキシダントなど）
6. 子育て・教育に関する情報
7. 知事の動き
8. 県議会の取組
9. 地域の特産品や食などの紹介
10. 試験や相談会などの開催情報
11. その他（)

(次代を担う「人財」の育成)

問2 次代を担う「人財」の育成について、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 個性や能力を伸ばす教育
2. 郷土の魅力を学ぶ教育
3. 体験・交流活動の推進
4. 国際交流の推進
5. 就業支援（職業体験・訓練など）
6. 規範意識や人権意識の向上
7. 学力・体力の向上
8. 特定分野における人材の育成（産業、スポーツ、文化芸術など）
9. 次世代のリーダーとなる人材の育成
10. 教育格差の是正
11. その他（)

（「世界から選ばれる福岡県」の実現）

問3 福岡県が将来に向かって発展し、世界の舞台で勝負し、選ばれる自治体となるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 外国語教育の推進
2. 国際金融機能の誘致
3. 外国人観光客の誘客と観光地づくり
4. 農林水産物、伝統工芸品など、福岡県の誇る県産品の輸出拡大
5. 空港、道路など産業の発展を支える社会基盤の整備
6. 国内外からの企業や人材の誘致による県内産業の発展
7. 科学技術分野における世界的先進地の構築
8. 福岡県の魅力の発信
9. その他（)

（ワンヘルスの推進）

問4 福岡県は以下の考え方から、ワンヘルスの推進に取り組むこととしております。このことについて、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

〔ワンヘルスの推進について〕

新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症の多くは、人と動物の双方に感染する人獣共通感染症であり、人口増加、森林開発や農地化等の土地利用の変化、これらに伴う生態系の劣化や気候変動等によって動物と人との関係性が変化したために、動物から人に伝播するようになったといわれています。これに対応するためには、「人と動物の健康と環境の健全性是一つ」と考えるワンヘルスの理念に基づいた取組が重要となります。

1. ワンヘルスに対する理解の促進（学校におけるワンヘルスに関する教育を含む）
2. 先進的な人獣共通感染症対策やその拠点となる機能の誘致
3. 薬剤耐性（抗菌薬が効かない、効きにくくなる）菌対策の推進
4. 自然環境の健全性を守る取組の推進
5. 人と動物の共生社会づくりに関する取組の推進
6. 人と動物の健康づくりに関する生活環境の整備の促進や支援
7. 健全な環境の下での農林水産物の生産や食育の推進
8. その他（)

(観光)

問7 国内外の観光客を呼び込むため、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまでを選び、○で囲んでください。

1. 参加・体験型観光の推進（農業体験、郷土料理づくり、陶磁器づくりなど）
2. 祭りやイベントの実施
3. 受入環境の整備（観光案内、W i - f i、食の多様性対応、ユニバーサルツーリズムなど）
4. 良好で美しい景観づくりや街並みの整備
5. 外国人観光客の誘致（多言語案内の強化、海外向けプロモーションの強化等）
6. インターネットなどを利用した観光情報の提供
7. 人材育成（観光ガイド、観光リーダー、観光産業従事者）や観光協会の組織強化
8. 国際スポーツ大会や国際会議の誘致による知名度の向上
9. 観光地へのアクセス向上（渋滞解消、道路整備、新たなモビリティ導入）
10. その他（)

(雇用・働き方)

問8 雇用対策について、あなたは行政に対しどのようなことに力をいれてほしいですか。次の中から2つまでを選び、○で囲んでください。

1. 若者の就職支援
2. 中高年の就職支援
3. 子育て中の女性の就職支援
4. 低所得者、失業者に対する就職・就業支援
5. 障がいのある人の就職支援
6. 長期間無業の状態にある人の職業的自立に向けた支援
7. 人材不足分野への人材移転の推進
8. 労働相談への対応（パワハラ、セクハラなど）
9. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
10. 正規雇用への転換促進、非正規雇用の処遇改善
11. テレワークや時差通勤など多様な働き方の普及
12. その他（)

(デジタル化)

問9 令和3年5月、デジタル改革関連法が成立し、同年9月にデジタル庁が設置されました。

デジタル化により、以下のことが期待できるとされています。

- ・人工知能やロボットの活用により、健康管理や介護の質の向上が期待できる
- ・遠隔教育など、教育の質の向上が期待できる
- ・役所に行かずに行政手続きができる
- ・商工業、農林水産業の高付加価値化、省力化が期待できる など

あなたは、行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 行政手続きのオンライン化
2. ICT（情報通信技術）を活用した遠隔教育など教育環境の整備
3. テレワーク施設など仕事環境の整備
4. ロボットや遠隔見守りサービスなど、介護や子育て分野でのICT利活用の推進
5. 自動運転など新しい技術を活用した交通サービスの実現
6. ドローンや河川のセンサー情報等を用いた災害対応の迅速化・効率化
7. 省力・高生産性を実現するスマート農林水産業の確立
8. その他（)

(保健・医療)

問10 健康で長生きすることができる社会づくりのために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 自主的な健康づくりの支援
2. 生活習慣病対策
3. がん対策
4. むし歯、歯周病対策
5. こころの健康、ひきこもり、自殺防止対策
6. 難病患者への支援
7. 感染症対策
8. 救急医療体制の確保
9. へき地医療対策
10. 医療・看護を担う人材の育成・確保
11. 認知症の方とその家族への支援
12. その他（)

(地域振興)

問 18 2040 年の本県の人口について、表 1 のとおり、県全体として人口減少が見込まれています。あなたのお住まいの地域では、行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から 2 つまで 選び、○ で囲んでください。

表1：県内各地域における人口の見通し

(単位：千人)

	2020年	2040年	人口比(2040年/2020年)
福岡県計	5,135.2	4,762.0	92.7
北九州	1,254.1	1,063.5	84.8
福岡	2,689.7	2,708.8	100.7
筑後	794.0	672.6	84.7
筑豊	397.4	317.2	79.8

資料：2020年：総務省「国勢調査」

2040年：国立社会保障・人口問題研究所推計（2023年）

1. 地域の雇用の創出につながる企業の誘致
2. 通勤・通学や日常生活の利便性向上につながる交通インフラの整備
3. 農林水産業の振興
4. 教育水準の向上
5. 医療提供体制の確保
6. 移住施策の推進
7. 外国人が暮らしやすい環境づくり
8. 商工業、農林水産業などの産業の発展を担う人材の育成
9. 自治会、町内会などの地域コミュニティの維持・活性化を担う人材の育成
10. 特に力を入れなくて良い
11. その他 ()

【参考設問】

Q1： 県では、性別によって差別されることなく、人権が尊重され、社会のあらゆる分野で能力を発揮できるよう取組をすすめています。

このことについて、以下の2つのことをお尋ねしますので、「思う」「思わない」のいずれかを○で囲んでください。

- (1) 日々の暮らしの中で、性別による差別を感じることもある
(1. 思う 2. 思わない)
- (2) 仕事の中で、性別による差別を感じることもある (1. 思う 2. 思わない)
※ (2) は仕事をされている方のみ回答

Q2： NPOの活動やボランティア活動（以下、社会活動という）について、以下の2つのことをお尋ねしますので、あてはまる選択肢を○で囲んでください。

- (1) 社会活動の経験はありますか (1. ある 2. ない)
- (2) あなたは、今後、社会活動に参加してみたいですか (1. はい 2. いいえ)
- (3) 【(2) で「はい」と回答した方】どのような社会活動に参加してみたいですか
(1. 被災地支援、2. 地域交流、3. 子育て、4. 環境、5. 国際交流
6. スポーツ、7. 文化、8. 教育、9. その他 ())
※あてはまるものすべてご回答ください。

Q3： 今お住まいのあなたの地域で実感することについて、次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

1. 若い世代が少ない
2. 買い物がしづらい（店舗数の減少）
3. 空き家が多い
4. 働く場が少ない
5. 病院が少ない
6. 公共交通機関（バス、鉄道など）が少ない
7. 道路が整備されていない
8. 地域の担い手（町おこし、消防団など）が少ない
9. その他 ()

【基本項目】

ご意見をお尋ねするのは、以上で終わりですが、お答えいただいたご意見を統計的に分析するため、あなたご自身のことやご家族のことについて、差し支えない範囲でお聞かせください。

F 1. あなたの性別を以下の欄にご記入ください

(記入欄)

F 2. あなたの年齢（記入日現在）はおいくつですか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 18・19歳 | 5. 50～59歳 |
| 2. 20～29歳 | 6. 60～69歳 |
| 3. 30～39歳 | 7. 70歳以上 |
| 4. 40～49歳 | |

F 3. あなたの職業はどれにあたりますか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 農林水産業（家族従業者を含む） | 5. 家事専業 |
| 2. 自営業・自由業（家族従業者を含む） | 6. 学生 |
| 3. 企業、役所、団体などの正規職員 | 7. 無職（定年退職者を含む） |
| 4. パート・アルバイト、契約社員、派遣社員など | 8. その他
() |

F 4. あなたはお子さんがいらっしゃいますか。同居、別居は問いません。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|



F 4-2. お子さんがいらっしゃる方（「F 4.」で「1」を選択した方）のみにお尋ねします。小学校入学前（乳幼児を含む）のお子さんがいらっしゃいますか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F 5. 現在お住いの市町村名についてお尋ねします。1つだけ選び、○で囲んでください。

(○は1つだけ)

北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
1. 北九州市	14. 福岡市	34. 直方市	49. 大牟田市
2. 行橋市	15. 筑紫野市	35. 飯塚市	50. 久留米市
3. 豊前市	16. 春日市	36. 田川市	51. 柳川市
4. 中間市	17. 大野城市	37. 嘉麻市	52. 八女市
5. 遠賀郡芦屋町	18. 宗像市	38. 宮若市	53. 筑後市
6. 遠賀郡水巻町	19. 太宰府市	39. 鞍手郡小竹町	54. 大川市
7. 遠賀郡岡垣町	20. 古賀市	40. 鞍手郡鞍手町	55. 小郡市
8. 遠賀郡遠賀町	21. 福津市	41. 嘉穂郡桂川町	56. うきは市
9. 京都郡苅田町	22. 朝倉市	42. 田川郡香春町	57. みやま市
10. 京都郡みやこ町	23. 糸島市	43. 田川郡添田町	58. 三井郡大刀洗町
11. 築上郡吉富町	24. 那珂川市	44. 田川郡糸田町	59. 三潞郡大木町
12. 築上郡上毛町	25. 糟屋郡宇美町	45. 田川郡川崎町	60. 八女郡広川町
13. 築上郡築上町	26. 糟屋郡篠栗町	46. 田川郡大任町	
	27. 糟屋郡志免町	47. 田川郡赤村	
	28. 糟屋郡須恵町	48. 田川郡福智町	
	29. 糟屋郡新宮町		
	30. 糟屋郡久山町		
	31. 糟屋郡粕屋町		
	32. 朝倉郡筑前町		
	33. 朝倉郡東峰村		

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

*ご記入後、アンケート調査票を折って、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、7月23日（火）までに郵便ポストに投函してください。